



**2018 年度(平成 30 年度)
協働のまちづくり推進事業報告書**



福 山 市

発刊にあたって

持続可能な地域コミュニティの形成をめざして



このたび、昨年度一年間に本市が助成した各地域の特色ある取組や、設立して間もない市民活動団体の活動を報告書としてまとめました。

本市では、地域や市民活動団体の皆様による活動を支援し、市民の皆様の力をまちづくりに生かすことで、活力と魅力に満ちた輝くまちをめざしております。本書で紹介している魅力あるまちづくり活動は、日頃から地域活動に携わっておられる方々をはじめ、これから活動を始めようと考えておられる皆様の参考となるものと考えております。

さて、本市では、人口減少や少子高齢化などの社会構造の変化や価値観の多様化などにより、地域コミュニティ維持・再構築に向けた取組が急務であるとの認識から、昨年度から「持続可能な地域コミュニティのあり方」についての議論を本格化させています。

本年3月、有識者会議により取りまとめられた提案書によれば、本市の地域づくりは全国的に見ても先進的な住民自治の取組が展開されている一方で、担い手不足や役員の多忙化、現役世代の参画が難しいなどの地域コミュニティ維持への具体的課題が明らかになっています。

これらの解決に向け、本年度は、人口減少社会においても安心して住み続けられる持続可能な地域づくりを学ぶ「ふくやま地域づくり塾」の開催や、地域コミュニティの再構築をめざす地域を支援するモデル事業の実施に取り組んでいるところです。

こうした取組により、地域と行政が協働のまちづくりの理念のもと、補完・協力し合い、企業や大学等より多くの皆様の参画を得ながら、地域づくりに意欲の持てる地域社会の実現をめざして取り組んで参ります。市政への更なる御理解と御協力をお願いいたしまして、発刊にあたっての御挨拶といたします。

2019年（令和元年）10月

福山市長 枝 廣 直 幹

協働のまちづくり推進事業報告書 目次

発刊にあたって	1 ページ
目次	2 ページ
本市における協働のまちづくり施策の取組について	3 ページ～
地域まちづくり推進事業・地域まちづくり計画推進事業の概要	6 ページ～
まちづくり推進委員会の事業報告	8 ページ～

中部ブロック 18 組織

東学区 (P 8, 9) 西学区 (P10, 11) 南学区 (P12, 13) 霞学区 (P14, 15) 多治米学区 (P16, 17)
 川口学区 (P18, 19) 曙学区 (P20, 21) 新涯学区 (P22, 23) 手城学区 (P24, 25) 深津学区 (P26, 27)
 西深津学区 (P28, 29) 樹徳学区 (P30, 31) 久松台学区 (P32, 33) 旭学区 (P34, 35) 光学区 (P36, 37)
 箕島学区 (P38, 39) 桜丘学区 (P40, 41) 川口東学区 (P42, 43)

南部ブロック 17 組織

泉学区 (P44, 45) 山手学区 (P46, 47) 津之郷学区 (P48, 49) 赤坂学区 (P50, 51) 瀬戸学区 (P52, 53)
 熊野学区 (P54, 55) 水呑学区 (P56, 57) 高島学区 (P58, 59) 鞆学区 (P60, 61) 走島町 (P62, 63)
 明王台学区 (P64, 65) 内海学区 (P66, 67) 内浦学区 (P68, 69) 能登原学区 (P70, 71) 千年学区 (P72, 73)
 常石学区 (P74, 75) 山南学区 (P76, 77)

松永ブロック 9 組織

松永学区 (P78, 79) 今津学区 (P80, 81) 神村学区 (P82, 83) 本郷学区 (P84, 85) 柳津学区 (P86, 87)
 金江学区 (P88, 89) 藤江学区 (P90, 91) 東村学区 (P92, 93) 高西町 (P94, 95)

北部ブロック 14 組織

有磨学区 (P96, 97) 福相学区 (P98, 99) 駅家学区 (P100, 101) 宜山学区 (P102, 103) 駅家西学区 (P104, 105)
 服部学区 (P106, 107) 駅家東学区 (P108, 109) 加茂学区 (P110, 111) 広瀬学区 (P112, 113) 山野 (P114, 115)
 しんいち学区 (P116, 117) 網引学区 (P118, 119) 戸手学区 (P120, 121) 常金丸学区 (P122, 123)

東部ブロック 15 組織

引野学区 (P124, 125) 旭丘学区 (P126, 127) 緑丘学区 (P128, 129) 長浜学区 (P130, 131) 蔵王学区 (P132, 133)
 千田学区 (P134, 135) 御幸学区 (P136, 137) 大津野学区 (P138, 139) 伊勢丘学区 (P140, 141) 野々浜学区 (P142, 143)
 春日学区 (P144, 145) 坪生学区 (P146, 147) 幕山学区 (P148, 149) 日吉台学区 (P150, 151) 大谷台学区 (P152, 153)

神辺ブロック 6 組織

神辺学区 (P154, 155) 竹尋学区 (P156, 157) 御野学区 (P158, 159) 湯田学区 (P160, 161) 中条学区 (P162, 163)
 道上学区 (P164, 165)

福山市市民活動スタートアップ事業の概要	166 ページ～
市民活動スタートアップ事業実施団体による事業報告	168 ページ～

本市における協働のまちづくり施策の取組について

1 協働のまちづくりとは

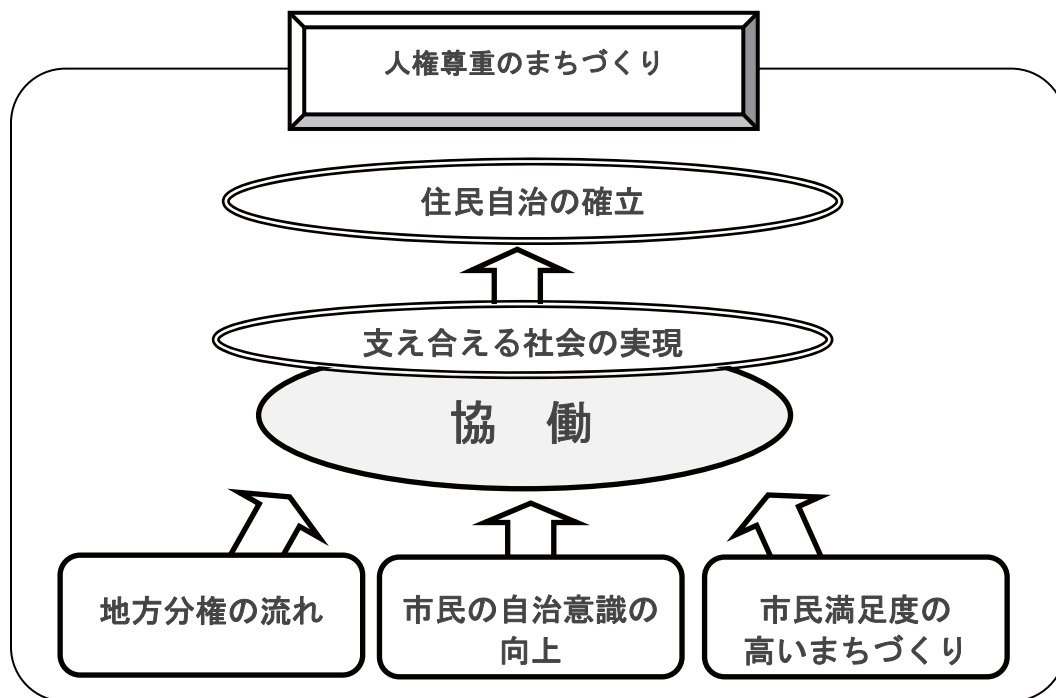
市民がまちづくりの主体であることを認識し、「市民がお互いに、あるいは市民と行政が、共通の目的を共有し、それぞれの持つ特性を活かしながら、対等な立場で補完しあい、協力しあって、自主・自立のまちづくりに取り組むこと（※福山市協働のまちづくり指針）」です。

「福山市協働のまちづくり指針」 2005年(平成17年)7月策定

市民と行政が対等な立場で役割を担い協力し合う「自助・共助・公助」のまちづくりを推進
[推進方針]

- 1 お互いの情報を共有します。(情報共有)
- 2 人材づくりを通じた意識づくりや啓発を行います。(人材・意識づくり)
- 3 みんなが活動しやすい参加しやすいシステムづくりを行います。(システムづくり)
- 4 協働に関する事業の評価・公開を行います。(評価・公開)

地域やボランティア・NPO、学校・大学、企業、行政等多様な主体が支え合える社会の実現と、市民の皆さんが、地域に愛着を持ち、まちづくりの主役として活躍できる住民主体の地域づくり、「住民自治」の確立をめざしています。



2 協働のまちづくりのあゆみ

2005年(平成17年)7月 「福山市協働のまちづくり指針」策定

2006年(平成18年)4月～ 「福山市協働のまちづくり行動計画」

市民と行政が協働し、市民による自主的・主体的なまちづくり活動の推進をスタート
[推進事業]

○まちづくり推進委員会による各地域（小学校区を基本とする）での地域まちづくり推進事業の実施…**地域課題の解決・活性化・コミュニティの育成**をめざす。

○市民提案型事業に対する補助など**ボランティア・NPO等の市民活動を支援**。

2012年（平成24年）4月～ 「第二次福山市協働のまちづくり行動計画」

市制施行100周年の2016年度（平成28年度）に、市民一人ひとりが「まちづくりの主演」として、協力し合い、いきいきと活躍できるまちとなることをめざす。

【重点項目】 地域のめざすべき目標、解決すべき課題を住民みんなで共有

- 各学区（町）まちづくり推進委員会で「地域まちづくり計画」を策定
- まちづくりに対し、「思い（志）」のある市民の活躍の場を創る
- 各学区（町）において「まちづくり志縁チーム」設立
- 地域を中心とした「まちづくり」のネットワークを創る
- まちづくりサポートセンターを中心とした連携・支援

協働の更なる深化 2017年（平成29年）4月～

第一次・第二次福山市協働のまちづくり行動計画に基づく取組を普遍化し、「市民がお互いに、あるいは市民と行政が、共通の目的を共有し、それぞれの持つ特性を活かしながら、対等な立場で補完しあい、協力しあって、自主・自立のまちづくり（※福山市協働のまちづくり指針）」を推進する。

まちづくりサポートセンターを中心に、市民、ボランティア・NPO、学校・大学、企業、行政等多様な主体による連携を図り、地域課題の解決や魅力の創出を推進する。

持続可能な地域コミュニティの形成に向けて 2019年（平成31年）3月～

市民の皆様から地域コミュニティ維持への危機感を訴える声を受け、2018年度（平成30年度）に持続可能な地域コミュニティのあり方を検討する有識者会議を開催し、今後の地域づくりにおける取組の方向性が示されました。地域づくりに意欲の持てる地域社会の実現をめざして、「協働」を更に深め、地域に寄り添いながら地域支援体制の再構築を進めて参ります。

3 協働のまちづくりを支える5つの特徴

1) まちづくりの拠点 【公民館・交流館・コミュニティセンター（館）】

市内には79の公民館・交流館と18のコミュニティセンター（館）があり、まちづくりの拠点となっています。公民館・交流館は地域の窓口・情報拠点の役割を担っています。

2) 地域の未来ビジョンづくり 【地域まちづくり計画】

まちづくり推進委員会が主体となり、住民が地域課題の解決方法や将来像を話し合い、地域まちづくり計画を策定し、計画に基づいた活動を実施しています。

3) 地域と行政をつなぐ 【生涯学習センター、協働推進員】

6つの生涯学習センターが地域と行政をつなぐ連携窓口です。

行政内の連携体制として、各課の協働推進員が窓口となり、生涯学習センターを通じて地域課題等と一緒に協議し、課題解決をめざします。

4) 全市的に市民活動を支援する拠点 【まちづくりサポートセンター】

ボランティア・NPO等に関する情報の収集と発信のほか、団体間のマッチングやネットワークづくり、活動の場の提供を行うなど、多様な市民活動をサポートしています。

5) まちづくりへの関心を深める講座 【ふくやま人財大学】

環境、防災、人権など幅広い分野の学習機会や情報共有の場を設け、市民のまちづくりへの関心や理解を深め、協働のまちづくりを推進する人材を育成します。

4 まちづくりの交流拠点 まちづくりサポートセンター

まちづくりサポートセンター（愛称：まちサポ）は、ボランティアやNPOをはじめとするあらゆる市民活動を支援するまちづくりの交流拠点です。

「活動を多くの人に知ってもらいたい」「活躍のステージやパートナーを探している」などのニーズに応え、市民の皆さんが主役として輝くまちづくりをサポートし、協働のまちづくりの更なるバージョンアップをめざします。

「まちサポ」に登録すると、市ホームページなどでの団体情報の発信や登録団体同士の交流の場への参加、「まちサポ」の諸室の無料利用などができます。

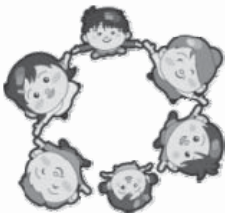


市民参画センター
2階(本町)

まちづくりサポートセンターを中心としたまちづくりのイメージ図

仕組みづくり

- まちづくり推進委員会の「地域まちづくり計画」に基づく事業の推進を支援します。
 - ・福山市地域まちづくり推進事業補助金
 - ・福山市地域まちづくり計画推進事業補助金
- 専門（プロ）人財の活躍
 - ・「まちづくり人財バンク」の活用
- 新たな行政支援
- NPO活動と地域との連携



人づくり

- ふくやま人財大学
 - まちづくりサポートセンターと連携し、学びの成果が地域活動につながる実践的な機会を提供します。
 - まちづくり大学 ○ばら大学 ○防災大学
 - 環境大学 ○人権大学 ○多文化共生大学
 - 子育て支援ボランティア養成講座
 - イコールふくやま人材育成セミナー



まちづくり(活躍の場)

【地域での活躍の場づくり】
例) 市民協働による文化施設の運営



松永地区まちづくり推進委員会連絡協議会による「松永はきもの資料館」の運営
【日本経営協会主催「協働まちづくり表彰」において優秀賞を受賞】

まちづくりサポートセンター(全市的にまちづくりを支援)



ボランティア・NPO等相談



つながるまちカフェ

- 活躍の場の提供
- 活動場所の提供
- ボランティア・NPO等のネットワークづくり（つながるまちカフェなど）
- まちづくりに関する相談（NPO法人設立など）
- 市民活動のマッチング（仲介）
- 市民活動時の安心補償
- 情報の集約と提供

名 称	地域まちづくり推進事業
事業目的	住民主体の地域づくりに向けて、市民と市の協働によるまちづくりを推進するため、一定の助成をすることにより、地域住民による自主的・主体的な活動が展開され、地域の課題解決や地域の活性化を図ることを目的とします。
対象団体	まちづくり推進委員会
対象事業	(1) 地域課題に取り組む事業 (2) 地域の活性化に向けた事業 (3) コミュニティの育成に取り組む事業 (4) 地域の環境づくり並びに健康づくりに取り組む事業 (5) 地域まちづくり計画に基づく事業
補助金上限額	補助金の上限額は、均等割と学区の世帯数に応じて算出した額の合計額とします。 補助金の上限額＝均等割額＋世帯数に応じた世帯割額
補助金の申請	補助金交付申請書に次の書類を添付して提出してください。 (1) 事業計画書 (2) 収支予算書 (3) 資金計画書 (4) 補助金交付申請理由書 (5) 役員届出書 (6) 委員会の規約
実施内容	上記対象事業(1)～(4)に基づき、地域課題や地域の特性に応じた事業を実施してください。
事業計画の変更	次のいずれかに該当する場合は、あらかじめ事業計画変更承認申請書に必要な書類を添付して提出し、承認を受けてください。 (1) 事業内容の変更をしようとするとき (2) 補助事業を休止し、又は廃止しようとするとき
役員の変更	委員長・会計・監査に変更があった場合は、役員変更届出書により届け出てください。
事業報告	事業完了後、1か月以内に事業報告書に次の書類を添えて報告してください。 (1) 収支決算書 (2) 事業内容報告書 (3) 監査報告

名 称	地域まちづくり計画推進事業
事業目的	福山市協働のまちづくり基金を活用し、自分たちの住む地域のめざすべき将来への道筋や、課題の解決方法を、まちづくり推進委員会が中心となり、住民自ら取りまとめた、地域まちづくり計画に基づき実施する事業に対して交付することを目的とします。
対象団体	まちづくり推進委員会
対象事業	地域まちづくり計画に基づき実施する事業
補助金の申請	補助金交付申請書に次の書類を添付して提出してください。 (1) 事業計画書 (2) 収支予算書 (3) 資金計画書 (4) 補助金交付申請理由書
補助金上限額	補助金の上限額は、30万円とします。
交付申請期間 及び申請回数	「地域まちづくり計画」の策定後2019年度（令和元年度）までの各年度において1年度につき1回、3か年度を限度として行うことができます。
事業計画の変更	次のいずれかに該当する場合は、あらかじめ事業計画変更承認申請書に必要な書類を添付して提出し、承認を受けてください。 (1) 事業内容の変更をしようとするとき (2) 補助事業を休止し、又は廃止しようとするとき
事業報告	事業完了後、1か月以内に事業報告書に次の書類を添えて報告してください。 (1) 収支決算書 (2) 事業内容報告書 (3) 監査報告

団体名	東学区まちづくり推進委員会	代表者	佐藤 賢一
-----	---------------	-----	-------

(問合せ先) 084-925-4264 (東公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 子ども広場 (7～8月 東公民館・三吉コミュニティセンター 4回 55人)
- (2) 盆踊り大会 (8月4日 東小学校グラウンド 1,000人 東学区音頭など)
- (3) 平和コンサート (8月25日 東小学校体育館 124人)
- (4) グラウンドゴルフ大会 (8月25日 東小学校グラウンド 54人)
- (5) 敬老会 (9月17日 東小学校体育館 140人)
- (6) 東学区民大運動会 (10月14日 東小学校グラウンド 2,200人)
- (7) 文化祭 (11月17～18日 東小学校体育館・グラウンド 1,000人)
- (8) 自主防災活動 (避難訓練 11月25日 東小学校体育館 353人)
(研修会 2月17日 東小学校体育館 152人)
- (9) とんど祭り(とんどの展示 12月22日～1月6日 福山城天守閣前広場・市役所)
(練り歩き・火祭り 1月14日 中央公園～商店街～東小 800人)
- (10) 防犯活動 (通年 各町内会)
- (11) 福祉事業 (通年 各町内会)
- (12) 地域おこし事業 (通年 各町内会)
- (13) コミュニティ育成事業 (通年 各町内会)
- (14) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 各町内会)



平和コンサート



避難訓練



とんど祭り

成果

盆踊り大会、文化祭、とんど祭り、自主防災訓練など、学区を挙げての事業・活動にあたって、準備から、実施、片付けに多くの学区民の参加を得て、盛大に行うことができた。これは、学区民の絆と団結力の強さ、自分たちのまちづくりへの意欲があつてこそできるものです。

課題

町内会加入率の低下に見られるように、地域の連帯感が弱まりつつある今日、こうした様々な活動やイベントに、より多くの学区民、特に、若年層の参加を促していく必要がある。

東学区

築城400年に向けて、福山城公園の清掃活動

2019年の福山入封400年、2022年の福山城築城400年に向けて、福山市のシンボルである福山城公園をきれいにするため、全市一斉清掃の日、6月と10月の2回、東学区から多くの学区民が参加して、清掃活動を行い、観光客等、福山城を訪れる人々をきれいな環境の中で迎えることができた。



清掃活動に出発



拾ったごみの分別回収

【地域まちづくり計画推進事業】

緊急連絡情報セットの配布・作成

自宅で具合が悪くなって、救急車等呼んだ場合に、救急隊員等に必要な情報を提供するため、「緊急連絡情報シート」と「保管ケース」を、東学区内の町内会未加入世帯を含め、約3,000世帯に配付して、シートを作成し、冷蔵庫内に保管しておく取組を行った。



緊急連絡情報シートと保管ケース

団体名	西学区まちづくり推進委員会	代表者	徳山 威雄
-----	---------------	-----	-------

(問合せ先) 084-925-0442 (西公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 三世代交流グラウンドゴルフ大会 (5月20日 芦田川 GG 場 75人)
- (2) ユニカールの普及
 - ・ユニカール大会 (2月3日 西小学校体育館 62人)
 - ・ユニカール同好会 (年間月2回 西公民館)
- (3) 講演会『食について・給食体験』 (10月10日 西小学校ランチルーム 25人)
- (4) 第40回西学区ハイキング 市内文化財『明王院』 (11月4日 明王院 59人)
- (5) ラジオ体操の普及 (年間 西公民館ほか)
- (6) 環境整備活動
 - ・全市一斉清掃 (6月3日・10月28日 芦田川 318人)
 - ・西公民館清掃 (3月16日 西公民館 9人)
 - ・ばら挿し木講習会 (6月26日 西公民館 12人)
 - ・ばら剪定講習会 (8月31日 西公民館 8人)
 - ・使用済み食用油などの回収(廃油1,150ℓ/割り箸116kg/牛乳パック650kg)
 - ・環境学習『足元を知ろう』 (9月25日 西公民館 27人)
- (7) 環境関連施設見学 (6月19日 汚泥処理センター・イーアールジャパン 33人)
- (8) 安心安全なまちづくり
 - ・通学路の安全確保・児童の見守り活動 (年間 通学路 ボランティア121人)
 - ・学区行事の安全確保 (年間 各行事会場)
 - ・西小学校遊具ペンキ塗り (10月27日 西小学校校庭 22人)
 - ・登下校見守りボランティア交流会 (6月26日 西公民館 54人)
- (9) 交通安全教室『学区内の危険箇所を歩く』 (9月8日 学区内危険箇所 78人)
- (10) 第43回西学区盆踊り大会 (8月5日 西小学校校庭 約1,500人)
- (11) 第39回西学区新年互礼会 (1月1日 西公民館 78人)
- (12) まちづくりシアター『聲の形』上映会 (10月20日 西小学校体育館 180人)
- (13) 現地学習『ホロコースト記念館』 (8月25日 ホロコースト記念館 30人)
- (14) 学区の歴史勉強会
 - ・西学区の知っとる検定 (11月11日 西小学校体育館 68人)
 - (1月24日 西小学校 6年生75人)
 - ・福山築城隊『ペーパークラフトで城づくりの会』 (年間月1回 西公民館)
- (15) 広報活動(HP/メール配信)
 - ・HP/メール配信設定の更新 ・各事業活動報告HP掲載(年間)
- (16) スキルアップ
 - ・講習会『SNSの利便性と注意点』 (2月15日 西公民館 14人)
 - ・パソコンサークル (年間週1回 西公民館)
- (17) 第23回西学区ふれあい大バザー(11月11日 西小学校校庭ほか約4,000人)
- (18) とんど祭り (1月12日 西小学校校庭 250人)

- (19) ハザードマップ活用研修会 (5月12日 西公民館 75人)
- (20) 水害想定図上訓練 (11月25日 全市防災訓練日 西公民館 24人)
防災訓練 (11月25日 西小体育館 220人)
- (21) 災害現場の視察 (6月3日 学区内災害現場 57人)
- (22) 防災資機材の整備(防災資機材整備)
- (23) コミュニティ育成事業(16町内会) (24) まちづくり推進委員会運営事業(年間)
- (25) 地域まちづくり計画に基づく事業(年間) (26) 広報紙の発行(年間)



災害現場の視察 (佐波, 神島)



学内の危険箇所を児童と歩く

成 果

西学区まちづくり計画の作成に伴い、西学区アンケート結果を参考に、各部会（健康づくり、環境、安全、文化、総務、情報ほか）で事業内容を検討・実行した。年度末には、事業の目的や目標を達成するために必要な取組などについて振り返りができるようになるとともに、目標がはっきりし、部会員が内容を共有することもできるようになってきた。

課 題

町内会加入世帯の減少や高齢化などもあり、参加者が減少している事業が多い。また担い手不足も深刻になってきている。地域・時代のニーズに合った事業を企画するためにも、若い世代に役員として積極的に参加してもらうことや意見を聞ける場所づくりなど工夫が必要。

スームアップ!輝くまちづくり

学校元気大賞「地域一丸」部門受賞!!
子どもたちの育成に向け、学校と地域が一丸となった取組や地域の方の協力!!

【受賞内容】子どもたちは地域の宝物だという思いを持ち、西小学校児童の登下校の見守り活動を長年継続して行ってくださっています。また、学区内の危険箇所の確認・マップ作りや交通安全教室の開催など、子どもたちの命や学区の安全を守る活動は多岐にわたっており、保護者・職員も大きな信頼を寄せています。(福山市教育委員会HP記事より抜粋)



【児童からの感謝の言葉】ぼくたちの安全のために、毎日登下校の時に、時間に合わせて見守りをしてくださりありがとうございます。最近では、こわい事件や事故が多くあるので不安になることがあります。皆さんの笑顔や元気のいい挨拶、付き添いなどがすごく心強いです。(福山市教育委員会HP記事より抜粋)



西学区まちづくり推進事業の内容は **“西学区まちづくりホームページ”**
をご覧ください → <http://w-machizukuri.com/>

団体名	南学区まちづくり推進委員会	代表者	佐藤 憲明
-----	---------------	-----	-------

(問合せ先) 084-932-0374 (南公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 道三川の環境美化活動 (5月19日 ばら公園周辺 6月3日及び、10月28日 道三川周辺 延べ310人)
- (2) 学区民わくわくカフェ (6・10・2月 南公民館 100人)
- (3) ふるさと祭り(盆踊り) (8月4日 南小学校 600人)
- (4) 自主防災活動 (11月25日 防災訓練(福山市総合防災訓練), 350人 南小ほか4箇所に避難, その後, 南小学校にて研修 310人(うち外国人参加4人))
- (5) 地域福祉活動推進事業
 - ① 健康講座 (9月26日「転ばない足腰を作ろう」ローズコム 17人)
 - ② 男性料理教室 (年3回 南公民館 延べ26人)
 - ③ シニアグラウンドゴルフ大会 (年3回 中央公園芝生広場ほか 延べ148人)
 - ④ 「ふれ愛サロンみなみ」開催 (毎月1回 稲荷神社 延べ380人)
- (6) 人権啓発推進事業(住民学習会)
 - (9月25(2回)・26・27日・10月5日 南公民館ほか 延べ105人)
- (7) 納税意識啓発活動 (10月7日 学区民運動会プログラムに納税意識啓発広告掲載)
- (8) 寿会福祉活動(敬老福祉運動会) (10月14日 南小学校体育館 170人)
- (9) ふれあい広場文化祭 (11月4日 南小学校 600人)
- (10) 三世代交流ウォーキング (10月14日 三瓶山ウォーキング 35人)
- (11) とんど火祭り (1月20日 南小学校校庭 600人)
- (12) 児童安全推進事業 (学童通学路安全見守り, 週2回10交差点 延べ1,000人)
- (13) 防犯活動事業 (夜間防犯パトロール 延べ820人, 勉強会・防犯啓発広報の配布)
- (14) 環境・公衆衛生活動(道三川清掃, 環境美化看板改修, 土のう配布)



ふるさと祭り 二上り踊り



男性料理教室

成果

年間計画に基づき、事業を確実に実施した。少子高齢化により各行事への参加率は減少傾向にあるものの、協働のまちづくりの意義は確実に浸透している。また今年度初めて外国人住民が「防災訓練」に参加した。

課題

まちづくり事業の主力である各団体の役員の高齢化が進み、次世代の若い人をいかに育成するかが課題である。また、既存の事業の見直し・事業の一体化等を進めていく必要がある。

私たちは事業の継続をだいにしています！

(1) 児童下校時「声かけ見守り活動」、今年で14年目

下校時の児童の安全を図るために、2006年1月に発足した「声かけ・見守り隊」が、今年で14年目を迎えました。その活動が認められ、昨年には、「福山学校元気大賞」を受賞しました。

登下校時の児童が交通事故等に巻き込まれる事案や、不審者情報が多発する中、声かけ・見守り活動がより重要となります。

ボランティアの方々が高齢化によって減少する中においても、継続を第一にこれからも活動をしていきます。

(2) 「エバーグリーン活動」、今年で6年目

「エバーグリーン」の会は、南小学校創立100周年を記念して2012年度（平成24年度）に結成されたものです。

「心豊かでたくましい子どもを育む為の環境づくり」の一環として南小学校芝生広場の管理・環境整備等を行うことを目的としたもので、メンバーは、小学校・PTA・卒業生・各種団体・地域住民で構成しています。

6月のエアレーション（空気の送り込み）作業や10月の冬芝の播種作業、そして草刈りや散水は常時行っています。

6月・10月には、結成当時・以降の小学校の校長先生・教頭先生も参加し、さながら同窓会の雰囲気を感じ出しています。



声かけ・見守り活動



エバーグリーン作業

団体名	霞学区まちづくり推進委員会	代表者	枝廣 稔
-----	---------------	-----	------

(問合せ先) 084-921-6179 (霞公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 青少年育成事業 (6月～3月合計22回 霞公民館ほか 延べ538人)
- (2) 環境美化活動事業 一斉清掃 (6月3日 学区内の河川 209人)
(10月28日 学区内の河川 187人)
ばらの接木講習会 (1月19日 霞幼稚園 25人)
園庭・溝の清掃 (3月～11月 霞幼稚園 79人)
ばら花壇の手入れ 通年
- (3) 霞学区盆踊り大会 講習会 (7月28日 霞小学校体育館 70人)
盆踊り大会 (8月4日 霞小学校運動場 2,600人)
- (4) 霞学区善行表彰事業 (10月7日 霞小学校運動場 対象表彰者 4人)
- (5) 霞学区ふれあい文化祭 (11月10・11日 霞小学校体育館ほか 1,900人)
- (6) 霞学区ふれあいとんど (1月13日 霞小学校運動場 380人)
- (7) 世代間交流事業 歩け歩け運動 (4月30日 明王院 100人)
カブノドミュージアムと手塚治虫記念館 (8月19日 大阪 48人)
健康ウォーキング大会 (11月23日 府中 43人)
グラウンドゴルフ大会 (3月21日 福山市GG場 49人)
- (8) 安心安全のまちづくり事業 高齢者交通安全教室 (9月15日 老人大学 82人)
徘徊声かけ訓練 (12月1日 学区全域 78人)
- (9) 広報紙発行事業 (6月・3月発行)
- (10) コミュニティ育成事業 ごみ分別啓発・納税推進含む (通年)
- (11) 衛生推進活動事業 ごみ分別や公衆衛生活動 (通年)
- (12) 霞学区100周年記念行事積立事業
- (13) まちづくり推進委員会運営事業 (年8回 霞公民館 延べ197人)



メキシコ料理教室



盆踊り大会



ふれあい文化祭



グラウンドゴルフ大会

成 果

今年度もまちづくり推進委員会の事業を通じて、各種団体や地域住民との交流ができた。

課 題

行事の参加者が固定化の傾向にある。行事内容の充実及び広報活動に取り組んでいきたい。

スーパァッ!輝くまちづくり

霞 学区

「ふれあいとんど」を開催しました!!

2019年「ふれあいとんど」は10回目を迎え、とんどの形も進化しました。
 毎年「来年はもっとカッコよく!」を合言葉に制作してきました。
 藁わらの括りくくり方を考え、2回目からは全児童が紅白の飾りで参加してくれました。
 垂れ幕や習字を飾りとても華やかになりました。
 地域の皆さんと少しずつ知恵を出し合って今の形になりました。



2010年1月
第1回目の「とんど」



い亥い年になりますように



2019年1月
第10回目の「とんど」

霞学区がめざすまちづくりはここに 있습니다

か がやく未来へ
す みよいまちを
み んなでつくろう



【地域まちづくり計画推進事業】

紹介します! ~地域とつながる場所 かすみ塾~

「仕事を離れても、ここ(霞)でつながって長く暮らしたい!」
 まちづくり懇談会でよく聞かれた意見です。
 自分の居場所が、仕事以外に、地域に、趣味に幾つもあることは、心の支えになります。
 そこで!

幼稚園の元保健室に、地域から将棋・囲碁・マージャンを持ち寄り、
 カラオケと椅子を新たに整えました。



初心者も「わかる」「できる」健康麻雀
 只今開催中



この場所から、趣味を通して、他愛もないお喋りを通じて、一緒に活動する仲間が生まれ、
 活気に溢れここに住んで本当に良かったと思える霞を作るための活動が始まります。

団体名	多治米学区まちづくり推進委員会	代表者	馬場 輝邦
-----	-----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-953-7342 (多治米公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 囲碁・将棋大会 (3月2日 多治米公民館 40人)
- (2) 高齢者健康促進 (7月1日 島茂登 65人, 毎月2回 多治米公民館)
- (3) 学区運動会 (10月14日 多治米小学校グラウンド 2,000人)
- (4) カローリング大会 (7月8日 多治米小学校 150人)
- (5) 歩け歩け運動 (3月24日 多治米小学校~明王院 80人)
- (6) 防犯啓発活動 (7月 学区内各所)
- (7) 地球環境にやさしい生活運動 (3月7日 多治米公民館 36人)
- (8) 防火啓発活動 (11月 学区内各所)
- (9) サロン活動 (年3回 多治米公民館 120人)
- (10) 福祉広報誌発行 (年4回)
- (11) ふれあい広場 (10月28日 多治米小学校 2,000人)
- (12) 子どもとのふれあい (通年 多治米公民館ほか 643人)
- (13) とんど (1月13日 多治米小学校グラウンド 600人)
- (14) コミュニティ育成 (通年 多治米学区内各町内会自治会毎)
- (15) 地域まちづくり計画に基づく事業
- (16) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 多治米公民館 役員会 99人)



高齢者健康促進



ふれあい広場

成果

子どもから高齢者まで学区全体で行う行事を通じて、各種団体や地域住民の協働による自主的・主体的な活動を実施し連携を深めることで、「協働のまちづくり」に対する理解も得られ、地域課題の解決に向けた取組ができた。

課題

来年度は、地域課題をより掘り下げ、より多くの住民が参加できる事業を計画し、学区が一体となり相互のつながりが深まるようにしていくことが必要。

スームアップ! 輝くまちづくり

■ 子どもとのふれあい事業

多治米学区は子育てにやさしい地域をめざし、年間を通してさまざまな行事を展開しています。

○ たじめひろば (未就学児と保護者対象)

毎月第2・4金曜日 10:00～

○ たじめクラブ (概ね小学生対象)

毎月第2土曜日



たじめひろば(手形足形アート)



たじめクラブ(和菓子作り)



たじめクラブ(リサイクル工場見学)



たじめひろば(バルーンアート)

【地域まちづくり計画推進事業】

■ 子ども会加入促進

子ども会の魅力を伝えるプレゼンや、「子ども会文化祭」、夏休みの子どもたちの居場所づくりとして「たじめ寺子屋」など工夫を凝らした内容に取り組みました。



たじめ寺子屋(絵画作品を作ろう)



運動会でのプレゼン



子ども会文化祭

■ あいさつ運動

あいさつ標語を小学生から募集し優秀作品を選出しました。

あいさつでみんなの
こころがほっかぽか

「こんにちは」多治米が
明るい町になる

元気よく人に会ったら
あいさつを

あいさつは
ほんの少しの勇気から

めざそうよあいさつ
いっぱい聞こえる地域

あいさつはにっこり
えがおでいいきもち

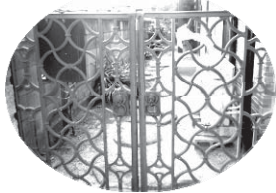
団体名	川口学区まちづくり推進委員会	代表者	三村 則夫
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-953-2393 (川口公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 世代間交流絵画教室 (6月～3月 川口公民館ほか 延べ450人)
- (2) スポーツ雪合戦 (6月3日 川口小学校 約100人)
(11月25日 川口小学校 約100人)
- (3) 少年少女親善球技大会 (7月1日 川口小学校 約100人)
- (4) 福祉講演会 (7月14日 川口公民館 80人)
- (5) 脱温暖化出前講座 (7月21日 川口公民館 30人)
- (6) グリーンカーテン設置 (7月～9月 学区内 470世帯)
- (7) 健康推進事業 (ゴーヤの料理教室 7月31日 川口公民館 29人)
(ゴーヤのドライカレーの試食 10月28日 川口小学校 150人)
- (8) ふれあい清掃 (8月26日 川口小学校 626人)
- (9) 川口ふれあいサロン (6月～3月 旧川口幼稚園 1,373人)
- (10) 敬老会アトラクション (9月17日 JA川口支店 380人)
- (11) 第24回ふれあいグラウンドゴルフ大会 (10月21日 川口小学校 120人)
- (12) 2018川口学区民ふれあい祭 (10月27日・28日 川口公民館・川口小学校
約750人)
- (13) 交通安全講習会 (12月14日 川口公民館 23人)
- (14) 環境問題講習会 (11月25日 JA川口支店 213人)
- (15) 第9回自主防災避難訓練 (11月25日 JA川口支店 213人)
- (16) 高齢者ふれあい広場 (11月10日 川口公民館 49人)
- (17) 交通安全看板設置 (2月 学区内 2枚)
- (18) 第8回冬至のかぼちゃ汁 (12月22日 川口公民館 154人)
- (19) 第7回とんど祭 (1月13日 川口小学校 約750人)
- (20) 文化伝承行事 (1月30日 川口小学校 92人, 2月13日 100人)
- (21) まちづくり講座 (6月～3月 川口公民館 472人)
- (22) コミュニティ育成事業 (ごみ分別啓発・納税推進含む 通年 各町内会)
- (23) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 川口公民館)



無事を知らせる
黄色いリボン掲出



防災講演会



グリーンカーテン設置

成 果

各種団体や地域住民の協働による自主的・主体的な活動を実施する中で、高齢者が集う“ふれあいサロン”は参加者が増え、毎週楽しみにしている方たちの憩いの場となっている。とんど祭は子どもから高齢者まで世代間の交流が深まり地域の活性化を図ることができた。

課 題

事業を実施するに当たり各種団体の担う役割が大きいため、役員の負担の軽減と若い世代を育成し、事業内容の充実を図る。

スムーズアップ!輝くまちづくり

川口学区は

敬老会会場を変更して実施しました!!

今年度の敬老会は実施会場をアルセからJA福山市川口支店に変更したことにより町内会を午前と午後に分けて開催しました。残暑の厳しい中、冷房の効いた会場は涼しく、来場者から非常に快適だったとの声が寄せられました。参加者は昨年より20人ほど増え総勢380人でした。

アトラクションは「舞踊」と「銭太鼓」と「歌と手遊び」の3種目を行い、出演者と参加者が一体となるほど会場は盛り上がりを見せました。また午前、川口小学校5年生児童による「よさこい踊り」も披露され児童の躍動に参加者は元気をもらいました。

金婚者表彰



よさこい踊り



銭太鼓



舞踊



歌と手遊び



団体名	曙学区まちづくり推進委員会	代表者	藤川 隆士
-----	---------------	-----	-------

(問合せ先) 084-953-5942 (曙公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 環境衛生活動事業 (6月24日 11月18日 幹線道路 延べ50人)
(8月26日 曙小学校庭・あけぼの幼稚園 約80人)
- (2) 地域交流事業 (10月～11月 曙公民館ほか)
(10月23日 2月2日 曙公民館 延べ200人)
- (3) 高齢者ふれあい活動事業 (3月5日 曙公民館ほか 150人)
- (4) 子育て支援事業 (通年 曙公民館ほか 延べ100人)
- (5) まちづくり広報紙発行 (年10回発行 全戸配布)
- (6) 曙学区大運動会 (9月16日 曙小学校 約1,300人)
- (7) 曙学区盆踊り大会 (8月4日 曙第二公園 約800人)
- (8) 曙学区善行表彰 (10月28日 曙第二公園 7人表彰)
- (9) 曙ふれあい文化祭 (10月27日・28日 曙公民館・曙小学校・曙第二公園 約800人)
- (10) とんど (1月6日 曙公園 約150人)
- (11) まちづくり研修 (12月9日 江波山気象館ほか 29人)
- (12) コミュニティ育成事業 (通年 11町内会)
- (13) 世代間交流事業 (2月2日 曙公民館 約135人)
- (14) まちづくり推進委員会運営事業
- (15) 地域まちづくり計画に基づく事業



曙学区善行表彰



環境衛生活動事業



曙ふれあい文化祭

成果

年々、町内会や各団体から学区善行表彰者の推薦が増え、地域で活躍している方を多くの学区の住民にお知らせすることができています。

盆踊り大会を楽しみにしている子どもたちの参加が増えてきています。今後も地域のコミュニティの場となるよう盛り上げていきたいと思ひます。

課題

参加者が増え、地域のコミュニティの場となっている事業がある反面、役員の固定化や高齢化が進み、役員の負担になっている事業や参加者が減少している事業があります。

役員の負担を減らしながら、地域のコミュニティの場となる事業を継続していくために、事業を行う方法や、地域への広報の方法など考えていく必要があります。

スームアッフ! 輝くまちづくり

「とんど」を開催しました!!

20数年前から子ども会が主催して開催していた「とんど」。未来へ残していきたい学区の行事として、まちづくり事業としました。

2019年度、曙小学校が創立50周年を迎えるにあたり、たくさんの児童の書初めと垂れ幕をとんどに飾り付けました。

当日は、多くの参加者が集まり、菓子まきとぜんざいがふるまわれ、天高く燃え上がる炎に一年の無病息災を祈念しました。

今後も、学区の伝統行事として、長く続けていきたいと考えています。



みんなでとんどの飾りつけ!



今年も1年無事に
過ごせますように!!



【地域まちづくり計画推進事業】 学区防災マップを作りました!!



学区全体で防災・減災対策について取り組む中、各自がよりスムーズな避難行動ができるよう、「避難行動の手引き」と市指定の避難場所と公園や水路等の記入および、小学生が防災について学習した記事を一緒にして、学区の防災マップを作成しました。

新年度はこのマップをもとに自ら考え行動できるよう、さらに防災について取り組んでいこうと考えています。

団体名	新涯学区まちづくり推進委員会	代表者	倉田 秀孝
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-953-5634 (新涯公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) まちづくり研修 (4月22日 先進地視察 愛媛県内子町 90人)
- (2) 地域防災向上事業 (11月18日 総合防災訓練 新涯小グラウンド 約800人)
- (3) グラウンドゴルフ (6月10日 新涯小グラウンド, 10月27日 新涯四丁目公園 延べ250人)
- (4) 高齢者・成人・男の料理教室 (7月13日, 9月11日 新涯公民館 各20人)
- (5) 新涯カルチャールーム (6月28日 和紙で作る蓮の花飾り 12人, 9月27日 タイルクラフトの鍋敷き 20人, 10月18日 ポーセラーツ 11人)
- (6) 地域連携・絆を深める事業 (12月 ホームページの立ち上げ, 3月6日 ふれあいコンサート 新涯幼稚園 約120人)
- (7) 夏まつり盆おどり大会 (7月25日 踊りの練習 新涯公民館 約70人, 8月1日 踊りの練習 新涯小体育館 約150人, 8月4日 夏祭り盆おどり大会 新涯小グラウンド 約2,500人)
- (8) 環境保全づくり事業 (6月3日, 10月28日 学区一斉清掃 延べ500人)
- (9) ふれあいフェスタ(11月3日 作品展 新涯小体育館 約800人, 11月4日 作品展・イベント・バザール 新涯小グラウンド・体育館 約3,500人)
- (10) 子育て支援事業(6月21日 スピードクッキング 新涯公民館 10人, 9月18日 絵本の読み聞かせ 新涯公民館 8人 子育てサークル育成支援)
- (11) 安心・安全を高める事業(防犯対策啓発横断幕10枚・のぼり旗20枚 各町内に掲示)
- (12) 心と体の健康づくり事業 (7月23日から8月10日 ラジオ体操 新涯公民館 延べ500人, 10月24日 背骨コンディショニング 新涯公民館 34人, 12月7日 腹式呼吸のススメ 新涯公民館 23人)
- (13) ばら花壇づくり(通年 新涯公民館花壇, 臨海地域(一文字堤防))
- (14) コミュニティ育成 (ごみ分別・納税推進等の啓発 9町内会 約3,500世帯)
- (15) とんど祭り (1月20日 新涯小学校グラウンド 約600人)
- (16) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 新涯公民館)



総合防災訓練



特殊詐欺 横断幕

成果

恒例行事を始め各種事業に各部会が積極的に関わることにより, それぞれの事業がより活性化され, 参加者も増加し質の高いまちづくり活動へと進展しつつある。

課題

これまでまちづくり計画で取り組んできた内容について, とりわけ, ホームページやいろはかるたの普及などを一層充実させていく必要がある。

スームアップ!輝くまちづくり

シニア交通安全教室を開催しました!!【安心・安全部会】

安心・安全部会では、学区内が基盤の目のような道路事情であることや、高齢者による交通事故が多発している現状に鑑み、シニア向けの交通安全教室に取り組んでいます。今後も交通事故を減らすために効果的な事業をソフト・ハード両面から計画的に実施していきます。

乳がんについての学習会を開催しました!!【福祉・健康部会】

福祉・健康部会では、近年女性のがん第1位の「乳がん」について、福山市民病院乳腺外科の池田雅彦先生にご講演いただきました。講演後の参加者アンケートでは、「明日検診に行きます。」「検診の大切さが分かった。」などの意見をいただき大変好評でした。

朗読劇と焼き芋体験を開催しました!!【教育・子育て部会】

教育・子育て部会では、朗読劇「あかりちゃんの冒険と海の物語」&焼き芋体験を行いました。朗読劇では部会員が主人公になりきって朗読し、子どもたちも保護者も楽しい時間を過ごしました。お楽しみの焼き芋は、甘くてホクホクしていて、みんなが笑顔になり、楽しい時間でした。

環境啓発ポスターと不法投棄厳禁のポスター設置!!【環境保全部会】

環境保全部会では、学区内のごみ問題を課題に何度も話し合いを重ね、環境ポスターでの継続的な啓発に加え、学区内に不法投棄が見受けられることから、「不法投棄厳禁」ポスターの掲示を啓発活動に加えしました。

新涯いろはかるた大会の開催とホームページを立ち上げました!!

【絆・活性化・文化部会】

絆・活性化・文化部会では、昨年度から継続して「新涯いろはかるた」の作成に取りかかりました。読み札、絵札のデザインなど何度も何度も会議をかさね検討し完成しました。小学校の休憩時間を活用し、かるた大会を開催することもでき、新涯の今昔を子どもたちに伝承するよいきっかけになりました。

また、新涯学区まちづくり推進委員会のホームページの立ち上げも行いました。スマートフォンやパソコンで閲覧することができるため、事業に対する意見が届くなど、地域のみなさんからの声に少し寄り添うことができるようになりました。



朗読劇と焼き芋体験



新涯いろはかるた



乳がんの学習会

団体名	手城学区まちづくり推進委員会	代表者	田中 恭治
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-931-4009 (手城公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) てしろっ子支援事業 (わくわくキッズ 8回, ハッピーランド 10回 手城公民館 479人)
- (2) 少年少女親善球技大会 (7月15日 手城小学校 約400人)
- (3) ふれあい学習会 (60回 手城公民館ほか 2, 102人)
(料理教室 8回, ばら講習会 1回, からだカイゼン教室 1回, いきいき百歳体操 49回, すこやか健康体操 1回)
- (4) 茶道教室 (通年23回 手城保育所・あんず保育園・手城幼稚園 920人)
- (5) 手城学区民グラウンドゴルフ大会 (5月20日 手城サッカー場 115人)
- (6) 高齢者と幼児の福祉の集い(保育所・幼稚園児と高齢者の世代間交流)
(11月1日 手城幼稚園 250人)
- (7) 子ども見守り活動 (通年 手城学区内)
- (8) 広報紙発行(年5回)
- (9) コミュニティ育成
(通年 ごみ分別啓発・納税推進・公衆衛生含む 手城学区10自治(町内)会)
- (10) 地域の環境づくり並びに健康づくりに取り組む事業
(8月 環境啓発ポスター 手城小4年生 91枚)
(8月2日 福山市循環関連施設バス見学 25人)
- (11) まちづくり推進委員会運営会議 (随時 手城公民館)
- (12) まちづくり計画に基づく事業 (てしろばら祭・ふれあい大会・地域伝統文化の継承と創造(とんどの作製・練り歩きなど)・安心・安全のまちづくり事業(防災事業など))



少年少女親善球技大会

子ども見守り活動

成 果

「協働のまちづくり」に対する学区住民の理解は、さまざまな行事を実施し学区の皆さんが参加していくことによってより一層深めていくことができていると思っている。本年度は災害の多い年となり、学区の方々の防災に関する事業の開催要求が多く、学区の皆さんの関心が伺えた。またその時その時に対応した事業内容を提供することができたと思っている。

課 題

さらに多くの地域住民に参加してもらえよう時代に即した事業内容や事業の充実・広報活動に力を入れていきたい。

また、「手城学区まちづくり計画」の原点を忘れず、「ずっと住み続けたい」、「住み続けることができる」持続可能なまちづくりを進め、このまちづくり計画に基づき手城学区に誇りと愛着を持ち、学区住民の一人ひとりがまちづくりの主役として「協働」を実感できる取組を引き続き行っていきたい。

スームアップ!輝くまちづくり

**【地域まちづくり計画推進事業】
「第8回てしろぼら祭」開催しました!!**



「第35回手城学区ふれあい大会」開催しました!!



団体名	深津学区まちづくり推進委員会	代表者	藤井 修
-----	----------------	-----	------

(問合せ先) 084-925-4263 (深津公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 教育文化事業
 - ① ばら観賞会・ばらコンサート (5月26日 深津緑地, 東深津保育所 160人)
 - ② 時代行列 (10月21日 深津学区一円 巡行者70人)
 - ③ 深津とんど祭り (1月20日 深津小学校グラウンド 250人)
 福山城あかりまつり (12月22日~1月6日 福山城へとんど1基を設置)
 とんど練歩き (1月14日 40人 福山とんど実行委員会主催)
- (2) ふれあい夏まつり (8月4日 深津小学校グラウンド 2,000人)
- (3) ふれあいまつり (11月11日 深津小学校 2,500人)
- (4) 健康増進
 - ① グラウンドゴルフ大会 (4月22日 深津小学校グラウンド 155人)
 - ② ウォークラリー大会 (11月18日 深津学区一円 200人)
 - ③ シニア運動会 (10月13日 深津幼稚園園庭 130人)
- (5) 環境整備
 - ① ほたる飼育 (通年 深津小学校児童も飼育に参加 100人)
 「ほたる祭り」で児童が飼育の体験発表を行う。
 - ② ばら花壇整備 (通年 深津緑地 120人)
 モデル花壇の認定が継続され, 多くの人が観賞に訪れた。
 - ③ クリスマスイルミネーション (11月~12月 深津緑地)
- (6) 安心・安全 (福山市総合防災訓練 11月25日 深津小学校 900人)
 小学校グラウンドでは自衛隊炊事車による炊出し訓練・土嚢積載訓練,
 体育館内では段ボールで作った避難所見学等を実施した。
- (7) 福祉の増進
 - ① 高齢者のつどい 七夕まつり (7月7日 豪雨のため中止)
 - ② 高齢者のつどい クリスマス会 (12月15日 東深津保育所 130人)
- (8) 広報事業 学区だより発行 (年2回 7月・2月)
- (9) コミュニティ育成事業
 一斉清掃・ごみ分別啓発・資源回収・納税推進 (通年 学区12町内会)
- (10) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 深津公民館)



モデルばら花壇 (深津緑地)



ばらコンサート

スームアップ!輝くまちづくり

「福山城築城400年記念事業」



福山城あかりまつり

「芦田川を守る日」
市内河川流域一斉清掃
手城川流域の清掃を実施



～福山市総合防災訓練～

段ボール避難所見学・災害対策車両見学・
炊出し訓練・土嚢積載訓練・上空ヘリ視察



枝廣市長訓示



土嚢積載訓練



自衛隊による炊出し訓練



段ボール避難所見学

成 果

各事業を通して、学区民の自主性・主体性が発揮され、年々地域の活性化の意識高揚が見られるようになってきた。

課 題

持続可能な地域コミュニティの形成をめざし、各種団体間の連携を図り、地域課題の解決や諸事業の見直しに取り組んでいきたい。

団体名

西深津学区まちづくり推進委員会

代表者

山岡 孝幸

(問合せ先) 084-924-6009 (西深津公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 学区民運動会 (5月27日 西深津小学校グラウンド 1,000人)
- (2) 学区納涼盆踊り大会 (8月4日 西深津小学校グラウンド 1,000人)
- (3) にしふかつ文化祭 (10月20日・21日 西深津小学校ほか 1,200人)
- (4) 人権週間記念事業 (12月2日 深津コミュニティセンター 119人)
- (5) 餅つき行事・とんど行事 (12月14日・1月11日 西深津幼稚園 620人)
- (6) 蓮池川清掃 (5月~10月第3日曜 275人)
- (7) 生きがいづくり事業 (通年)
 - ①まちづくり講演会 (6月12日 公民館会議室 38人)
 - ②レクでいきいき仲間づくり (5月24日・11月22日 公民館会議室 26人)
 - ③陶芸講座 (8月23日 公民館実習室 12人)
 - ④うたごえ交流会 (12月5日 公民館会議室 21人)
 - ⑤フラワーアレンジメント (12月26日 公民館実習室 20人)
 - ⑥さわやかコンサート (1月26日 公民館会議室 50人)
- (8) こども土曜クラブ (年間11回 公民館ほか 500人)
- (9) まちづくり視察研修 (11月11日 淡路島北淡震災記念公園 45人)
- (10) コミュニティ育成事業 (通年 学区内13町内会)
- (11) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 西深津公民館)



学区民運動会



納涼盆踊り大会



にしふかつ文化祭

生きがいづくり事業 まちづくり推進事業として発足以来、生涯学習事業・地域福祉事業を諸般にわたり実施してきました。2010年度からは、恒例行事を「生きがいづくり事業」としてまとめ、継続実施してきました。住民が自由にサロン風に集い楽しめる会として、定着してきています。主な事業内容は、レクリエーション活動・健康講演会・陶芸講座・うたごえ交流会・フラワーアレンジメント・さわやかコンサートなどです。

成果

恒例の行事を中心に、気軽に参加できる諸行事として定着してきている。

課題

活動の主体となる諸団体の組織的な育成・活性化が図られる必要がある。



うたごえ交流会



陶芸教室

スーパァッフ!輝くまちづくり

2019年 西深津学区創立40周年に向けて 「安心安全のまちづくり」

「認めあい、尊重しあい、支えあい」から「人権文化の根付いたコミュニティづくり」のために

西深津学区は、今年2019年に学区創立40周年を迎えます。東西は深津高地の稜線から国道313号線まで、南北は新幹線北側から蔵王巖山山麓までの総面積約3.2km²の学区です。

西深津学区まちづくり推進委員会は、13町内会を含めた全40団体で構成しています。

「にしふかつ」「しあわせあふれる」「ふるさとに」「かがやくえがお」「なごうきずな」を合言葉に、各種諸行事に取り組んでいます。



まちづくり推進委員会

好きです西深津・絆を結ぶまちづくり

We love Nishifukatsu!
こどもが参加する「まちづくり」

当学区では、学校等とも連携して、こどもを中心にした事業を大事にしながら、まちづくり委員会主催・各団体主管で諸行事を進めています。

三世代交流事業

こどもとんど



もちつき



しめ縄づくり



こども土曜クラブ事業

蓮池川乗船体験



座禅体験



蔵王山クリーンハイキング



団体名	樹徳学区まちづくり推進委員会	代表者	石井 義明
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-925-0718 (樹徳公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) みんなでチャレンジ広場 (年間5回 樹徳小学校ほか 586人)
- (2) 世代間交流事業 (9月11日 樹徳公民館 203人)
- (3) 託児事業 (年間8回 樹徳小学校 延べ24人)
- (4) すこやかに輝いて生きるための事業 (年間4回 樹徳公民館 約93人)
- (5) 人権啓発推進事業 (8月 1日 樹徳公民館 26人
10月20日 樹徳小学校 85人)
- (6) 子ども見守り隊 (10月28日 樹徳小学校 啓発グッズ配布200個)
- (7) グラウンドゴルフ大会 (2月24日 樹徳小学校 69人)
- (8) ふるさと再発見事業 (6月17日 丸亀・高松城 11月16日 福山城47人)
- (9) 広報紙発行事業 (年間2回 各戸配布)
- (10) 樹徳子ども音楽祭 (2月11日 樹徳小学校 500人)
- (11) 樹徳ふれあい祭り (10月28日 樹徳小学校 1,000人)
- (12) コミュニティ育成事業 (通年 中三丁目町内会 ほか)
- (13) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 樹徳公民館)
- (14) 高齢者の健康づくり推進事業 (11月23日・12月5日 樹徳公民館 57人)
- (15) 地域のごみダイエット作戦推進事業(折バラ・ごみの啓発看板設置)



〔 世代間交流事業 〕



〔 樹徳ふれあい祭り 〕

成果

樹徳ふれあい祭りなどの行事を通じて、各種団体や地域住民の協働による自主的・主体的な活動を実施することで、地域の課題解決や地域の活性化を図るための意識を高めることができた。

課題

行事の参加者が固定化しており、より多くの住民の参加を促進できるように、広報活動等に取り組んでいきたい。

スームアップ!輝くまちづくり

樹徳学区

自主防災訓練の活動を開催しました!!

- 訓練内容 ①AED 操作訓練 ②負傷者搬送訓練
③煙体験, 水消火器操作体験
④水防訓練 など



デモンストレーション

AED 何回しても
難しいね!!



パネル展示

煙って恐ろしい
前が見えないよ

AED
操作
訓練

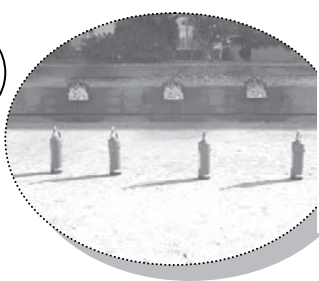


煙
体験

土
嚢
作
り



水害に必要な
上手に土を
つめて!



水
消
火
器
操
作
訓
練

【地域まちづくり計画推進事業】

紹介します! 安心安全なまちづくり



交通安全教室を開催しました。指導を受けながら、持参した自転車で自転車の乗り方を再度確認しました。交通ルールを守ってね!!

団体名	久松台学区まちづくり推進委員会	代表者	尾高 治男
-----	-----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-921-7372 (久松台公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

- (1) サマーフェスタ (8月 久松台第4公園 約2,100人)
- (2) 文化祭(小学校PTAの集いと合同開催)
(10月 小学校・倶楽部 約2,500人)
- (3) とんど祭り・防犯ウォーキング (1月 久松台第4公園 約320人)
- (4) 防火防災事業 防災訓練 「大雨特別警報・洪水警報」発令時の要支援者・土砂災害警戒区域内の人の避難訓練 (11月 久松台小学校体育館 420人)
- (5) 防犯事業 各町内防犯パトロール (通年 学区内 約1,500人)
- (6) 高齢者支援事業 一人暮らしの方の食事会
(5・10月 久松台公民館 約100人)
- (7) コミュニティ育成事業 ごみ分別啓発 (通年 各町内会)
- (8) 子育て支援 こども文庫 (毎週土曜日 久松台公民館 約500人)
さくらんぼ学級 (隔週金曜日 久松台公民館 600人)
- (9) 花壇整備 (通年 学区内・公民館 180人)
- (10) 放課後子ども教室 (月1回 8教室 公民館・小学校 821人)
- (11) しめ縄・みそ作り (12月・2月 公民館 200人)
- (12) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 久松台公民館・久松台倶楽部)
- (13) 地域まちづくり計画に基づく事業(あいさつ運動実施・ボランティア組織づくり)



とんど祭り(久松台第四公園)



福山城展示



さくらんぼ学級

成果

学区の諸行事を各町内会が主となり計画・実行することにより、地域の人々がつながりを持ち、まちづくりへの関心・意欲を高めることができた。

課題

地域課題の解決や地域の活性化をはかるためには、一人でも多くの参加と協力者を得ることが大事であり、事業の効果を高めるためには若年層への取組が必要である。

避難訓練:地球温暖化にともなう大雨発生,土砂災害発生大の啓発,徹底が不足していた。

組織を学区主体より各町内会主体に変更し,細部強化の必要性がある。

①学区全体 あいさつ運動 展開中 毎月 15日を強化日

～深めよう 人と人との つながり おもいやり～

個人主義・利己主義が横行して、地域の絆が薄れつつある。町内会・子ども会に入会しない、行事に参加しない、隣近所にもあいさつをしない等の現象が見受けられる。これらを食い止めるための方策として「あいさつ運動」を展開中。



●運動

- (1) 横断幕・幟旗の掲示。
- (2) 勧誘文の各戸配布。
- (3) 標語を募集しラミネートして掲示。
- (4) 強化日(毎月15日)設定して実施。



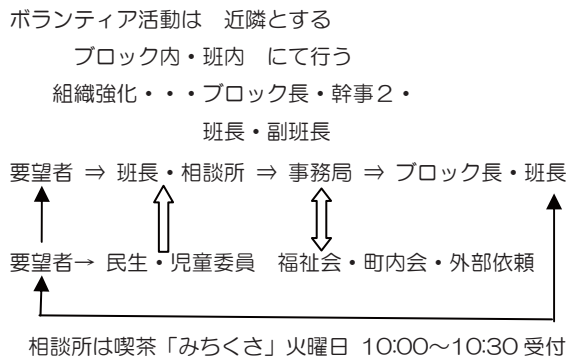
横断幕掲載



あいさつ運動

②ボランティアの構築において

- ・アンケート実施・集約 完了
- ・項目・組織づくり 各町内会別で実施展開中



ボランティア組織



相談所・受付

団体名	旭学区まちづくり推進委員会	代表者	大原 博
-----	---------------	-----	------

(問合せ先) 084-925-4259 (旭公民館)

●○ 地域まちづくり推進事業 ○●

事業内容

- (1) 健康推進事業 「健康ウォーク」 (11月16日 広島三景園&佛通寺 40人)
- (2) 生涯学習事業(講座6回)
 - ① 子ども体験広場「岡山天文台へ行こう！」 (8月2日 浅口市 21人)
 - ② 子育て支援「リトミック」 (11月22日 東ふれあいプラザ 18人)
 - ③ 子育て支援「クリスマス会」 (12月13日 旭公民館 26人)
 - ④ 「しめ縄づくり」 (12月27日 旭公民館 18人)
 - ⑤ 「和菓子づくりに挑戦！」 (2月26日 旭公民館 15人)
 - ⑥ 子育て支援「あそびましょう」 (3月28日 旭公民館 17人)
- (3) 防災防犯推進事業 「各町防災・避難訓練」 (11月25日 各町 513人)
- (4) 研修事業 「HALE to KE」コンサート (10月30日 旭小学校 326人)
- (5) ふれあい事業
 - ① 「旭学区ふれあい夏まつり」 (8月4日 旭小学校 600人)
 - ② 「旭ふれあいフェスタ」 (11月2日~4日 旭公民館・旭小学校 800人)
 - ③ 「福山とんど祭り・旭学区とんど」 (1月14日 商店街~旭小学校 400人)
- (6) 広報紙発行事業(7月・9月・10月・11月・12月 年間5回発行)
- (7) コミュニティ育成事業(通年 各町ごみ分別啓発・納税推進含む事業)
- (8) 公衆衛生推進事業
 - ① 花壇清掃 (随時 旭学区入船花壇 延べ65人)
 - ② 環境啓発ポスター (11月 旭小学校児童 250人)
- (9) まちづくり推進委員会運営事業(通年 委員会…年間4回開催)



「旭ふれあいフェスタ」



「ちっちゃい子どもたち応援団」



「旭学区とんど」

成果

- ・「まちづくり計画」の目標実現に向け取り組み、協働のまちづくりが定着してきたこと。
- ・各事業実施の際に構成団体の役割分担を行い、スムーズな運営が図られていること。

課題

- ・事業の自主的な企画を促進するとともに、推進にあたり組織体制を整備すること。
- ・旭学区がめざす「まちづくり」の目標に向けて、さらに活動の輪を広げること。

スーパァッス! 輝くまちづくり

◆ 旭学区が「福山市交通安全教育推進モデル事業」の最終年を迎える!

本年度まで2年間、「福山市交通安全教育推進モデル事業」(福山東警察署管内)の地域指定、および広島県警「高齢者交通安全モデル地区」の指定を受け、まちづくり推進事業と連携し様々な交通安全活動に取り組みました。

旭学区は、中心市街地にあり交通量の多い国道等の幹線道路が走り、大型車両を始め一般車両の往来が激しい地域です。期間中には、交通死亡事故が頻発しており、とりわけ国道2号線の交通課題を根本的に解消する方途が強く求められています。

また、児童全員から募集した交通安全標語の優秀作品を小学校正門横に掲示し、交通安全の啓発・実践に取り組むよう決意を新たにしています。



「交通安全標語」の掲示 (旭小学校フェンス)



「交通死亡事故 現地検討会」(国道2号線)

◆ まちづくりの目標：「みんなが顔見知り、笑顔で声かけあえる 旭学区」

「旭学区まちづくり計画」で定めた目標・将来像をめざして、ばらプランターや幟で啓発し「あいさつ通り」運動を展開しています。計画後3カ年の集中取組を受け継ぎ、今後、地域まちづくり事業と関係団体独自の事業との連携・整合性を図りながら、旭学区の特性を生かし地域に根ざした事業へ見直しを進めていきます。



「学区のめざす目標」看板



「旭学区あいさつ通り」運動・啓発の「ばらプランター」



団体名	光学区まちづくり推進委員会	代表者	花谷 忠厚
-----	---------------	-----	-------

(問合せ先) 084-925-4258 (光公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 老連一斉清掃 (8月26日, 3月24日 学区内公共施設ほか 延べ376人)
- (2) 光おはなし文庫 (毎月第4土曜日 光公民館 延べ206人)
- (3) 生涯学習講座
スマートフォン教室, チェアーヨガほか (通年 光公民館 延べ160人)
- (4) 地域福祉活動事業
シニアいきいき料理教室, いきいき運動教室, 社会奉仕ボランティア, 歌集発行, 託児ボランティア, 福祉だより発行 (通年 光公民館ほか 延べ約400人)
- (5) 地域安全推進活動事業 (通年 学区内 延べ約5,400人)
- (6) 盆踊り大会 (8月5日 光小学校 約1,700人)
- (7) 文化祭 (11月10日, 11日 光公民館 延べ約600人)
- (8) とんど祭り (1月7日 光小学校 約600人)
- (9) 老連スポーツ活動事業 (通年 老連グラウンドほか 延べ216人)
- (10) 学区民運動会 (10月21日 光小学校 約1,000人)
- (11) 少年少女球技大会 (7月1日 光小学校 150人)
- (12) コミュニティ育成(ごみ分別啓発・納税推進含む) (通年 各町内会)
- (13) 地域環境・健康づくり事業
グリーンカーテン推進・環境出前講座, ゴーヤ料理教室, 寄せ植え講習会, 環境ポスター・標語コンテスト (通年 光公民館ほか 延べ157人)
- (14) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 光公民館)



とんど祭 ～とんどの作製から参加する小学生～

成果

盆踊り大会・文化祭・とんど祭などの行事を通じて、各種団体や地域住民の協働による自主的・主体的な活動として実施することで、地域の活性化を図るための意識を高めることができた。

課題

町内会長をはじめ団体役員の高齢化が進んでおり、行事を運営するにあたり、その負担が大きい。また、協力者や参加者が固定化しており、より多くの住民の参加・協力を促進できるような取組が必要である。

スーパァッ!輝くまちづくり

高齢者の居場所づくり事業

学区に拡大中!!

2017年度（平成29年度）地域まちづくり計画推進事業として立ちあげた「光ふれあいカフェ」は、ボランティアの皆さんの協力のもと2018年度（平成30年度）も継続して行われました。

高齢者の介護予防や引きこもり防止に気軽に集まれる場所・皆に会える場所として光公民館を会場に毎週水曜日に実施しています。

もっと身近な近くの場所で「光ふれあいカフェ」のような場所があればいいのにと
いう思いから町内会で「カフェ」を開く地域も増えました。



川西カフェ（第2・4土曜日）
～上ノ丁・中ノ丁・下ノ丁・半坂町内会～



サロン親和（毎週火曜日）
～沖野上親和町内会～



あしだべり場（毎週土曜日）
～芦田町内会～

どうする?自主防災

2018年（平成30年）7月の西日本豪雨災害では、光学区の芦田川の西側の地域が床上・床下浸水の被害にあいました。この時、災害を前に学区として何も動けなかった反省と被災の経験から、今後はいっそう自主防災組織の活性化に向けた取組に力を入れていきます。

団体名	箕島学区まちづくり推進委員会	代表者	檀上 靖典
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-953-0412 (箕島公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 家庭教育講座(コンサート) (12月3日 箕島公民館 165人)
- (2) 子ども広場 (8月~2月 箕島公民館ほか 50人)
- (3) 資料館整備 (通年 郷土資料館 50人)
- (4) シルバースクール (8月26日・3月24日 箕島小学校・幼稚園 100人)
- (5) 夏まつり盆踊り大会 (8月4日 箕島小学校グラウンド 300人)
- (6) 伝統文化継承 (9月~11月 箕島小学校体育館 100人)
- (7) 箕島ふるさとまつり (11月18日 箕島小学校・箕島公民館 500人)
- (8) 三世代交流 (とんどまつり 1月7日 箕島小学校グラウンド 200人)
- (9) コミュニティ育成 (公園整備・町内一斉清掃)(通年 箕島学区内 900人)
- (10) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 箕島公民館)
- (11) 公衆衛生推進事業(環境整備)(通年 箕島小学校グラウンド・箕島学区内 200人)
- (12) 防火・防災・防犯対策 防災訓練(10月7日 箕島小学校グラウンド 197人)
イノシシ対策 (2月10日・2月24日 箕島学区内 175人)
- (13) 高齢者地域活動推進(元気広場) (通年 箕島公民館 350人)
- (14) 地域活動推進(グラウンドゴルフ・ミニ松竹梅・料理教室)
(7月~2月 箕島公民館ほか)



【防災訓練】



【しめ縄づくり】



【とんどまつり】

成果

地域福祉活動などの行事を通して、各種団体や地域住民の協働による自主的・主体的な活動を実施することで、地域の課題解決や地域の活性化を図るための意識を高めることができた。

課題

行事の参加者が固定化しないよう、今まで以上に多くの住民の参加を促進し、地域の活性化につながるように広報活動等に取り組む必要がある。

スーパァッフ!輝くまちづくり

(箕島学区)

第32回 箕島ふるさとまつりを開催しました!! (11月18日(日))

【力を合わせて準備の様子】



【体育館では】



芸能発表とビンゴゲーム



【グラウンドでは】

昔の遊び



箕島でとれた野菜がいっぱい!!
豚汁の無料配布



【公民館内では】

書や絵画など学区のみなさんの力作の展示・農機具の展示



地域住民のふれあいと、子どもから高齢者までの誰もが交流できるまつりとして
みんなの力で続けることができている喜びを感じてもらえる行事の1つだと思っ
ています。

団体名	桜丘学区まちづくり推進委員会	代表者	稲葉 伸生
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-924-2584 (桜丘公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) グラウンド・ゴルフ大会 (3月10日 桜丘小学校グラウンド 40人)
- (2) 料理教室 (4月22日, 12月9日 奈良津コミュニティセンター 46人)
- (3) ふれあい交流事業 (4月22日, 12月9日 奈良津コミュニティセンター734人)
- (4) おこまり相談 (週3回火・木・土 奈良津コミュニティセンター 延べ400人)
- (5) 子ども広場ダンス教室 (土, 奈良津コミュニティセンター 延べ100人)
- (6) 健康ウォーキング大会(11月11日 桜丘小学校から蔵王山までの往復 165人)
- (7) 地域安全パトロール (4月~3月土日祝日以外 356回 学区内 延べ725人)
- (8) 安全啓発活動 高齢者交通安全教室(3月13日奈良津コミュニティセンター40人)
- (9) 防災啓発活動(6月17日 桜丘小学校 412人, 11月25日 学区内 214人)
- (10) 環境整備
 - ・花壇整備 (年3回 休園中桜丘幼稚園ほか 延べ32人)
 - ・環境づくり活動 (6月3日 御手洗川清掃 30人, 11月11日 蔵王山165人)
 - ・ばらの育て方講習 (2月3日 休園中桜丘幼稚園ほか 21人)
- (11) 伝承文化
 - ・歴史講座 (9月29日 桜丘小学校体育館 105人)
 - ・しめ縄づくり (12月24日 奈良津コミュニティセンター 90人)
 - ・ミニ門松づくり (12月24日 奈良津コミュニティセンター 103人)
- (12) とんど制作
 - ・とんど制作(11月3日~12月22日奈良津コミュニティセンター延べ260人)
 - ・とんど展示 (12月23日~1月13日 奈良津第一公園)
 - ・とんど祭り (1月14日 桜丘小学校グラウンド 330人)
- (13) 夏送りのタペ (8月25日 桜丘小学校グラウンド 約1,800人)
- (14) コミュニティ育成(ごみ分別啓発・納税推進含む) (通年 奈良津町自治会ほか)
- (15) 広報活動 (ポスター, 回覧, チラシ 桜丘公民館)
- (16) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 桜丘公民館)
- (17) 地域まちづくり計画に基づく事業

守ろうよ!
あの子もこの子も
みんなの子



地域安全パトロール

成果

まちづくり事業を実施する中で7つの各事業推進部会や各種団体の連携が深まり、計画的な事業運営ができ、地域住民のふれあい交流が図られている。

課題

次世代へ事業運営の継承をしていくための工夫が必要である。

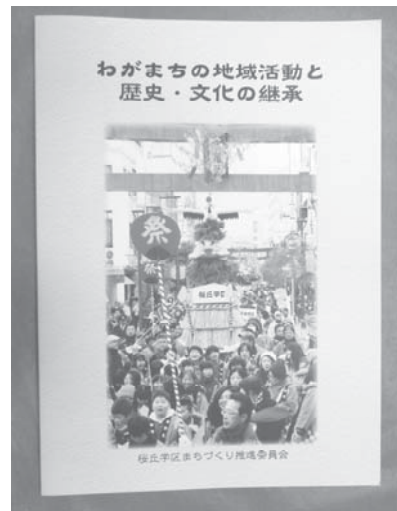
スーパァッ!輝くまちづくり

桜丘学区 夏送りの夕べ開催!

ステージ発表、抽選会、模擬店と
す・べ・て 手作りのイベント!



会場からの参加者と一緒に踊る
備後フォークダンス倶楽部 ♪



【地域まちづくり計画推進事業】 記念誌を作成しました!

記念誌

2016年度から3年間で桜丘学区の歴史や文化を学ぶ中で、地域活動の現状を認識するとともに歴史・文化の学習会等を開催し、今年度はその集約として「わがまちの地域活動と歴史・文化の継承」という記念誌を発刊した。

記念誌はわがまちの地域活動として5つの主要事業を中心に置き、日常的な取組のある7つの各部会の活動を紹介している。

次に「桜丘の歴史」を「備陽史探訪の会」田口義之会長に歴史資料として古代から現代に至るまでを国内や備後全体の動きを織り交ぜての詳細執筆をお願いした。

また、田口義之会長の指導による、歴史探訪から見るわがまちの「身近な史跡」「地名からみる歴史」「川と街道からみる歴史」等など、現在につながるこの地の特性的な事象を交えながら、歴史探訪ウォーキングや歴史探訪連続講座から学んできたことなどを掲載している。

また、学区内の歴史に詳しい方々に幼少期の懐かしい思い出や歴史などを寄稿してもらったものなどを綴り、過去・現在・未来と連続した時空間の中で遺跡・建造物を歴史の語り部として今後も大切に守りながら、次世代に歴史・文化を継承し、今後も魅力あるまちづくりを築いていく。

団体名	川口東学区まちづくり推進委員会	代表者	桑田 萬智雄
-----	-----------------	-----	--------

(問合せ先) 084-953-5049 (川口東公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 防犯活動 (通年 川口東学区内 登校時見守り・夜間パトロール)
- (2) ふれあいまつり (11月11日 川口東小学校 500人)
- (3) 子ども教室 (通年 川口東小学校ほか 130人)
- (4) 自主防災活動 (通年 川口東学区ほか)
- (5) 公衆衛生活動 (通年 川口東学区内)
- (6) ふれあい・健康づくり (通年 川口東学区内・緑町公園ほか 延べ390人)
- (7) 夏まつり (8月4日 川口東小学校 運動場 500人)
- (8) シニア活性化 (通年 竹ヶ端運動公園ほか 延べ170人)
- (9) とんどまつり (1月13日 川口東小学校運動場 200人)
- (10) 子どもコミュニケーション (10月28日 170人)
- (11) コミュニティ育成 (通年 川口東第一町内会ほか)
- (12) 子どもまちづくり (通年 川口東公民館ほか)
- (13) マイライフ東川口 (通年 川口東公民館ほか 延べ350人)
- (14) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 川口東公民館)



夏まつり



子どもまちづくり委員会
「ねぶかっちいかふえ」



とんどまつり

成果

新興住宅地である川口東学区では、夏まつり・ふれあいまつりなどの行事を通じ、また、各種団体や地域住民の協働による自主的・主体的な活動を実施することで、地域でのつながりの必要性を感じた。子どもまちづくり委員会のまちづくり推進委員会への加入により今までとは違った活動を期待し、今後は川口東学区の歴史を調べ学区をアピールしていきます。

課題

まだまだ学区でのコミュニケーションの希薄化がある中、子ども会及び町内会未加入者への広報活動を工夫し、加入率のアップと行事の統合化を行い、役員負担を減らす。また参加者の固定化の改善、学区住民の課題解決に向けた取組を行い、青年層の活躍の場を増やすことにより世代間のつながりを深める。

ゆうゆうサロン（旧川口保育所）の活用 世代間交流の拠点となる

川口東学区まちづくり計画ではじまった「ゆうゆうサロン」。ボランティアさんの入れるおいしいコーヒーとたわいのない会話、時には小さなお客様たちの訪問などで賑わっています。4年たった今もますます学区の世代間交流の場として活躍しています。



芋苗の植え付け



芝桜を植えました。
保育所の子どもたちが見学にきました。



操体法の体験



音楽コンサート

おもちゃサロン 保護者も子どもも楽しい時間!



おもちゃを囲んでワイワイ



料理教室



体にやさしいヨガ体験



保健師さんによる育児座談会

ふれあい・健康づくり事業の一環として毎月第三水曜日に子どもとその保護者が気軽に立ち寄り、交流の場となっている「おもちゃサロン」。毎回、さまざまな事業を行い、保護者の情報交換の場として役立っています。

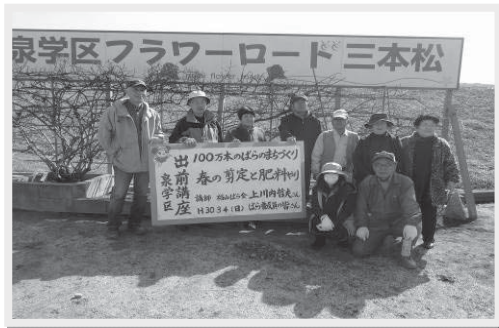
団体名	泉学区まちづくり推進委員会	代表者	井出 和雄
-----	---------------	-----	-------

(問合せ先) 084-951-1557 (泉公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- | | | | |
|----------------------|---------|----------|----------|
| (1) おっちゃんの料理教室 | (11月～2月 | 泉公民館 | 22人) |
| (2) 成人一般のための学習講座 | (6月～3月 | 泉公民館 | 239人) |
| (3) 子どものための学習講座 | (7月～12月 | 泉公民館 | 216人) |
| (4) スポーツ大会講習会 | (11月 | 泉小学校 | 210人) |
| (5) ボランティア活動(乳幼児・親子) | (5月～3月 | 泉公民館 | 89人) |
| (6) 歌声喫茶 | (6月～3月 | 泉公民館 | 27人) |
| (7) 盆踊り大会・講習会 | (中止) | | |
| (8) 防災訓練 | (11月25日 | 学区内 | 約1,000人) |
| (9) 善行学区民表彰 | (1月6日 | 泉公民館 | 59人) |
| (10) コミュニティ育成 | (通年 | 各町内会) | |
| (11) 環境啓発・美化活動 | (通年 | 泉公民館・学区内 | 113人) |
| (12) まちづくり推進委員会運営事業 | (通年 | 泉公民館) | |
| (13) 地域まちづくり計画に基づく事業 | (5月～3月 | 学区内 | 200人) |



「泉学区フラワーロード三本松」手入れ



夏休み子ども講座

成果

各事業を通して、各種団体や地域住民の協働による自主的・主体的な活動を実施することで地域の活性化に向けての取組ができた。

課題

町内会未加入世帯の増加や高齢化・少子化などの問題があり、町内会コミュニティのあり方を検討する必要がある。

泉学区

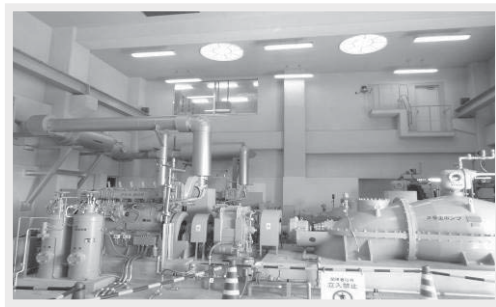
防災訓練を開催しました!!

豪雨災害を想定した訓練を行いました。町内会ごとに指定の避難場所へ避難し、その後、泉小学校体育館で防災士による防災講演会・炊き出し訓練を行いました。



【地域まちづくり計画推進事業】

第3回泉学区健康ウォーキング大会



ウォーキングのコース途中では、7月西日本豪雨災害の被害を受け関心が高まった「郷分排水機場」にて国交省の説明・見学も行いました。

団体名	山手学区まちづくり推進委員会	代表者	藤井 昌光
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-951-9381 (山手公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) ふれあいいきいきサロン (高齢者お茶会・健康教室ほか)
(6月～3月/年9回 山手公民館ほか 2, 189人)
- (2) 花一杯運動 (地域ボランティアと菊作り)
(4月～12月 山手小学校 小学生541人)
- (3) 山手学区教養講座 (5月～3月/年9回 山手公民館ほか 137人)
(広島空港へミニハイキング, ちぎり絵, パン作り, コンテナガーデン, クレイクラフト, ランタン作り, メキシコ料理, うどん作り, フラワーアレンジ)
- (4) 山手学区子ども講座 (料理教室, パン作り)
(12月8日, 12月14日 山手公民館ほか 46人)
- (5) 合同レクリエーション (ワンバウンドバレー)
(6月10日 山手小学校体育館 63人)
- (6) 山手学区夏まつり大会 中止
- (7) 文化財先進地視察研修事業 (9月23日 岩国方面 49人)
- (8) コミュニティ育成事業 (ごみ分別啓発・納税推進を含む) (通年 山手学区町内会ほか)
 - ・世代間交流事業[1] (グラウンド・ゴルフ大会) (6月11日 東田中公園 56人)
 - ・世代間交流事業[2] (カローリング) (12月1日 山手小学校体育館 60人)
 - ・世代間交流事業[3] (11月11日 本谷川砂留ウォーキング 23人)
- (9) 地域の環境づくり活動事業 (学区事業においてゴミ分別の啓発活動, 清掃活動)
(通年 山手学区町内会ほか 約1, 940人)
- (10) 城西校区人権学習講座 講演会:「無縁社会から老人漂流社会へ～取材の現場より～」
(10月26日 山手小学校 165人)
- (11) ふれあい広場 (11月25日 山手小学校 555人)



コンテナガーデン (教養講座)



料理教室 (こども講座)



ワンバウンドバレー (合同レクリエーション)

成果

7月の豪雨災害によって事業を中止し、日程調整をしないとイケない状況になったが、各事業綿密な話し合いを持ち、参加者が楽しく集えるような工夫がされ事業を実施することができた。

課題

地域の高齢化率が加速し、行事が遂行できにくくなってきている現状を把握する必要がある。

山手学区避難・防災訓練とふれあい広場

昨年は、豪雨災害によって講座を中止したり、日程の変更、講座の変更などいろいろありました。そんな中、夏まつり大会を中止しましたが、子ども達に楽しい事を味わわせてやりたいとふれあい広場を計画して、山手学区避難・防災訓練と合同で実施しました。避難会場には、手話通訳者に来てもらい難聴者も安心して訓練を受けられるように配慮をしました。



二次避難場所で町内会毎に集合



はしご車による救助



将来の夢

【地域まちづくり計画推進事業】

地域交流サロンの運営

地域まちづくり計画推進事業で、隣・近所の交流をはかることを目的に町内会毎に地域交流サロンを開催しています。会場を各町内会の会館や集会所にすることによって、年々参加者が少しずつ増加しています。参加された方から、来年もぜひ、このような機会があると嬉しいとのご意見を聞き、人と人の架け橋が出来、成果があがったと思われれます。



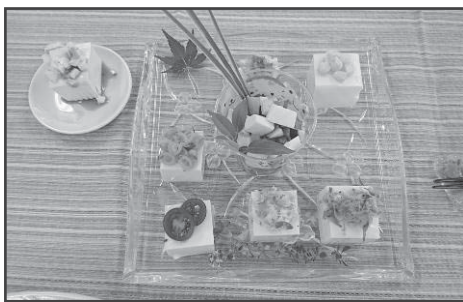
団体名	津之郷学区まちづくり推進委員会	代表者	荒木 正明
-----	-----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-951-1002 (津之郷公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 児童の健全育成支援活動 (通年 津之郷公民館 200人)
- (2) 学区成人対象講座 (通年 津之郷公民館 100人)
- (3) 講演会・研修会の開催 (通年 津之郷公民館 50人)
- (4) 地域福祉活動(いきいきサロン) (通年 津之郷公民館 200人)
- (5) ウォーキング大会 (6月 岩国 42人)
- (6) 学区民運動会の開催 (5月27日 津之郷小学校 1,200人)
- (7) サマーフェスタの開催 (8月4日 津之郷小学校 1,100人)
- (8) 自治会ふれあい活動
 - とんど祭り (1月 4自治会 1,000人)
 - 夏祭り (8月 1自治会 100人)
 - 地域交流事業(8月 1自治会 100人)
- (9) コミュニティ育成(ごみ分別・清掃・管理)(ごみ収集日 11自治会 4,000人)
 - 本谷川除草作業 (6月 親水公園 153人)
 - 河川の除草作業 (5月・10月 本谷川・加屋川 1,200人)
 - 各自治会区域内の清掃作業 (5月～10月 毎月恒例 4,000人)
- (10) ばら花壇づくり (通年 坂部ばら花壇 30人)
- (11) ボランティアの会(料理・手芸教室)(年2回 津之郷公民館 50人)
- (12) 避難訓練の実施 (1月26日 津之郷公民館 100人)
- (13) ふれあい広場の開催 (11月18日 津之郷小学校 1,500人)
- (14) まちづくり推進委員会推進事業(総会・役員会)(通年 津之郷公民館 150人)



〈人生は今！ていねいに暮らす食生活〉



〈ものづくり教室～小枝や木の実を使って〉

成果

各種団体のもとに、予定した事業をすべてやり遂げることができた。取組を通していろいろな場面で町民の連体感を感じ取ることができた。

課題

地域の活性化のために世代間交流を深め、若年層のまちづくり事業への参加を意欲的に追求していく必要がある。

スームアップ!輝くまちづくり

津之郷学区, 防災の意識高まる!!



〈7月の大雨による道路の陥没〉

7月6日(金)から7日(土)にかけて降り続いた大雨により、津之郷学区でも甚大な被害がありました。

床上浸水 11, 床下浸水 37, 道路冠水による不通箇所 13
道路陥没による不通箇所 1, がけ崩れ 3 箇所 (内倉庫倒壊 1)
土砂流入 (家屋 1, ため池 1, 砂留 1)



それを受け、1月に「自然災害には巻き込まれとこない!ほいじゃあ、どうしたらええ?」という演題で元 TSS お天気キャスター玖保陽子さんに講演していただきました。広島弁と津之郷町を事例にしたお話にみなさん熱心に耳を傾けていました。多数の参加があり、防災意識の高まりが感じられました。

学区の行事はみんなのちからで開催!!

〈つのごうサマーフェスタ〉

大和・備中・炭坑節の音頭取りと太鼓打ちに小学生が加わり、伝統を引き継いでいます。



《やぐらから響く音頭取り・太鼓打ちの声》



《因島村上水軍陣太鼓のちから強い響き》

〈学区民ふれあい広場〉

各種団体の結成力の見せどころ。

様々なテントでの販売やステージ発表の運営に一致団結!



《小学校児童の合唱》



《ローラちゃんも応援!》



《福山市無形文化財 ひんよう踊り》



《各団体のテントは大盛況》



《力作揃った作品展示》

団体名	赤坂学区まちづくり推進委員会	代表者	吉村 恒男
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-951-1001 (赤坂公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

(1) 生涯学習講座	(5月～3月)	赤坂公民館ほか	387人
(2) 伝統芸能継承事業	(通年)	赤坂学区内	354人
(3) 町内一斉清掃, 環境美化作業 河手川草刈・清掃	(通年)	赤坂学区内	967人
(4) 環境推進事業	(5月～3月)	赤坂学区内	600人
(5) いきいきサロン	(5月～3月)	赤坂学区内	800人
(6) 給食サービス事業	(5月～3月)	赤坂学区内	564食
(7) 高齢者支援事業	(5月～3月)	赤坂学区内	150人
(8) 献血推進事業	(9月)	赤坂小学校	41人
(9) 夏まつり	(8月14日)	赤坂小学校	700人
(10) 子どもまちづくり委員会	(5月～3月)	赤坂公民館ほか	80人
(11) 防災訓練・講演会	(11月25日)	赤坂小学校	1,184人
(12) まちづくり推進委員会運営事業	(通年)	赤坂公民館)	
(13) まちづくり研修会	(6月17日)		28人



夏まつり



河手川草刈・清掃

成果

各事業を通して、各種団体や地域住民の協働による自主的・主体的な活動を実施することができました。今年度は、「子どもまちづくり委員会」がスタートし、子どもたちが地域で開催される事業にボランティアとして参加し赤坂の町で何ができるかを考えながら活動しています。

課題

リーダーシップ団体を中心に、関係団体が協力し合って事業を行い、地域まちづくり計画を着実に実施する必要があります。

スーパァッフ!輝くまちづくり

赤坂学区

地域まちづくり推進事業 「子どもまちづくり委員会」が発足しました!

赤坂小学校の4年生から6年生までの計9人が、「子どもまちづくり委員」として、私たちのまちを知り、もっと元気なまちにしていけるために、自分たちができることを考え、行動していきます。



年間計画の話し合い



伝統芸能「胴鉦踊り」の見学



サツマイモの収穫



学区一周駅伝で焼きイモの販売



焼きイモの売上げを社協に

6月に植えたサツマイモを収穫し、1月の学区一周駅伝で販売。その売上げ8,000円を社会福祉協議会を通じて、西日本豪雨災害被災者に寄付しました。

赤坂学区

【地域まちづくり計画推進事業】

学区総合防災訓練実施!

子どもまちづくり委員会の提案で、赤坂学区のイメージキャラクターを募集したところ、小学校のメタセコイアの妖精「あかつ木いー」が選ばれました。



11月25日(日)、市の総合防災訓練に合わせて、学区でも防災訓練を行いました。小学校体育館に自主防災本部を立ち上げ、町内会ごとの被害の状況を把握する中、各町内会ごとに一時避難した住民が、体育館へ次々と避難してきます。

訓練内容は、AED訓練、煙体験、土のうづくり、積み土のう、消火訓練や炊き出しなどで、参加者は1,184人でした。



自主防災本部



消火訓練



土のうづくり



積み土のう

団体名	瀬戸学区まちづくり推進委員会	代表者	三島 康由
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-951-1003 (瀬戸公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 瀬戸小学校児童育成 (7月～3月 瀬戸公民館・瀬戸小学校ほか 656人)
- (2) 瀬戸小学校児童安全パトロール活動 (通年 瀬戸学区内)
- (3) 公民館サークル育成 (5月～3月 瀬戸公民館・北広島町ほか 102人)
- (4) 公民館まつり (3月16日～21日 瀬戸公民館 211人)
- (5) 自主防災活動 (11月25日 第7回防災訓練
瀬戸学区内・瀬戸小学校グラウンド 約500人)
- (6) 避難行動要支援者の支援事業 (通年 瀬戸学区内 約100人)
- (7) 第19回町民ふれあい囲碁大会 (2月17日 瀬戸公民館 7人)
- (8) 料理教室 (7月28日・12月1日 瀬戸コミュニティセンター 49人)
- (9) 史跡めぐり (5月22日 瀬戸学区内 102人
11月3日 大洲市方面 44人)
- (10) 情報紙発行 (通年 瀬戸学区内 13回発行)
- (11) 町民納涼夏まつり盆踊り大会 (8月4日 瀬戸小学校グラウンド 約600人)
- (12) 町民大運動会 (10月21日 瀬戸小学校グラウンド 約1,500人)
- (13) 体力づくり運動 (1月1日 山岳公園 約250人)
- (14) コミュニティ育成 (通年 瀬戸学区内21自治会 2,146世帯)
- (15) 納税推進 (通年 瀬戸学区内)
- (16) 環境美化活動 (犬のフン・ごみ捨て啓発環境マークプレート作成
清掃: 6月17日 瀬戸学区内 181人・12月9日 瀬戸学区内 161人)
- (17) 第18回町民ふれあいグラウンドゴルフ大会
(11月17日 瀬戸小学校グラウンド 約70人)
- (18) まちづくり推進委員会運営 (通年 瀬戸公民館 116人)



【『自然にまなぶ!』雲月山頂上にて】



【『わくわく土曜クラブ』親子でリース作り♪】

成果

今年度の環境美化清掃は、小学校児童や中学校生徒の参加が多く、環境やボランティア活動に対する意欲を感じることができた。

課題

行事の参加者を増やすべく、地域住民に対してまちづくり事業の周知に努める必要がある。

スーパァッ!輝くまちづくり

瀬戸学区

公民館まつり!!

隔年で3月に『心の豊かさを求めて!』～ふれあいと学びあいの中で～をテーマに『公民館まつり』を開催しています。今年度は、3月16日(土)瀬戸成人大学閉講式の終了後、瀬戸成人大学の講座生や公民館利用サークルの演技発表で幕を開けました。

「瀬戸ジュニア琴クラブ」をはじめ、9団体の出演があり、演技者と会場が一体となった温かい雰囲気醸し出した時間となりました。



【『フォークダンス』講座生による
イングリッシュカントリーダンス】



【『実用書道』講座生
& 『グレープ』】



お客様との会話が弾みました。お茶席は、サークル『茶ちゃチャの会』と『お抹茶クラブ』(瀬戸小学校児童)が亭主を務めました。



【『瀬戸路』にてお手前中】



【『さわやか瀬戸』による
モーニングストレッチ】

出演にあたっては、成人大学の講座生はもちろんのこと、サークルの方々も日頃の練習に加え、まつりに合わせて練習を重ね一年間の集大成を披露してもらいました。

午後からは、会議室を展示会場に作り変え、5日間の作品展を開催しました。展示についても、瀬戸成人大学講座生をはじめ、サークルの方々の学びの成果がずらりと並びました。

作品に刺激を受けて「何か始めてみたい」という思いに駆られた方もあり、一つのつながりができました。

また、3月17日(日)には、手打ちそば処『瀬戸庵』とお茶席『瀬戸路』をオープンさせました。

麺友会が店主となり、手打ちの実演も行いながら、



【『瀬戸庵』にて】

子どもたちは緊張の中、先生の指導を受け、お手前を披露しました。「美味しいよ」の声は励みになったことと思います。

和やかな中にも凜としたひと時がありました。

団体名	熊野学区まちづくり推進委員会	代表者	田中 光洋
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-959-0001 (熊野公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| (1) まちづくり講座 | (通年 公民館 11講座 290人) |
| (2) 環境・健康事業 | (通年 公民館・町内一円 延べ約660人) |
| (3) 地域資源保全活用事業 | (通年4回 一乗山城跡 延べ350人) |
| (4) 熊野学区ふれあい事業 | (7月28日 ふれあい広場 約450人) |
| (5) 第71回町民運動会 | (雨天中止) |
| (6) 精霊祭・盆踊り大会 | (8月14日 熊野小学校 約500人) |
| (7) 敬老会 | (9月24日 熊野小学校 約300人) |
| (8) 第35回町民文化祭 | (11月4日 熊野小学校・保育所 約550人) |
| (9) 防災訓練・研修会 | (11月25日 町内一円・熊野小学校 約450人) |
| (10) 第31回町内一周駅伝大会 | (1月1日 熊野小学校・町内一円 約500人) |
| (11) とんど祭り | (1月6日・12日・13日 町内5ヶ所 350人) |
| (12) 第17回まちづくり研修 | (2月24日 香川県防災センターほか 33人) |
| (13) 健康・史跡めぐりウォーキング | (3月16日 沼隈町横倉地区 24人) |
| (14) まちづくり推進委員会運営事業 | (通年 熊野公民館ほか 約300人) |



町民文化祭“餅つき体験”



味噌作り講座

成果

様々な行事を通じて、自治会連合会を始め、老人会(白寿会)、各種団体や住民が協働し、自主的・主体的に活動・実施することで、地域の課題解決や活性化のための意識の高揚を図ることができた。

課題

事業の実施に当たり、参加者の固定化と高齢化の解消に向け、引き続き取組が求められる。各種団体の構成員も高齢化しており、後継者不足が大きな課題となっている。

スーパァッフ!輝くまちづくり

豊かな自然とそれを活用しての農業が中心の地域である。しかし、高齢化や後継者不足のため、地域の特産品である“山田米”の生産者も年々、減少傾向にあります。こうした状況から、次世代を担う子ども達に稲作づくりに関心を持ってもらうため、“農業体験（米作り）事業”を行いました。

また、今年の豪雨により、各地域で被害も発生したことから、昨年引き続き、“防災・減災事業”に取り組みました。

【地域まちづくり計画推進事業】

紹介します!～わたしたちのまちづくり～



農業体験活動の様子

【農業体験（米作り）事業】

熊野小学校の5年生を中心に、総合学習の一環として、地域の子ども会、PTA役員と地域住民を交え実施しました。お年寄り、子育て世代も参加し、世代間交流としての効果も生まれました。

【防災・減災事業】

1) ため池の調査

単位自治会毎に、危険や不要なため池を調査し、地図に記入した。

2) 避難場所及び備蓄品の再整備

豪雨への対応として、地域毎に、一時避難場所を設ける等、充実を図った。

3) 講演会・研修会の実施

防災・危機管理アドバイザーの“野村功次郎さん”を講師にお迎えし、“災害に備えた地域づくり～私たちが今できること～”と題し、講演をいただきました。

また、4名の地域防災リーダーが講師として、防災・減災に向け、各自治会に出向き、課題解決のための研修を行いました。



団体名	水呑学区まちづくり推進委員会	代表者	倉田 秀善
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-956-3943 (水呑交流館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- | | |
|----------------------|--|
| (1) グラウンドゴルフ大会 | (6月15日 多目的グラウンド 300人
11月25日 一本松グラウンド 130人) |
| (2) ふれあい学習タイム | (7月~1月 水呑交流館ほか 186人) |
| (3) 防火設備設置事業 | (通年 各自治会 178人) |
| (4) 登下校見守り活動・防犯パトロール | (夏・冬休み期間中 水呑学区内,
会議3月7日 水呑小学校体育館 202人) |
| (5) 夏祭り盆踊り大会 | (8月5日 水呑小学校 2, 200人) |
| (6) 自主防災資器材整備事業 | (通年 各自治会 27人) |
| (7) 地域福祉活動 1 | (通年 水呑交流館ほか 1, 870人) |
| (8) 地域福祉活動 2 | (通年 各自治会集会所ほか 2, 632人) |
| (9) 食育を考える事業 | (通年 水呑交流館ほか 400人) |
| (10) 高齢者の健康推進事業 | (5月 8日 GG大会 210人
6月16日 体力測定 110人) |
| (11) ばら花壇づくり | (通年 向丘ばら花壇 70人) |
| (12) 桜害虫駆除及び育成事業 1 | (通年 竹ヶ端桜並木 154人) |
| 桜害虫駆除及び育成事業 2 | (6月 福山六方学園桜並木 10人) |
| (13) 献血運動の推進 | (3月24日 ハローズ駐車場 40人) |
| (14) 環境美化対策 | (通年 環境美化啓発看板作製 21人) |
| (15) 水呑の歴史と風土の看板造り | (通年 「妙性の滝と白一大明神」
「安政橋 豊年橋 鞆鉄道橋跡」60人) |
| (16) まちづくり推進委員会運営事業 | (通年 水呑交流館ほか) |

成果

夏祭り盆踊り大会やふれあい文化祭などの行事を通じて、各種団体や地域住民の協働による自主的・主体的な活動を実施することで、地域の課題解決や地域の活性化を図るための意識を高めることができた。



グラウンドゴルフ大会

課題

行事の参加者が固定化しており、幅広い世代の参加ができるよう行事内容の充実を図り、より周知のため広報活動等に取り組んでいきたい。



夏祭り盆踊り大会



“ふれあい学習タイム” を実施しました!!



干支“亥”
の押絵

成人と小学生を対象とした講座を10回実施しました。交流館でつどい・まなび・ふれあい、参加者同士でものづくりの楽しさを実感できる事業になっています。



和紙で“蓮のランタン”
を作りましょう



“安全吹き矢”を
体験しよう



楽しいクック・タイム
～パン作り～



『人形劇団キャッツ』
がやってくる

ほかにもマグネット作りや子ども料理教室、干支の押絵、お正月に飾れる生け花・アレンジ花の講座をしました。



【地域まちづくり計画推進事業】

水呑学区ふれあい文化祭を開催



今年度の地域まちづくり計画推進事業は、毎年盛大に催されている『水呑学区ふれあい文化祭』を実施しました。11月3日(土)・4日(日)の2日間、水呑小学校グラウンド、体育館、井上記念館を会場に開催され、275人の参加がありました。

文化祭のフィナーレを飾るお楽しみ抽選会の前に、グラウンドでは「水呑の音頭と踊り」を小学校4年生と水呑伝統文化継承保存会の皆さんが披露し、老若男女がつどい、ふれあい、文化祭は大いに盛り上がりました。



「水呑の音頭と踊り」を披露する児童と参加者

団体名	高島学区まちづくり推進委員会	代表者	桑田 有
-----	----------------	-----	------

(問合せ先) 084-956-0219 (高島公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 自主防災事業(9月28日 公民館 約40人, 11月25日 小学校 約120人)
- (2) 王ヶ峰遊歩道清掃事業(12月9日 王ヶ峰遊歩道 約100人)
- (3) 文化講演会(10月16日 小学校体育館 約200人)
- (4) 第47回田尻町精霊祭・夏まつり(8月14日 小学校体育館・運動場 約500人)
- (5) 第13回いきいき作品展(11月4日~9日 公民館 約400人)
- (6) 伝統芸能保存継承事業(通年)(5月~11月小学校体育館ほか 延べ約1,530人)
- (7) 備後田尻荒神神楽保存継承事業(通年 小学校体育館ほか 延べ約300人)
- (8) 金崎芸能保存継承事業(通年)(9月~12月 町内会館ほか 延べ約700人)
- (9) 高島学区少年少女親善球技大会(7月8日 小学校運動場 約100人)
- (10) たじり杏まつり(3月24日 町内一円 約6,000人)
- (11) 田尻町広報事業(通年 町内放送用)
- (12) たじり杏の里振興事業(通年 杏試験地ほか 約50人)
- (13) 公衆衛生事業(通年 小学校ほか 約100人)
- (14) 町民運動会事業(10月14日 小学校運動場 約500人)
- (15) ばら花壇管理育成事業(通年)(5月27日 田尻ばら園 115人)
- (16) まちづくり推進委員会運営事業(通年 高島公民館 延べ約100人)



町民運動会事業



第47回田尻町精霊祭・夏まつり

成果

杏まつりや夏まつり, 町民運動会, また田尻に伝わる伝統芸能の保存と継承などの年間事業を通して, 地域住民や各種団体との協力により, 地域活動の活性化と交流を図ることができた。

課題

どの団体にあっても, 後継者の育成が急がれる。

スーパァッフ!輝くまちづくり

高島学区

「金崎荒神社奉納大神楽」を開催しました!!

2018年12月16日(日)田尻の円明寺境内において、金崎芸能保存会による神楽が奉納されました。

この日は、金崎荒神社の4年に1度行われる式年祭で、「悪魔祓い」や「岩屋戸舞」・「刃舞」などの遠い神代の時代の物語や、牛若丸と弁慶の話が、昼過ぎから真夜中近くまで舞い続けられました。

少子高齢化の流れの中、舞手を担う後継者不足の不安はありますが、今年、市外から田尻に移り住んだ人が2人仲間に加わって練習を重ね、晴れてデビューを果たしました。

ふるさとに伝わる伝統文化を、これからも大切に守っていきたいと思いました。



奉納大神楽の様子



舞の練習風景

【地域まちづくり計画推進事業】

紹介します!~わたしたちのまちづくり~ 「いきいきサロン」

奇数月の第2水曜日の10時~12時の2時間、公民館の会議室で「いきいきサロン」を開催しました。

集まった人たちが童謡や歌謡曲、フォークソングなどだれもがよく知っている歌をみんなて歌って楽しむ講座です。合間にはおしゃべりをして親睦も深めます。

歌とおしゃべりを通して心身の活性化と人とのつながりを図りました。



講座の様子



団体名	韮学区まちづくり推進委員会	代表者	大浜 憲司
-----	---------------	-----	-------

(問合せ先) 084-982-2664 (韮公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- | | | | |
|---------------------|--------------------|-----------|----------|
| (1) 各種講座 | (6月～3月 | 韮公民館ほか | 300人) |
| (2) 一斉清掃 | (7月4日 | 仙酔島 | 雨天のため中止) |
| (3) 防災訓練 | (11月25日 | 韮小学校ほか | 1,300人) |
| (4) 地域美化の推進 | (6月～3月 | 韮町内 | 多数) |
| (5) 忍者ごっこ | (9月1日 | 韮公民館 | 150人) |
| (6) 八朔の馬出し | (9月2日 | 韮町内 | 100人) |
| (7) なでしこ太鼓・アイヤ節 | (9月3日 | 韮町内 | 100人) |
| (8) 韮の町再発見・図録 | (6月～3月 | 韮町内 | 130人) |
| (9) あつまれ韮っ子 | (6月～3月 | 韮公民館ほか | 200人) |
| (10) 各種スポーツ大会 | (6月24日 11月4日 3月17日 | 韮小学校体育館ほか | 延べ400人) |
| (11) 韮町民運動会 | (10月21日 | 韮鉄鋼グラウンド | 多数) |
| (12) 町並み視察研修 | (12月14日 | 赤穂 | 50人) |
| (13) コミュニティの育成 | (6月～3月 | 22町内会 | 多数) |
| (14) まちづくり推進委員会運営事業 | (6月～3月 | 韮公民館) | |
| (15) 防犯カメラ設置事業 | (3月29日 | 韮町後地 | 2922地先) |



「環境学習」 福山リサイクルセンター・エフピコ福山リサイクル工場見学

成果

毎年恒例の行事と新しい事業を組み合わせ、各種団体や地域住民の協働による自主的・主体的な活動を実施することで、地域の課題解決や地域の活性化を図るための意識を高めることができた。

課題

高齢化が進み、参加者が減少、より多くの住民の参加が促進できるよう広報活動等に取り組んでいきたい。

スーパァッフ!輝くまちづくり

(梶学区)

忍者ごっこを開催しました!!



みんなで忍者修行をしています。

【地域まちづくり計画推進事業】

第3回 梶学区ふれあいまつり



パネル展示

模擬店



福祉コーナー

百歳体操

じゃんけんゲーム



ステージ発表

悪天候のなか、各種団体や地域住民の協働により子どもから高齢者まで幅広く参加し、地域の活性化を図ることができた。

団体名	走島町まちづくり推進委員会	代表者	村上 和子
-----	---------------	-----	-------

(問合せ先) 084-984-2550 (走島公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 地域活性化事業 (5月・10月・12月・2月・3月
旧老人ふれあいプラザ前・走島港付近)
- (2) ふれあい事業 (6月・11月・12月・2月・3月
公民館・旧中学体育館 560人)
- (3) 町民体育祭 (10月21日 旧中学体育館 250人)
- (4) 盆踊り大会 (8月13日 旧小グラウンド 約330人)
- (5) 老人ふれあい祭 (9月24日 旧中学体育館)
- (6) 一斉清掃 (6月・12月 町内全域 180人)
- (7) 走島町まちづくり推進委員会運営事業 (通年)



老人ふれあい祭



町民体育祭

成果

1年間の上記事業を通じて、地域の各種団体や、住民との交流を深める事ができた。様々な行事が住民の中に浸透し定着してきた。

課題

各種団体間の連携を図り、多くの住民が参加できる事業を考え、展開していきたい。

**走馬町まちづくり推進事業
ふれあい事業の紹介!!**



ホウ酸団子づくり

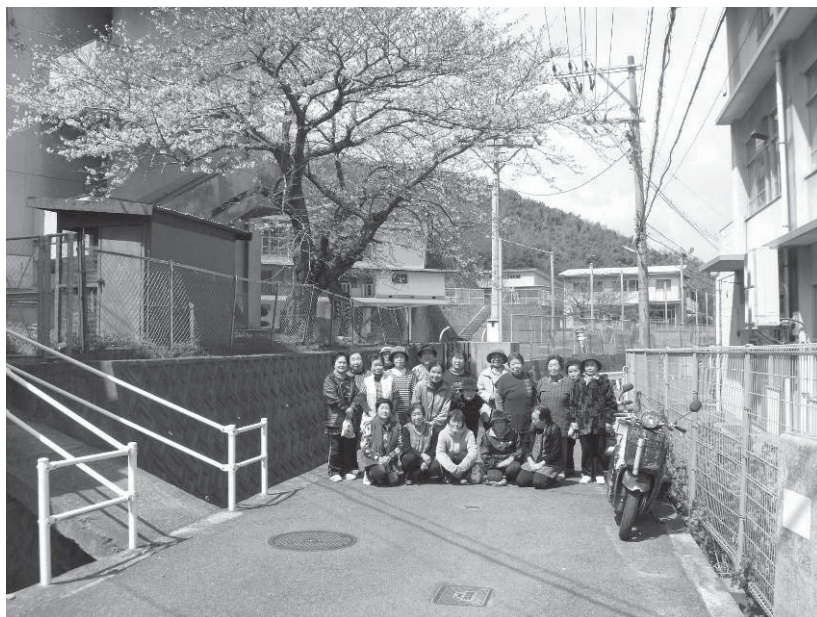


干支のイノシシ飾りづくり



手芸や、害虫対策など定期的にみんなで集まって様々な事業を行っています。

季節に合わせて内容を変え地域の人とのちょっとした楽しみの場になればと思っています。



お花見ウォーキング

団体名	明王台学区まちづくり推進委員会	代表者	早川 二郎
-----	-----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-952-3511 (明王台公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 生涯学習推進事業 (各種講座等)
(6~3月 明王台公民館・明王台小学校ほか 300人)
- (2) ふれあい交流事業 (夏まつり等)
(7月28日 明王台小学校運動場 2,000人)
- (3) 健康増進介護予防事業 (歩け歩け運動, 健康セミナー等)
(5月19日 歩け歩け運動 宮島 78人)
(11月11日 健康セミナー 明王台公民館 30人)
- (4) 文化芸術事業 (文化祭等) (10月27日・10月28日 明王台小学校 250人)
- (5) 環境美化公衆衛生推進事業 (通年 学区内)
(6月10日・12月2日 明王台センター花壇整備 100人)
- (6) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 明王台公民館)



夏まつり



子ども料理教室



手打ちそばに挑戦



とんど・もちつき大会



成果

上記事業を通じて、各種団体や地域住民の協働による自主的・主体的な活動を実施することで、地域の課題解決や地域の活性化を図るための意識を高めることができた。

課題

行事への参加者が少しずつ変化しているが、より多くの住民の参加を促進できるよう、広報活動等に取り組んでいきたい。

スーパァッフ!輝くまちづくり

明王台学区

ふれあいコンサートを開催しました!!



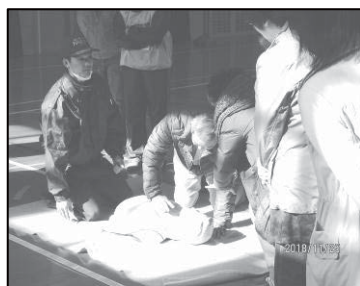
今回は年齢不詳の素敵な女性で結成された“お笑いミュージックユニットハッピーローズ”を迎えて、ステージと客席が一体となった楽しいコンサートになりました。

【地域まちづくり計画推進事業】

紹介します!～わたしたちのまちづくり～明王台学区総合防災訓練



消火器を使っの訓練



心肺蘇生法 (人工呼吸・AED)



毛布を使っの簡易担架



びんご防災聴覚障がい支援 無事を知らせる“黄色いリボン”

11月25日(日)、明王台学区自主防災会を中心に総合防災訓練を行いました。約150人の参加があり、災害時対応マニュアルに従って、情報伝達等の諸活動、避難行動要支援者への支援が円滑に出来ました。

また、当日訓練に参加出来ない人は「我が家は無事です」のメッセージとして、“黄色いリボン”をポスト・門扉等に掲げてもらいました。具体的な諸訓練を通して、防災意識の向上につながりました。

団体名	内海学区まちづくり推進委員会	代表者	渡壁 公昭
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-986-3722 (内海公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 内海学区合同運動会 (5月27日 内海小学校運動場 約1,000人)
- (2) シニア男のそば教室 (6月～1月 内海公民館 50人)
- (3) チャレンジ広場 (7月～3月 内海公民館ほか 142人)
- (4) 生涯学習講座 (5月～3月 内海公民館ほか 219人 17講座実施)
- (5) 生涯学習まつり (11月4日 うつみ市民交流センター 1,500人)
- (6) 空き缶キャンペーン (6月3日 634人, 10月28日 334人)
- (7) 健康づくり事業 (4月～3月 やまわり会館 202人)
- (8) 地域コミュニティ育成
(横島地区連合自治会 320人, 田島西部自治会連合会 213人)
- (9) 人・まち・ふくしまルシェ
(11月11日 沼隈支所 3,300人)
- (10) 内海学区まちづくり推進委員会 運営事業 (通年 内海公民館 19人)



合同運動会
対抗綱引き



男のそば教室



内海っ子チャレンジ広場
工作(貯金箱作り)

成果

合同運動会・生涯学習まつりなどの事業を通して、各種団体や地域住民の協働による自主的・主体的な活動を実施することで地域の活性化に向けての取組ができた。

課題

少子・高齢化のため参加者が固定化している。幅広い声かけをして参加しやすいようにしていく。

スーパァッ!輝くまちづくり

内海学区

生涯学習まつりを開催!!

11月4日(日)、内海学区生涯学習まつりを開催した。響組の和太鼓演奏から始まり、保育所・小学校・たくさんの団体が参加し、踊りや歌、展示発表で日頃の活動の成果を発揮し盛大に開催することができた。



和太鼓 響組



踊り 華燭の宴



展示作品 きり絵



内海小学校 金管バンド



リズム体操

環境美化活動に学区を挙げて取り組んでいます。



地域清掃 (空き缶キャンペーン)

団体名	内浦学区まちづくり推進委員会	代表者	檀浦 五朗
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-986-3535 (内浦公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

(1) ワクワクひろば	(5月～2月)	内浦公民館	内浦学区	184人
(2) いきいき楽習講座	(5月～2月)	内浦公民館	内浦学区	262人
(3) 学区合同運動会	(5月27日)	内浦小学校グラウンド		260人
(4) 地域文化祭	(10月21日)	内浦小学校体育館		225人
(5) まちづくり研修視察	(11月23日)	山口県柳井市散策		28人
(6) ふるさと再生・発信活動	(5月～3月)	内浦公民館	内浦学区	290人
(7) 環境衛生・美化活動	(5月～3月)	内浦公民館	各自治会	315人
(8) 人権啓発活動	(5月～3月)	内浦公民館	各集会所	185人
(9) まちづくり推進委員会運営事業	(5月～3月)	内浦公民館	内浦学区内)	



学区合同運動会



地域文化祭

成果

- ・全事業が学区内に浸透し、地域の魅力や課題を共有できる事業となっている。
- ・全事業に対する、各役員の企画力や実践力が伸長してきている。
- ・全事業が、所期の目的である「地域の活性化」や「住民の交流促進」「地域コミュニティの醸成」の面で、大きな成果を挙げている。
- ・地域資源の再発見及び再活用として、「やぶ椿と水仙の里再生事業」に取り組み、今では市内はもとより、県内外から多数の人々が訪れ、内浦学区のシンボルとして認知されている。
- ・先進地視察を継続する中、推進態勢やPRの手法を学び、まちづくりに活かしている。

課題

- ・持続可能なまちづくり推進事業を展開するために、特定の人に仕事量や権限が集中しないよう、2019年度から部会制を敷き、各部会が主導して事業を展開する必要がある。
- ・持続可能なまちづくり推進事業を展開するために、事業規模の見直しや役員負担の軽減について検討する必要がある。
- ・中核役員の高齢化が進み、次世代層の参画が待望されるが、市内有数の過疎地域であり、そもそも次世代層が不足している。
- ・少子化も急速に進展しており、世代間交流事業「ワクワクひろば」も、2019年度からは、実施するのに困難な状況にある。

スーパァッ!輝くまちづくり

内浦学区まちづくり推進事業（2018年度）

「いきいき楽習講座」ってな〜んだ?

文字通り、より「いきいきと輝き、楽しく学ぶ」ことをモットーに、激変する現代社会に対応する知識やスキル等を共に学ぶ場として、また交流の場として、企画・提供しているものです。



ランタンづくり教室



台湾クッキング教室



多肉植物寄せ植え



おもてなし教室

「ワクワクひろば」ってな〜んだ!?

地域の人材を活用（講師）し、地域の伝統文化や歴史・芸能を伝承するとともに、芋の栽培や遊びを通じ、世代を超えた交流を推進するものです。



もちつき体験教室



しめ縄づくり教室

「学びの成果を地域に還元」

学びの成果を自分ひとりだけの成果にとどめることなく、学区文化祭や各地域サロンで展示や発表するなど、他の人々にも学びの「果実」が還元されています。

また、血縁・地縁にプラスして、学びで結ばれた「学縁」を活かし、地域コミュニティの形成・充実に役立っています。

団体名	能登原学区まちづくり推進委員会	代表者	佐藤 平治
-----	-----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-987-4460 (能登原公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 生涯学習事業 (通年 能登原公民館 198人)
- (2) 環境事業 (通年 能登原公民館 100人)
- (3) 健康及び福祉事業 (通年 能登原小学校, 能登原公民館, 能登原学区内 460人)
- (4) 安心・安全事業 (11月25日 学区防災訓練・能登原小学校 480人)
- (5) 学区合同運動会 (5月26日 能登原小学校 500人)
- (6) ふれあいまつり (10月13~14日 能登原公民館 600人)
- (7) ふれあいコンサート (11月6日 能登原小学校 130人)
- (8) とんどまつり (1月13日 学区内 600人)
- (9) 学区花壇整備事業 (通年 学区6自治会及び能登原公民館 117人)
- (10) 人・まち・ふくしまルシェ (11月11日 沼隈支所 3,300人)
- (11) 沼隈町駅伝大会 (1月21日 沼隈運動場ほか 1,800人)
- (12) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 能登原公民館・学区自治会 22人×12回)



一斉避難訓練



ふれあいコンサート



ふれあいまつり



いきいきサロン



環境ポスター
クリーン作戦

成果

学区民運動会やふれあいまつり・ふれあいコンサート・とんどまつり・防災訓練などの行事を通じて、各種団体や地域住民の協働による自主的・主体的な活動を実施することで、地域の課題解決(安心・安全, 伝統文化の継承等)や地域の活性化を図るための意識を高めることができた。世代間の交流が図られ、住民の絆を深めることができた。

課題

定期開催の生涯学習事業や健康及び福祉事業など、参加者が固定化しており、より多くの参加者を促進できるように広報活動に取り組み、活動しやすい状況を探る。空き家・耕作放棄地・管理者不在山林も増加している中で、高潮・津波や山崩れ・浸水等の非常時における対応や、独居老人対応等、安心・安全なまちづくりが課題である。

スーパァッ! 輝くまちづくり

【地域まちづくり計画推進事業】最終年度 「郷土の歴史や伝統を継承する」 福山市無形民俗文化財「とんど」



住民の高齢化のなか、各地区で能登原とんど1基作製を頑張っています。記憶に残すだけでなく、記録に残すことができました。

阿伏兔観音も内外にアピールするためパンフレットを作製することができました。

南部

日本遺産認定「阿伏兔観音」

能登原「学区民運動会」開催!!



こども園児 100 名ほど、小学校児童 54 名、保護者地域住民 300 名ほど、中学生十数名、あぶと健生苑入所者介護者などの参加を得て、熱中症が心配されるほどの快晴の中、老若男女相集い楽しいひとときでした。非常時持ち出し品や簡易担架リレーなどの地域の特色を活かした種目もあり、皆さんのはつらつとした姿に感動いっぱいの日でした。

団体名	千年学区まちづくり推進委員会	代表者	山路 正春
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-987-3188 (千年公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

(1) 防災活動	(通年 学区内全域	1, 400人)
	(11月25日学区内全域 防災訓練	419人)
(2) 安心・安全活動	(通年 学区内全域	1, 100人)
(3) 環境美化活動	(通年 山南川周辺清掃及び花壇整備	400人)
(4) 地域ネットワーク	(通年 学区内全域	1, 200人)
(5) 千年学区健全育成スポーツ大会	(通年 千年小学校グラウンドほか	1, 500人)
(6) 沼隈町駅伝大会	(1月20日 沼隈町内一周駅伝	1, 500人)
(7) 千年学区民運動会	(5月26日 千年小学校グラウンド	1, 300人)
(8) いきいきサロン	(通年 学区内	1, 200人)
(9) 人・まち・ふくしまルシェ	(11月11日沼隈支所駐車場	3, 300人)
(10) 子育て・次世代教育講座	(通年 千年公民館ほか	1, 000人)
(11) 千年学区だより	(年1回発行	1, 400世帯配布)
(12) まちづくり推進委員会運営事業	(通年 学区内	25人)



千年学区
敬老祝賀会



クリスマス
ケーキ作り



成果

人・まち・ふくしまルシェは天候に恵まれ、来場者も多く内容的には充実したものになった。駅伝大会も年々盛大になり、参加チームも増えてきている。千年学区民運動会は5年目となり、地域の交流が深まり、定着してきた。

課題

継続の事業が多いが、新規事業を計画して、多くの地域の方に参加していただき、千年学区に住んで良かったと思われるようにしたい。

スーパァッ!輝くまちづくり

千年学区

今年も学区防災訓練を実施しました!!

千年学区では、11月25日(日)全市防災訓練と併せて、1次避難場所(各自治会集会所)、2次避難場所(支所南側駐車場)に419名の学区民の方が参加して実施しました。



炊き出し訓練



消火器操作訓練



「噴煙ハウス」体験

環境美化や健康推進に学区を挙げて取り組んでいます。



古紙リサイクル事業



グラウンドゴルフ大会

学区民運動会・駅伝大会・綱引き大会・
ペタンク大会等、年間を通じていろいろ
なスポーツ活動を行っています。



新入学園児徒競争, パン食い競争, 藤波音頭等, 学区民運動会

団体名	常石学区まちづくり推進委員会	代表者	小林 公司
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-987-3839 (常石公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

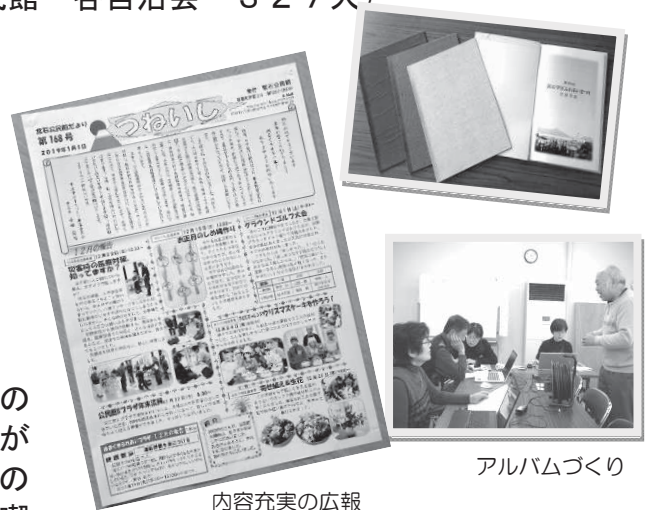
- (1) 安心安全まちづくり (4月～3月)
地震・津波避難訓練, 防災訓練, 防犯・健全育成リーダー研修
登下校見守り活動
- (2) 沼隈町駅伝大会 (1月20日 沼隈運動場 《スタッフ》60人)
- (3) ふれあいまつり (10月21日 常石小学校 800人)
- (4) 常石学区民運動会 (5月26日 常石小学校 850人)
- (5) 新成人を祝う会 (8月12日 常石公民館 65人)
- (6) 子どもチャレンジ (7月～12月 常石公民館 208人)
宿題おたすけ隊, さをり織り, お菓子づくり, 料理教室,
クリスマスケーキづくり, コースターづくり
- (7) おとな物知り塾 (11月～3月 常石公民館 94人)
しめ縄づくり, 寄せ植え/生け花講座, 保存食(みそ)づくり, アルバムづくり
AED講習会, ひなまつりケーキづくり
- (8) 世代間交流 (9月～3月 常石小学校ほか 192人)
グラウンドゴルフ大会, 敬老会, トライウォーク, ようこそ先輩授業
昔のあそび体験授業
- (9) 環境美化活動 (4月～3月 山南川・常石公民館ほか 延べ1,200人)
古紙回収(リサイクル), 学区内春季清掃, 学区内秋季清掃, 山南川清掃,
花いっぱい運動, 地球温暖化対策啓発(ゴーヤで日覆いづくり)
- (10) 人・まち・ふくしまルシェ2018 (11月11日 沼隈支所 3,300人)
- (11) まちづくり広報活動 (年12回 A3両面 発行総数8,400部)
正月号 カラー印刷で全戸配布
- (12) まちづくり推進委員会運営事業 (年10回 委員会170人・例会320人)
- (13) 学区一斉避難訓練 (2月24日 常石公民館・各自治会 327人)
テント整備

成果

まちづくり事業で取り組んだ事業のいくつかは、新しい地域文化として定着を見ることができた。これから、伝統として育み発展していくことが期待できる。

課題

まちづくり事業が13年を経過し、まちづくりの担い手が減少する中で、見直しや再構築の必要性が高くなってきている。また、新たなまちづくりへの参加者の掘り起こしやリーダーの養成は、大きな喫緊の課題である。



内容充実の広報

アルバムづくり

スームアップ!輝くまちづくり

紹介します!～わたしたちのまちづくり～

常石学区 新成人を祝う会

二十歳になった、常石小学校卒業生が集まります!!

お盆の8月12日、常石小学校卒業してから8年目の夏に、懐かしい顔が集まった。13年前より変わらぬこの光景は、地域で祝う成人式としてすっかり定着し、地区の新しい文化となっている。式は、親子が企画・準備・運営等を役割分担して行い、地域の人を招待する。見守り育ててもらったことへの感謝と成長した姿を見てもらい共に祝う、心づくしの「手作り成人式」である。



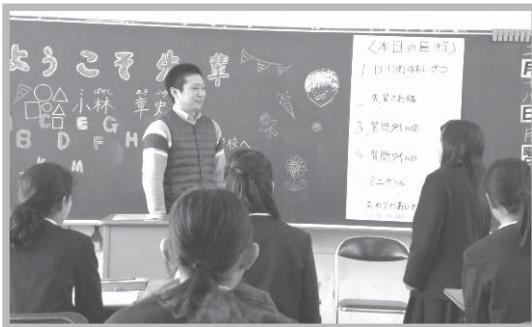
恩師も祝う成人式



認定証の授与

【ようこそ先輩授業】

世代間交流



常石学区では、毎年小学校で、ようこそ先輩授業を行っています。ようこそ先輩授業とは、いろんな分野で頑張っている先輩から、後輩たちにメッセージを発信してもらった授業です。テーマはいろいろ。お兄さん、お姉さんの話に、興味津々。子どもたちは、いつも目を輝かせています。

【学区一斉古紙回収】

コミュニティ活動



常石学区では、自治会を中心に、地域コミュニティの醸成を図り、まちづくり事業の資金確保と資源のリサイクル意識の啓発のため、古紙回収に取り組んでいます。

回収方法は、ストックボックスを設置し、学区民各自の持込による分別収集です。毎月第4土曜日には、学区内一斉の回収日を設け、正しく分別ができているか、みんなでチェックを行っています。

団体名	山南学区まちづくり推進委員会	代表者	宮澤 泉
-----	----------------	-----	------

(問合せ先) 084-988-1981 (山南公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- | | | | |
|--------------------------------|----------|---------------|---------|
| (1) 講座・講演会・実技研修等 | (通年) | 清神会館 | 152人 |
| (2) 世代間交流 | (通年) | 清神会館・山南小学校 | 539人 |
| (3) 防犯パトロール・交通安全・防火・自主防災等 | (通年) | 山南学区ほか | 約827人 |
| (4) 人・まち・ふくしまルシェ | (11月11日) | 沼隈支所ほか | 約3,300人 |
| (5) 沼隈町駅伝大会 | (1月20日) | 沼隈町内 | 約1,000人 |
| (6) 学区運動会 | (5月26日) | 山南小学校グラウンド | 約430人 |
| (7) 学区夏祭り | (8月4日) | 山南小学校グラウンド | 約600人 |
| (8) 学区文化祭 | (11月25日) | 山南公民館・清神会館 | 約200人 |
| (9) 体育行事・健康づくり | (11月18日) | ソフトバレーボール大会 | 約130人 |
| | (11月18日) | 沼隈内海ソフトボール新人戦 | 約200人 |
| | (2月3日) | グラウンドゴルフ大会 | 49人 |
| (10) 環境づくり (清掃活動・ゴミ拾い・ゴミ分別啓発等) | | | |
| | (6月3日) | 山南川一斉清掃 | 約30人 |
| (11) まちづくり推進委員会運営事業 | (通年) | 清神会館 | |
| (12) ふるさとのこれからを考える会 (婚活事業) | | | |
| | (9月30日) | ぶどうコン in さんなⅡ | 115人 |



コーヒーの美味しい淹れ方講座
(ふれあいカフェさんな開設にあたり
関連事業として計画)



防災訓練 (防災プログラムの中の1場面)

成果

まちづくり推進に向け、福祉を高める会やJA山南、沼隈病院、サブセンター山南などで組織した「ふれあいカフェさんな」を6月にオープンした。当初予想を大きく上回る利用者数に「居場所づくり・語らいの場」として学区の中心部に開設できた事は画期的で大きな成果となった。

課題

まちづくりの後継者の育成が課題である。

山南学区 「地域まちづくり計画推進事業」

2017年度好評につき第2回婚活イベントを開催しました!!

ぶどうコンインさんなII

ぶどうコンインさんなII

ぶどうの故郷で素敵な恋を实らせませんか?

①ぶどうのお土産付き!

会 場 JA 福山市沼隈ぶどう選果場
(福山市沼隈町大字中山南 3296 ※現地集合)
平家谷 (平家の館、通盛神社ほか)
(福山市沼隈町中山南)

参加資格 20～50歳の独身の男女
(ただし、沼隈町関係者を優先させていただきます)

募集人数 男女各 25 名

参加費 男性 3,000 円 女性 2,000 円
(参加費は当日会場で申し受けます)

応募方法 申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX 又は山南学区まちづくり推進委員会 (山南学区ふるさとのこれからを考える会) までお申し込みください。

9.30 2018 Sun
9:30-16:00

主催 山南学区まちづくり推進委員会
(山南学区ふるさとのこれからを考える会)

協賛 沼隈内海商工会、沼隈町観光協会、JA 福山市、JA 広島果実連、沼隈町果樹園芸組合、沼隈病院、山南郵便局、山南学区自治会連合会 ほか

後援 福山市
ツネイン財団
助成事業

当日は悪天候の為、当初申込みより若干参加人数が減ったが、59人の参加があり無事に開催できた。予定の平家谷散策は実施できなかったが、平家谷をイメージした琴の演奏、「平家谷おばちゃんガイド」による平家落人伝説の紙芝居を楽しんでもらった。参加者（主に女性）からは「平家谷に行くことをとても楽しみにしていた。」という声もあり、山南学区の魅力の一つであると改めて確認できた。

団体名	松永学区まちづくり推進委員会	代表者	山崎 廣成
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-933-4864 (松永公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) まなび広場 講座ほか (6月9日ほか13回 西部市民センターほか 1,024人)
下駄踊りの継承 (9月26日ほか2回 西部市民センターほか 315人)
- (2) 防犯活動 見守り活動・あいさつ運動 (通年 学区内 11,000人)
ウォーキング・青色防犯パトロール (通年 学区内 166人)
合同夜間パトロール (7月20日・12月21日 学区内 118人)
感謝の集い (11月19日 松永小学校 200人)
- (3) 高齢者一人暮らし配食サービス (11月28日・2月27日 学区内 312食)
- (4) 自主防災事業 研修ほか (6月14日ほか10回 西部市民センターほか 228人)
防災訓練 (2月24日 松永小学校 515人)
- (5) スマイルキッズまつなが (4月～2月 西部市民センター 363人)
- (6) 敬老サロン事業 出張ふれあいサロン (6月15日 船町増川集会所 39人)
ゆめくらぶ (8月22日ほか2回 松永公民館ほか 155人)
おしゃべりランチ (5月11日ほか5回 松永公民館 159人)
- (7) 三世代交流事業 (11月13日・1月23日 松永小学校 290人)
- (8) 広報活動 (通年 まちづくりだより 3,000部発行)
- (9) 高齢者の集い (5月12日・10月20日 松永小学校ほか 158人)
- (10) スポーツ振興事業 (通年 松永グリーンパークほか 2,254人)
- (11) 環境健康事業 ウォーキング大会 (5月14日 松永小学校 278人)
花いっぱい松永ほか (12月2日 学区内ほか 314人)
- (12) 学区民文化祭 (10月20日・21日 西部市民センター 1,500人)
- (13) コミュニティの育成事業 (ごみ分別啓発 38単位自治会)
- (14) まちづくり運営事業 (通年 松永公民館)

「防犯活動」
合同夜間パトロール



「敬老サロン事業」
地域の集会所をお借りし、お試し出張ふれあいサロン茶屋「一歩」を開催



成果

学区民文化祭や自主防災訓練を開催するなど、各種団体や地域住民の協働による自主的・主体的な活動を実施することで、まちづくり事業の推進や地域の活性化を図るための意識を高めることができた。

課題

自治会未加入の世帯が増えてきており周知する手段が自治会からの広報のみであり、まだまだまちづくり事業を知らない住民が多い。広く周知できる広報活動等に取り組みたい。

スーパァッフ!輝くまちづくり

松永学区

体で覚える日頃の訓練 それは必ず役に立つ!!

地域で助け合って避難できる体制づくりをめざして自主防災訓練を開催。

自治会ごとに第1次避難場所に集合。のぼり旗を持った自治会長を先頭に、非常持ち出し袋を背負った住民が、仮避難所を設置した松永小学校へ次々と避難しました。



避難所受付
仮避難所ごとに色テープを腕に貼り自治会をグループ分け!



応急担架作製
いざという時には毛布と竹を使って



土のう作製
小さな力も協力すれば、大きな力に!



土のうの積み方訓練 大雨に備えて被害が少しでも減らせるよう土のうの積み方を学びました



〇×クイズ
知っておきたい命を守る大切なこと



炊き出し
大なべで作る500人分の豚汁



非常食作り
ホットケーキミックスで
もみもみもみ・・・

松小5年生参加
自分の命は自分で守ること、地域の一員としてみんなで助け合うことの大切さを学びました

団体名	今津学区まちづくり推進委員会	代表者	島村 莞爾
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-934-2205 (今津公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 環境美化活動 (河川清掃7月・9月・3月 本郷川河川一斉清掃 約3,000人)
- (2) 公衆衛生推進活動
(健康生活教室・グリーンカーテン・ウォーキング 通年 今津公民館 延べ500人)
- (3) 安心・安全活動 (安全パトロール通年・学区防災訓練11月25日 約500人)
- (4) 人権啓発活動 (ふれあい公演会11月4日 今津小学校 約300人)
- (5) 高齢者福祉活動 (今津公民館)
(ふれあい昼食会 年4回・福祉弁当3月・もちつき交流会12月 延べ500人)
- (6) 地域福祉活動 (男の料理教室 奇数月第3木曜日 今津公民館 延べ120人)
- (7) 地域福祉活動
(花咲か塾・しめ縄・高齢者の居場所づくり 通年 今津公民館・M亭 延べ500人)
- (8) 子育て支援活動
(毎月1回 げんきっズ広場(おもちゃの病院 奇数月) 今津公民館ほか延べ500人)
- (9) 青少年育成活動 (今津公民館)
(子どもの居場所づくり「めだかの楽校」自習・体験活動 福大交流 延べ600人)
- (10) ほたるの夕べ (6月2日 長波会館前河川敷 約1,000人)
- (11) 学区民運動会 (10月21日 今津運動場 延べ3,000人)
- (12) 今津町ふれあい文化祭 (11月4日 今津小学校 約1,200人)
- (13) まちづくり推進委員会運営事業
(広報活動・定例会・まちづくり交流会 通年 今津公民館 延べ500人)
- (14) 地域まちづくり計画に基づく事業
(情報発信事業ほか 通年 今津公民館 延べ300人)



「ほたるの夕べ」でホタマンと大合唱



おもちゃの病院

成果

地域課題解決にむけてまちづくり計画事業と連携して“情報発信”をテーマに取り組む中で、幅広い年齢層の協力を得ることができた。

課題

引き続き、持続可能なまちづくりに向けて各事業を支える人材の世代交代と新たな人材発掘・育成や行事の見直しが課題となる。

ズームアップ!輝くまちづくり

【地域まちづくり計画推進事業】

“情報発信”をテーマに、マップ作り・広報の充実・SNS活用に取り組ました

<歴史とともに辿る今津マップ完成>

- ・ 8, 000部印刷し、全戸配布のほかにも今津小学校・保育所・図書館・西部市民センターなど、広く配布した。
- ・ マップ看板を公民館の外壁面に設置。
- ・ マップを活用して、公衆衛生推進委員会と共催で3世代交流ウォーキングを実施。

「今津宿探索コース」を巡り、今津の歴史に思いをはせた。



<広報の充実>



“住民目線の新聞づくり”をめざして、今年度、3回の行事報告集を全戸配布。

同時進行で写真・コメントなどを入れた壁新聞も作成。

広報誌（紙面）については、得意分野（パソコン）を生かし、ボランティアの人材育成につなげた。

<SNS活用>

インターネットを活用して、情報発信と情報共有をめざし“SNS学習会”を開き、スマートフォンやパソコンから、どなたでも参加できる「福山西部・今津地域情報」を立ち上げた。

（現在グループ参加者数 79人）



団体名	神村学区まちづくり推進委員会	代表者	倉田 昌明
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-933-2913 (神村公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 自主防災事業
 - ・防災研修会 (6月16日 神村公民館 58人)
 - ・学区自主防災訓練 (11月25日 神村小学校 約500人)
- (2) 福祉活動事業
 - ・一人暮らし支援 (11月21日 神村公民館 120人)
 - ・健康体力づくり (5月6日 神村小学校 78人)
 - ・いきいきサロン (2月20日 瀬戸老人福祉センター 27人)
- (3) 公衆衛生事業
 - ・環境づくり(ごみの分別) (2月 学区内 全戸)
 - ・食生活改善啓発活動 (1月24日 神村公民館 30人)
- (4) 高齢者交流事業
 - ・グラウンドゴルフ大会 (8月27日 松永運動場 150人)
 - ・ペタンク大会 (11月6日 松永運動場 130人)
 - ・ブロック別交流会 (11月15日～30日 神村公民館ほか 330人)
- (5) 各区対抗スポーツ大会
 - ・バレーボール大会 (7月1日 びんご運動公園体育館 約400人)
 - ・ソフトバレーボール大会(11月4日 尾道長者原スポーツセンター 約250人)
- (6) 安全パトロール事業 (通年 学区内通学路 延べ2,600人)
- (7) ふれあい活動事業 (通年 神村公民館 延べ1,023人)
- (8) 郷土芸能保存事業 (7月～12月 神村小学校 850人)
- (9) 青色防犯パトロール活動 (通年 学区内パトロール 延べ360人)
- (10) 地域文化事業
 - ・歴史文化講演会 (8月1日 神村公民館 37人)
 - ・歴史文化訪ね歩き (12月16日 今津本陣跡, 高諸神社ほか 35人)
- (11) まちづくり健康推進事業
 - ・ペタンク大会 (5月20日 松永運動場 171人)
 - ・グラウンドゴルフ大会 (7月3日 松永運動場 153人)
 - ・ターゲットバードゴルフ大会(8月19日 松永運動場 115人)
- (12) 広報紙発行 (年4回(5, 8, 11, 2月) 神村公民館 全戸)
- (13) 神村歴史散策ウォーク (11月18日 学区東部エリア 120人)
- (14) コミュニティ育成(一斉清掃活動) (9月 学区17自治会 1,720戸)
- (15) 納税推進事業 (9月～11月 神村学区内)
- (16) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 神村公民館)



土のうづくり



段ボールの間仕切り



ふれあい活動事業
しめ縄づくり



ターゲット
バードゴルフ大会



歴史散策
ウォーク

成果

民主団体や地域住民の協働による自主的・主体的な活動を実施することで、学区住民のふれあいと親睦を深めることができた。そして、地域の課題解決や活性化を図るための意識を高めることができた。

課題

まちづくり活動が活発に行われている中で、持続可能なまちづくりに向けて人材の発掘と育成に取り組んでいきたい。

スームアップ!輝くまちづくり

【地域まちづくり計画推進事業】

「学区ふれあいまつり」を実施しました。



小学生による郷土芸能の伝承に取り組みました。



団体名	本郷学区まちづくり推進委員会	代表者	横山 典好
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-936-1123 (本郷公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) まちづくり生き生き講座 (通年 本郷公民館ほか 168人)
- (2) 子どもチャレンジクラブ (通年 本郷公民館・本郷小学校 227人)
- (3) 広報紙「本郷川」発行 (年6回 本郷公民館 奇数月)
- (4) 環境美化啓発・本郷川ばら花壇整備事業 (通年 本郷川流域・河川敷 400人)
ほたる観賞会 (6月9日 本郷川 123人)
- (5) 健康づくり事業 グラウンドゴルフ (6月・10月 本郷川河川敷 59人)
ノルディックウォーキング (12月8日 本郷町内 18人)
- (6) まちづくり映画会「この世界の片隅に」 (6月16日 本郷小学校体育館 152人)
- (7) 本郷ふるさと夏まつり (8月14日 本郷小学校 700人)
- (8) 本郷文化芸能祭 (11月3日・4日 本郷公民館・本郷小学校 400人)
- (9) 本郷文化交流会 (1月20日 本郷コミュニティセンター 250人)
- (10) 研修事業 (11月29日 42人)
- (11) 自主防災事業 (防災訓練) (11月25日 本郷小学校 120人)
- (12) 福祉活動事業 (通年 2月17日 訪問活動「まごころ宅急便」118人)
- (13) 講演会事業「防災と人権」 (3月23日 本郷公民館 40人)
- (14) 体育育成事業 まちづくり町民体育大会 (5月27日 本郷小学校 700人)
まちづくり町内一周駅伝大会 (1月1日 本郷町内 400人)
- (15) コミュニティ育成事業 (通年 各町内)
- (16) まちづくり推進運営事業 (通年 本郷公民館)
- (17) 地域まちづくり計画に基づく事業 (通年 本郷町)



生き生き講座 しめ縄飾り作り



子どもチャレンジクラブ いももち作り

成果

各行事を通じて、各種団体が協働し地域住民との融合により、少しではあるが地域活性化のための意識を高めることができた。

課題

少子高齢化の中、次世代リーダーの人材育成を進め、各事業の企画立案に工夫をこらし参加者をさらに増やす必要がある。

本郷学区

自主防災訓練を開催しました!!

2018年度の防災訓練では、炊き出し訓練と土嚢作り、救命講習を行いました。



自主防災訓練 炊き出し



自主防災訓練 土嚢作り

【体育育成事業・健康づくり事業】

紹介します!~わたしたちのまちづくり~



まちづくり町民体育大会



まちづくり町民体育大会



ノルディックウォーキング



まちづくり町内一周駅伝大会

様々な行事を通して、体力づくり、世代間交流をはかりました。

団体名	柳津学区まちづくり推進委員会	代表者	津田 光之
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-933-4216 (柳津公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

(1) 町民体育大会	(5月27日)	柳津小学校グラウンド	1,536人
(2) いきいき教室	(通年)	柳津町内ほか	623人
(3) 精霊盆踊り大会	(8月13日)	柳津小学校グラウンド	550人
(4) 文化祭	(11月4日)	柳津小学校, 柳津公民館	845人
(5) とんど祭り	(1月20日)	慶応浜埋立地	450人
(6) 青少年見回り活動	(通年)	柳津町内ほか	196人
(7) 安全・安心 我が家の防火教室	(11月25日)	柳津小学校	171人
(8) 生活支援事業	(通年)	柳津公民館ほか	121人
(9) 環境美化推進事業	(通年)	柳津町内, 柳津公民館	635人
(10) 安全啓発事業	(通年)	柳津町内ほか	455人
(11) 防災教室	(11月25日)	柳津小学校	171人
(12) やないづ 広場	(通年)	柳津公民館	79人
(13) まちづくり推進委員会運営事業	(通年)	柳津公民館)



町民体育大会



精霊盆踊り大会



文化祭

成果

各行事を通して、各種団体や地域住民による、自主的、主体的な活動を展開するなかで、地域の課題解決や地域の活性化に向けた意識の高揚を図ることができた。

課題

少子高齢化と人口減少が進むなか、行事の参加者が固定化及び減少化傾向にあるため、事業内容の検討や、積極的な広報周知活動を行う必要がある。各役員が高齢化している中で、まちづくり活動を将来へ継続していけるよう役員、リーダーなどの人材発掘や人材育成が必要と考える。自主防災訓練・防災教室の参加者は毎年一定しているが、今まだ災害の危険に対する認識が低調であることや、要支援者の具体的対応等、解決すべき課題は多い。

【地域まちづくり計画推進事業】

紹介します!~わたしたちのまちづくり~

その1 柳の里さんぽ路・史跡案内看板設置!!

町内の史跡や神社仏閣を載せた看板「柳の里さんぽ路」を公民館前の道路ぎわに設置。また、各史跡には、より分かりやすく関心を持ってもらえるよう、「いわれ」などを書いた「案内看板」を設置しました。町民には、親しみの持てるわかりやすい看板と好評で、柳津に愛着と誇りを持ってもらえました。



その2 柳津公園にばらを植えました!!

町内にある柳津公園に新設したばら花壇に、柳津小学校栽培揭示委員会の児童と自治会役員などの町民が協力して、ばらの苗木32本を植えました。小学生にばらの植え方やばらの名前など伝えながら楽しく作業することができました。花の咲く美しい公園は、住民の目が行き届いている場所として不審者を近づけない防犯対策としても期待できます。ばらの咲く公園が散歩コース、憩いの場になればとの思いを込めて作業をした子どもたちには、より地域に愛着を持ってもらう取組となりました。



その3 防犯カメラ設置!!

町内の橘神社入口に防犯カメラを設置しました。防犯カメラの設置を一步として、安全・安心なまちづくりをめざし、より一層、防犯意識を高めていきたいです。



団体名	金江学区まちづくり推進委員会	代表者	前田 貴洋
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-935-7489 (金江公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

(1) ふれあいクラブ	(5月～3月	金江公民館ほか	776人)
(2) 体力維持活動	(6月, 10月	金江学区内	102人)
(3) 虫送り事業	(6月17日	金江学区内	450人)
(4) 金江ふれあい広場	(8月14日	盆踊り大会	金江小学校 700人)
(5) 視察交流研修	(10月18日	金江学区外	27人)
(6) グラウンドゴルフ大会	(10月21日	金江小学校	115人)
(7) 健康ウォーキング大会	(11月18日	金江学区内	78人)
(8) クリーン運動	(11月11日	金江学区内	300人)
(9) 文化祭	(11月3・4日	金江小学校	1,500人)
(10) とんど祭り	(1月19日	金江学区内	350人)
(11) ボランティア活動事業	(通年	金江学区内)	
(12) 防災訓練	(11月25日	金江学区内	67人)
(13) コミュニティ育成事業	(通年	金江学区内)	
(14) まちづくり推進委員会運営事業	(通年	金江公民館)	



虫送り事業



とんど祭り

成果

- ・自治会をはじめ各種団体等と連携を図りながら地域の活性化に向けた事業を実施し、若い世代をはじめ多くの住民が参加し交流ができた。
- ・事業への参加者は年々増加傾向にある。

課題

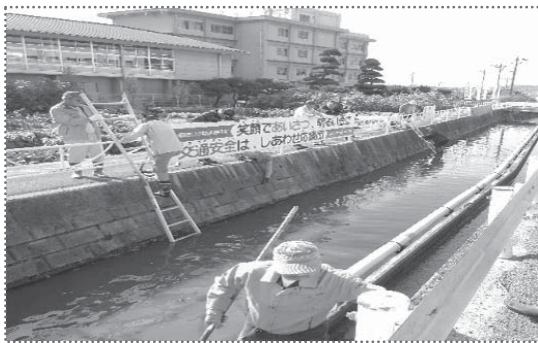
- ・団体間の連携を図り、幅広い世代が交流できるよう地域の活性化につながる事業として展開していく必要がある。
- ・持続可能なまちづくりに向けて、人材の発掘と育成が課題となる。
- ・まちづくり事業の認知度が低い。そのため魅力あるまちづくり事業の推進に努める必要がある。

スーパースター!輝くまちづくり

【地域まちづくり計画推進事業】

環境美化運動 [なかよし川の清掃]

川の清掃と鯉の放流をしてから10年が経過して、川の汚れも目立ち始めました。そこで、川の景観を取り戻し再び町民みんなの憩いの場にしようとみんなで清掃活動に取り組みました。



【子ども見守り活動】

見守り活動用の「ビブス」を着用して、児童の登下校に合わせて子どもと一緒に歩いたり、通学道路上で子どもたちを見守ったりしています。



ボランティア活動事業

畑の草刈り、さつまいもの苗植付け、ばら花壇のお世話など年間を通じてボランティアの方々とともに事業を実施しました。



休耕田の畑の草刈り、さつまいも苗の植付け

ばら花壇の手入れ、入魂!



「ばら花壇コンクール」今回、最優秀賞（二度目）を受賞しました。

団体名	藤江学区まちづくり推進委員会	代表者	増田 博
-----	----------------	-----	------

(問合せ先) 084-935-7401 (藤江公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 憩いの広場づくりとコミュニティ活動 (通年 旧藤江小学校跡 1,000人)
- (2) 町内一斉清掃美化作業 (5月27日・9月23日 藤江学区内 1,700人)
- (3) スポーツ教室 (6月 2日～9月15日 10回 バドミントン教室
藤江小学校体育館 延べ206人)
- (4) 人形劇 (6月 6日 藤江保育所遊戯室 42人)
- (5) フラワーロード作戦 (6月17日・11月18日 200人)
- (6) 藤江町サマーフェスティバル (8月13日 藤江公民館 横広場 750人)
- (7) 教育講演会 (9月28日 藤江小学校ランチルーム 33人)
- (8) クリーン作戦 (10月20日 藤江学区内 150人)
- (9) 文化行事 (10月20日 藤江小学校体育館 46人)
- (10) 藤江町文化祭 (10月28日 藤江公民館及び横広場 550人)
- (11) 自主防災活動 (11月25日 9単位自治会
各集会所・クラブ 364人)
- (12) コンサート (1月12日 藤江保育所 40人)
- (13) まつながカープチェー (学区連携事業) (2月 3日 延べ7,000人)
- (14) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 藤江公民館 700人)



憩いの広場



サマーフェスティバル

成果

協働のまちづくりを推進するため、各種団体や地域住民による自主的・主体的な活動を実施することで、地域の課題解決や地域の活性化を図るための意識を高めることができた。

課題

行事の参加者が固定化し、高齢化が進んでおり、より多くの住民参加を促進できるような対策に取り組んでいきたい。

藤江学区自主防災活動

今年度は通常の避難訓練に加え、避難行動要支援者の避難訓練と土嚢作り訓練を行いました。

各地域集会所で車いす体験をした後、避難所である藤江公民館の駐車場まで移動し、公民館横のグラウンドで、消防団の指導のもと土嚢作りをしました。



土嚢作り訓練のようす

春季・秋季フラワーロード花の植え替え



春季…ポーチュラカ

秋季…ビオラ



フラワーポットへの植付け

6月と11月の年2回、県道沿いのフラワーポットおよび各自治会の集会所周辺のプランターに花の植え替え作業をしています。

作業前にはまちづくり推進委員会の役員で県道の草刈りもしています。

団体名	東村学区まちづくり推進委員会	代表者	伊藤 武彦
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-936-0600 (東村公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 男の料理教室 (5月29日, 6月26日, 7月31日 東村公民館 延べ21人)
- (2) 野外研修 (10月24日 安芸高田市 39人)
- (3) 町民運動会 (5月27日 東村小学校グラウンド 約200人)
- (4) 町内ソフトバレーボール・卓球大会 (8月25日, 9月1日, 9月8日
東村小学校体育館 延べ100人)
- (5) 町内グラウンドゴルフ大会 (2月24日 東村小学校 約60人)
- (6) 公衆衛生活動事業 (町内一斉清掃; 5月20日, 9月9日
空き缶等散乱ごみ回収; 6月3日, 8月4日, 12月8日,
3月19日 延べ220人
児童による環境啓発ポスター作成
不法投棄抑止鳥居修理)
- (7) 青少年育成事業 (講演会; 11月30日 東村小学校 31人
演奏会; 1月26日 東村保育所 23人)
- (8) 夏祭り盆踊り大会 (8月14日 東村小学校 延べ300人)
- (9) かかし祭り (12月2日 東村小学校 延べ2,000人)
- (10) 自主防災活動事業 (防災訓練; 11月25日 各单位自治会クラブ
延べ135人)
- (11) かかしの里まちづくり事業 (鳥獣対策; 防護柵設置2月17日 大谷地区,
防護柵補修 通年 町内一円)
- (12) 広報紙発行事業 (3回発行; 6月, 10月, 2月 各470部)
- (13) ふれあい広場 (計9回 東村公民館ほか 延べ147人)
- (14) 第75回かかし祭り基金 (2020年開催予定)
- (15) まちづくり運営事業 (通年)

成果

それぞれの事業は、ほぼ例年行っており、地域住民への周知は図れている。中でも、伝統行事として継承しているかかし祭りは、町外・市外からも多くの観客があり、盛大ににぎわっている。



防災訓練のようす

課題

地域の少子高齢化・過疎化とともに、参加者及びスタッフの高齢化もすすんでおり、新たな人材発掘・育成が課題である。

第26回東村町夏祭り盆踊り大会 を開催しました!!



恒例の打ち上げ花火。

連日35℃前後の猛暑が続いた2018年の夏も、8月14日に行いました。

幸い心地良い風が吹く中、盆踊りの輪には子どもからご年配の方、また海外から研修生として在住の若者も参加されていました。

今回初めての「盆踊り・ダンシングヒーロー」は、速いテンポでも覚えやすく、皆さん楽しく元気に踊っていました。



保育所の子どもたちも一生懸命踊ってくれました。



やぐらを囲んで踊りました。



小学生の『東村ソーラン』も伝統になりました。



カラオケ大会には、強者ばかり。



子どもたちが絵を描いてくれた灯籠を、たくさん置きました。



多くの参加者で賑わいました。



夏祭りにも模擬店は不可欠です。

団体名	高西町まちづくり推進委員会	代表者	寺岡 和泉
-----	---------------	-----	-------

(問合せ先) 084-934-3172 (高西公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- | | | |
|------------------|-----------------------------|--------|
| (1) 町内・藤井川一斉清掃活動 | (6月 3日 藤井川・町内 | 92人) |
| 啓発看板修理再生・設置 | (6月17日 藤井川・町内 | 27人) |
| 全町一斉クリーン作戦 | (10月28日 藤井川沿い | 97人) |
| (2) ふれあい講座 | | |
| ①めだかくらぶ | (5回 延べ127人) | |
| ②楽習サロン | (4回 延べ 41人) | |
| ③元気サロン | (5回 延べ 89人) | |
| ④キッズ☆サマークラブ | (3回 延べ 35人) | |
| (3) 高西町夏まつり | (8月 4日 高西公園 | 約400人) |
| (4) 高西町民運動会 | (10月14日 高西町広場 | 約200人) |
| (5) 第40回高西町文化祭 | (11月11日 高西コミュニティセンター | 約600人) |
| (6) ふれあい交流会 | (12月16日 高西コミュニティセンター | 約150人) |
| (7) 健康推進事業 | (2月24日 高西コミュニティセンター | 48人) |
| (8) 交通安全啓発推進 | (交通安全啓発横断幕作成) | |
| (9) 人権啓発事業 | | |
| ①視察研修 | (12月 4日 人権を考える集い | 47人) |
| ②高西町人権を考える集い | (1月20日 尾道防災センター | 22人) |
| (10) 防災訓練 | (11月25日 全町 | 約100人) |
| (11) 広報紙 | (機関紙「ふじいがわ」発行(9回) 行事ポスター発行) | |
| (12) まちづくり運営事業 | (通年) | |
| (13) まちづくり計画 | (高齢者の居場所づくり) | |



ふれあい講座 めだかくらぶ



視察研修



夏まつり

成果

さまざまな行事を地域住民や各種民主団体の協働で実施することができ、子どもから高齢者までが参加し集うことで、世代間交流することができた。

課題

人間関係の希薄化が進む中で地域力が低下してきているので、人と人とのつながりを大切にした地域づくりを進めていく。

スーパァッフ!輝くまちづくり

☆第40回高西町文化祭☆～多文化共生～



出演者の皆さん

高西町文化祭は本年40回を迎えることとなりました。文化祭のメインステージでは「多文化共生舞台」として様々な国の文化に触れながら、みんなで心をひとつにつなかりました。



子どもたちのダンス



踊りも衣装もとても素敵でした♡

外の出店もたくさんの人で賑わいました!



【地域まちづくり計画推進事業】

紹介します!～わたしたちのまちづくり～

☆川尻お茶しよう会☆ (地域交流サロン)



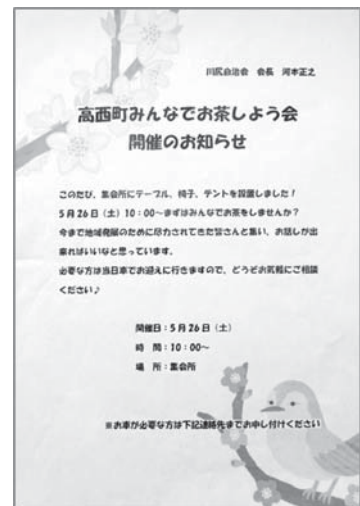
地域の子もたちと踊りの練習をして今年は文化祭にも出演し、テーマの「絆」づくりの一步となりました。



天気の良いときは、外のカフェ風テラスで、まったりおしゃべり。



室内では、みんなで体操のDVDを見ながら運動をしています。



川尻自治会では、高齢者の居場所づくりとして、誰もが寄り集まれる交流サロンを開いています。

団体名	有磨学区まちづくり推進委員会	代表者	下江 博雄
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-958-3849 (有磨公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

(1) 魅力ある地域づくり事業

日本の歴史を学ぶ：松山城の歴史に触れよう！

(5月27日 松山城 41人)

人権パネル展：「広島のと砂災害を未来に伝える」

～人々のいのちを守りたい～

(10月27日～11月8日 有磨公民館 1,000人)

(2) いきいきふれあい交流事業

そとまちロードウォーキング

(5月27日 松山城周辺 41人)

(3) 地域ぐるみの生活安全・環境事業

環境美化活動(5月6日 柞磨カヤ周辺など 45人)

自主防災訓練：全市一斉防災訓練

(11月25日 有磨小学校 185人)

環境ポスター作成掲示

(2月 学区内ごみステーション啓示)

(4) つなぐ心・人・地域交流事業

ふれあい祭り

(10月27日～28日 有磨小学校 800人)

ふれあいスポーツ：運動会

(9月2日 有磨小学校 1,800人)

(5) 広報紙発行 年2回 有磨公民館

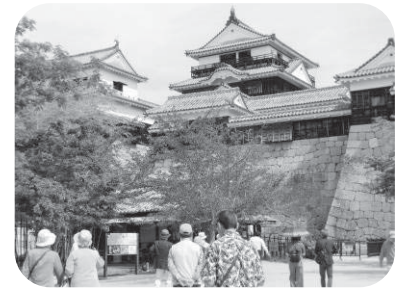
(6) コミュニティ育成事業

地域一斉清掃・交流行事など 通年

(7) まちづくり推進委員会運営事業 通年

* 善行市民表彰の推薦と善行学区民表彰

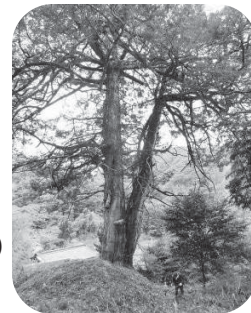
* 選挙啓発



松山城の歴史



ウォーキング



カヤ周辺清掃



自主防災訓練



ふれあい祭り



運動会

成果

各行事を通じた各種団体や地域住民の協働による主体的な取組により、少しずつではあるが地域の活性化を図るための意識を高めることができた。

課題

地域課題の解決に取り組むために、関係機関や各種団体との連携を図り、より多くの住民の力(地域人材)を活用して、情報の共有化を図りながら、幅広い世代の住民参加を促進できるよう取組んでいきたい。

スームアップ!輝くまちづくり

【地域まちづくり計画推進事業】紹介します!

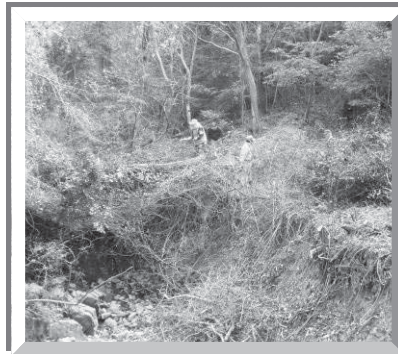
【総務・教育文化部会】

～芦田大谷砂留整備事業～

「郷土を愛し歴史や文化の学習推進事業」として、『芦田大谷砂留整備』をはじめて2年目。6月の現地研修を終え、昨年度からの課題と今年度の整備目標を立てようとしていた矢先…7月の西日本を襲った豪雨により、芦田大谷砂留も甚大な被害を受けました。砂留に向かう道は崩れ、一時は砂留付近へ近付くこともできない状況でした。みんなで力を合わせ頑張ってきたのに…自然の脅威に愕然としましたが人の力ってすごいんです!少しずつ少しずつ…安全を確認しながら、上流から流れ出た瓦礫や土砂を片付けていきました。2年目の作業はマイナスからのスタートだったので、目に見える進歩はさほどではありませんでしたが、砂留を守り後世に残していかなければ!という気持ちは強まったと思います。



👉 6月 現地研修の様子



👉 7月の豪雨で山は崩れ、上流からの瓦礫や土砂で埋まる



👉 少しずつ一歩ずつ…来年度へ繋げていきます!

団体名	福相学区まちづくり推進委員会	代表者	國頭 敬市
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-958-3850 (福田公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| (1) 地域ぐるみのふれあい活動事業 | (通年 公民館ほか 780人) |
| (2) 地域福祉活動推進事業 | (通年 公民館ほか 530人) |
| (3) 里山・里地魅力づくり事業 | (通年 別所砂留ほか 750人) |
| (4) 環境衛生推進事業 | (通年 公民館ほか 210人) |
| (5) 芦田人権啓発事業 | (12月7日～17日 公民館ほか 300人) |
| (6) 安心・安全推進事業 | (通年 学区内) |
| (7) 教育講演会 | (10月21日 福相小学校 70人) |
| (8) 盆踊り大会 | (8月13日 福相小学校 3,400人) |
| (9) 福相学区運動会 | (9月2日 福相小学校 1,300人) |
| (10) ふれあい文化祭(作品展示会) | (10月27日・28日 公民館 650人) |
| (11) 芦田音楽祭 | (11月11日 芦田中学校 670人) |
| (12) コミュニティ育成事業(ゴミ分別・納税推進含む) | (通年) |
| (13) まちづくり推進委員会運営事業 | (通年 公民館ほか) |



地域ぐるみのふれあい活動事業
～おいしいお茶の淹れ方教室～

人権啓発事業
～写真で見る土砂災害～



安心・安全推進事業
～詐欺被害防止寸劇と話～

成果

各種団体や地域住民との協働により、さまざまな事業を実施することで地域課題の解決や地域の活性化を図るための意識を高めることができた。

課題

地域住民に対してまちづくり事業を啓発し、事業推進協力者や参加者の拡大を図りながら、地域課題の解決や活性化につながる事業を展開していきたい。

スームアップ!輝くまちづくり

子どもの居場所づくり

子どもたちにさまざまな「体験の風」を起こそう!
子どもたちが活躍する場をつくろう!と
キッズダンス講座を実施しました!!

5月から8月までの連続講座を実施しました。

楽しく・一生懸命練習を重ね、学区の盆踊り大会や、ご長寿を祝う会で発表しました。また、北部市民フェスティバルのステージ発表にも参加して貴重な体験ができました。

輝く

子どもたちが

楽しむ

自信を持って

活躍する

チャレンジ



「やってみたい!体験」ができた子どもたち…



大勢の参加者とともに



北部市民フェスティバル



高校生との共演!
最後の決めポーズ!!
緊張したけど、がんばりました。

団体名	駅家学区まちづくり推進委員会	代表者	戸田 壯
-----	----------------	-----	------

(問合せ先) 084-976-5417 (駅家公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) まなび広場えきや・学区民大学 (1月 北部市民センター 約300人)
- (2) 健康料理教室 (8月・9月・11月・12月・1月 駅家公民館 97人)
- (3) いきいきサロン事業 (通年 5サロン)
- (4) 環境づくり推進事業 (9月・2月 資源回収)
- (5) スポーツ祭 (12月2日 駅家小学校・駅家南中学校・駅家公民館 約650人)
- (6) 各種競技大会
 グラウンドゴルフ交流大会 (6月13日 駅家運動公園)
 少年少女親善球技大会 (7月16日 駅家運動公園)
 ターゲットゲーム大会 (2月 3日 北部市民センター 135人)
- (7) 「献血」推進事業 (8月30日, 31日/2月12日, 13日
 北部市民センター 駅家町5学区共催事業)
- (8) 安心・安全活動事業 (通年 子どもの通学路の見守り)
 (6月 自転車の正しい乗り方教室 8人)
 (8月 8日 防犯パトロール 23人)
 (8月20日 防犯パトロール 15人)
 (11月 防犯グッズの配布 24人)
- (9) まちづくり文化祭 (9月15日・16日 北部市民センター・駅家公民館 約1,200人)
- (10) 人権啓発推進事業 (通年 住民学習会・講演)
- (11) コミュニティ育成事業 (通年 ごみ分別啓発・納税推進 7町内会)
- (12) 自主防災活動推進事業 [11月4日 自主防災避難訓練 92人(一時避難 5,429人)]
- (13) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 駅家公民館)



成 果

学区内住民において、各事業内容の浸透性も高まっている。各種団体及び町内会もその事業に連動しての行事計画が立てられており、学区内の一体化が来ている。

課 題

学区内人口（世帯）が増加する中、町内会及び育成会の加入率は増えていない。どうしたら加入率を上げられるか、行事に参加してもらえるか等を考慮し、世代間を越えた地域活性化となる事業の推進を考えていかなければならない。

スームアップ!輝くまちづくり

【地域まちづくり計画推進事業】

まなび広場えきや 講演会を開催しました!!

2018年度まなび広場えきや・学区民大学では、NHK広島放送局気象キャスターでご活躍の勝丸恭子さんをお招きし、講演会を実施いたしました。

「天気と天気予報のヒミツ」という演題で、天気の移り変わり・豪雨の前触れ・



勝丸さんの人気ぶりは絶大なもので、小さな子どもからお年寄りまで幅広い年齢の方々が多数参加し、大成功といえる講演会となりました。

最後に勝丸さんは、参加者の皆さんに笑顔と温かい気持ちを置いて帰られました。



天気予報の受け取り方など、厳しい視点でご説明いただくとともにクイズ形式も取り入れた楽しい講演をしていただきました。7月の豪雨は駅家学区でも大きな被害を受けたこともあり、参加者の皆さんは終始真剣に聞いておられました。



団体名	宜山学区まちづくり推進委員会	代表者	中山 伊知郎
-----	----------------	-----	--------

(問合せ先) 084-976-4791 (宜山公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 世代間交流 (9月 北部市民センター 182人)
- (2) 秋のふれあいコンサート (10月 宜山公民館・宜山ひかり保育園 188人)
- (3) ニュースポーツ大会 (11月 宜山小学校運動場 120人)
- (4) 神戸港震災メモリアルパーク&人と防災未来センター現地研修
(11月 神戸 40人)
- (5) 福山市内の戦争遺跡めぐり (2月 福山市内各地 44人)
- (6) 伝統文化継承 (2月 宜山小学校体育館 62人)
- (7) 宜山学区作品展 (2月 宜山小学校体育館 870人)
- (8) 各種講座(親子クッキング, 手話講座, 子どもマナー教室, 陶芸, ハーバリウム,
木版画, 科学実験など) (通年 宜山公民館 延べ361人)
- (9) コミュニティの育成(ごみ分別啓発, 納税推進事業)
(通年 学区内各町内会)
- (10) まちづくり推進委員会運営事業(通年 宜山公民館)



福山市内の戦争遺跡めぐり



秋のふれあいコンサート

成果

2018年度は、7月豪雨による災害が宜山学区内各所で発生し、まちづくり推進委員会で計画していた事業のいくつかを中止する事態となったが、学区内の各種団体や広範な地域住民の協働作業により、さまざまな行事を実施することができた。

それにより、地域住民相互の交流を深めるとともに、課題解決に向けた意識の高まりにつながることができた。

課題

各種の事業を実施する際には、世代や性別を越えた、より広範な参加を求めるために、まちづくり推進委員会および各部会において、より積極的・主体的な取組を進める必要がある。

スーパァッフ!輝くまちづくり

【地域まちづくり計画推進事業】

「大久野島 現地平和学習」を実施しました

8月11日、小学生と保護者を対象に、大久野島現地平和学習を実施しました。ボランティアガイドの説明を聞きながら、大久野島に残る毒ガス製造の遺跡などを見学しました。

参加した子どもたちは、事後の感想文に、「戦争はこわいことだと思った」「大久野島であったことを、みんなに伝えたい」と書いていました。



見学のようす

【地域まちづくり計画推進事業】

「クリーンウォーキング」を行いました

11月11日、クリーンウォーキングを行いました。今回は、学区内にある福祉施設を訪問しながらのウォーキングでした。

道路や周辺のごみを拾いながら歩き、訪れた施設を見学して、それぞれ施設の内容などの説明を聞きました。

暖かい一日で、全員最後まで歩くことができました。



当日のようす

団体名	駅家西学区まちづくり推進委員会	代表者	高本 俊徳
-----	-----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-976-2542 (駅家西公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

(1) ふれあい事業

- ・第28回納涼盆踊り大会 (8月4日 駅家西小学校 約2,000人)
- ・あいさつ運動 (通年 毎月17日2箇所て声かけ実施)
- ・稲作体験 (田植え, 稲刈り) 駅西小5年生を対象に実施



(2) 二子塚古墳整備人材育成事業

- ・古墳清掃 (年3回 古墳周辺 延べ200人)
- ・ふるさと学習会 (年6回 駅家西公民館 延べ82人)
- ・ガイドボランティアの派遣 (通年)
- ・教養講座 (年2回 駅家西公民館ほか 延べ56人)



(3) 健康事業

- ・学区民運動会 (4月22日 駅家西小学校 1,500人)
- ・健康ウォーキング (6月 3日 堂々公園 191人)
- ・スポーツ祭 (10月21日 駅家西小学校ほか 144人)
- ・疲れのない体づくり (2月24日 駅家西小学校 84人)
- ・各種スポーツ大会への参加



(4) 生活環境事業

- ・ゴーヤの苗配布 (5月20日 駅家西公民館 168人)
- ・芦田川一斉清掃 (6月 3日 近田橋付近 60人)
- ・省エネ学習会 (7月25日 駅家西公民館 23人)
- ・エコクッキング (9月29日 駅家西公民館 30人)
- ・福山市環境関連施設バス研修 (11月14日福山市汚泥再生処理センターほか 41人)

(5) 生活安全事業

- ・見守り新鮮情報, 子どもサポート情報の提供 (毎月1日・15日に回覧)
- ・子ども見守り連絡会 (8月28日 駅家西公民館 32人)
- ・安全パトロールステッカー運動 (通年)



(6) 人権啓発事業

- ・研修会の実施・参加 (通年)
- ・住民学習会の実施

(7) 自主防災事業

- ・視察研修 (7月 5日 (株)モリタほか 33人)
- ・防災座談会 (9月 1日 駅家コミュニティセンター 111人)
- ・防災訓練 (11月 6日 駅家西小学校〈児童対象〉 348人)

(8) 献血活動事業 (駅家町5学区共催事業)

(8月30日~31日, 2月12日~13日 北部市民センター)

(9) コミュニティ育成事業

- ・環境整備, とんど, 水路清掃ほか (通年)

(10) まちづくり推進委員会運営事業 (通年)



成果

各種団体や地域住民との協働により様々な事業を実施することで地域の活性化に向けた活動を継続できている。

課題

駅家西学区まちづくり推進委員会の活動目標である「人と人が出会い、つながり、安心して暮らせるまち 駅家西学区」をめざして、更に地域づくりを進めていく必要がある。

スームアップ!輝くまちづくり

防災座談会～平成30年7月豪雨から学ぶ～

防災の日9月1日、参加者111人

防災座談会を実施致しました!

芦品消防署の藤原浩署長より今回の災害状況と対応状況を聴講、その後町内会ごとにグループワークを行い、今回の状況と今後の対策について話し合い、各町内会の意見を発表し学区全体で情報を共有しました。



◆今回の災害に学んだこと!◆

- ・自分の命は自分で守る
- ・情報を理解し早めの行動が必要
- ・ご近所同士の声掛けの大切なこと
- ・日頃より家族や近隣の人と話あうこと
- ・避難の備えは出来ているか
- ・災害非常持ち出し袋の準備点検をする
- ・今回の災害を忘れないことも重要

◆今回の防災座談会をとおしてあらためて身近におきた災害を自覚しました。

【 自助、共助、公助 】の連携を深める大切さを感じました。

今後も継続して駅家西学区全体で防災、減災について学習していきたいと思えます。



団体名	服部学区まちづくり推進委員会	代表者	佐藤 博正
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-978-0810 (服部公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 世代間交流事業
 - ・ グラウンドゴルフ大会 (11月4日 福山市グラウンドゴルフ場 約100人)
 - ・ 駅伝&ウォーキング大会 (2月17日 服部学区内 約300人)
- (2) 防災訓練 (11月25日 服部小学校・各地域 約300人)
- (3) 服部学区運動会 (5月27日 服部小学校運動場 約100人)
- (4) 文化保存事業 (毎月第2木曜日 服部会館 延べ約200人)
- (5) 盆踊り (豪雨のため中止)
- (6) 文化祭 (9月16日 服部小学校体育館 約150人)
- (7) 学習会

手作りクラブ, 料理教室, 夏休み教室, 寄せ植え, 陶芸教室, 味噌づくり, クリスマス会, 講演会ほか (服部公民館 延べ約500人)
- (8) 駅家まちづくり献血事業 (8月30日, 31日/2月12日, 13日)
- (9) 環境づくり (通年 公民館・永谷下バラ花壇)
- (10) ボランティア・福祉活動
 - ・ 餅焼き集会 (1月11日 服部小学校 約80人)
 - ・ 一人暮らしの方へのおこわ作り (2月3日 服部公民館 約30人)
- (11) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 服部公民館)
- (12) 地域まちづくり計画に基づく事業

ほたる祭り (6月2日 服部小学校 約2,000人)



夏休み 絵画教室



川の生き物観察



手作りクラブ
“花の寄せ植え”

成果

ほたる祭りや駅伝&ウォーキング大会などの行事を通じて、各種団体や地域住民の協働による自主的・主体的な活動を実施することで、地域の課題解決や地域の活性化を図るための意識を高めることができた。

課題

行事の参加者が固定化している。世代間交流が持てるような事業を促進できるよう広報活動等に取り組んでいきたい。

スーパァッフ!輝くまちづくり

第27回ほたる祭りを開催しました!

今年度も大賑わいでした。保育所児童の合唱、小学生児童のほたる学習発表・ダンスで会場一杯の人たちと感動と喜びを共にしました。



お天気にも恵まれて、屋台も大盛況でした



服部南保育所児童合唱



服部小学校5年生環境学習発表



服部のアイドル HTR19 ダンス



Team-smile ダンス



備後しんいち踊り隊よさこい踊り



Performer-Syunya 大道芸



今年も賑やかに行われたピンゴゲーム大会

大池周りの環境整備作業を行いました!

「みんなでふるさとの玄関を明るくしよう!」服部大池付近の県道沿いの雑木等を伐採。町内会長、土木常設員など有志の方々がボランティア清掃に汗を流されました。



服部小学校のもちやき集会のお手伝いもしています

服部小学校のもちやき集会でも、地域の役員さんの活躍で立派なやぐらができあがりました。点火後は、小学生児童の書き初めが空高く舞い上がるのをみんなで見守りました。



全員集合 はいチーズ★



団体名	駅家東学区まちづくり推進委員会	代表者	豊田 真人
-----	-----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-972-4842 (駅家東公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) ふれあい教養講座 (17回 駅家東公民館ほか460人)
- (2) 子ども育成運動 (通年)
- (3) 公園整備事業 (6/4 せせらぎ川周辺整備 20人)
城ヶ谷ほたる・ソーメンを楽しむ会 (6/9 250人)
小豆田池周辺 (3/24 8人)
- (4) 高齢者ふれあい事業 (8月~2月 駅家東公民館ほか)
カラオケ大会第1回 (8月 27人, 2月 25人)
高齢者ふれあいグラウンドゴルフ大会 (11月 100人)
グラウンドゴルフ大会 (11月 100人)
ゲートボール親善大会 (11月 45人)
- (5) 盆踊り大会 (8/4 駅家東小学校 1,000人)
- (6) 郷土文化保存活動 (6月と3月 古墳周辺整備 各12人)
- (7) 文化祭 (11/17 駅家東公民館 550人)
- (8) 運動会 (9/30) 駅家東小学校 450人)
- (9) ばら育成活動 服部大池ふれあいばら花壇 (通年 350人)
ばら講習会 (2/14 15人)
- (10) コミュニティ育成 (通年) (ごみ分別啓発, 納税推進活動)
- (11) まちづくり推委員会運営事業
(4/13 理事会15人, 4/22 役員総会35人, 2/23 理事会15人)
- (12) 地域の環境づくりに取組む事業 (通年)
(9/2 小豆田池土手草刈 40人)
(2/17 服部大池土手草刈 70人)
- (13) 健康づくりに取組む事業
健康ウォーキング in 多々羅大橋&今治上 (5/24 56人)
駅家地区献血活動 (8月, 2月)
- (14) 交通安全・防犯・防災活動
地域安全マップ作成 (6/8)
自主防災組織防災訓練 (6/17 駅家東小学校 500人)
福山市総合防災訓練参加 (11/25 駅家東公民館 50人)
各町内ごとに防災マップの点検・修正 (2月~3月)



ふれあい教養講座
(かんたんスマホ講座)



高齢者ふれあい事業
(グラウンドゴルフ大会)



盆踊り大会



公園整備事業
(城ヶ谷ほたる・ソーメンを楽しむ会)



成果

健康ウォーキング in 多々羅大橋&今治城

- ・ふれあい教養講座での多様な研修を通して、個々の教養を高めたり、子どもの健全育成に関わったりすることができた。
- ・公園整備事業や地域の環境づくりに取り組む事業を通して、環境改善やごみステーション、地球温暖化防止等の環境の維持、整備をすることができた。
- ・高齢者ふれあい事業、ばら育成活動を通して、高齢者のコミュニケーションや健康の増進、人間関係の深まりを図ることができた。
- ・盆踊り大会や文化祭等を通して、地域住民のコミュニケーションや絆を深めることができた。
- ・防災マップの見直しや自主防災組織防災訓練等を通して、防災、減災に関する意識や行動力を高めることができた。
- ・各種会議の精選を行い、役員の負担の軽減と効率的、効果的なまちづくり推進を行った。

課題

- ・講座や行事，活動への参加者が固定化したり，少なくなったりしている。多くの住民が気軽に参加し，地域住民の親睦と絆が深まるように，会議，行事等の内容，運営を工夫していく。

スームアップ!輝くまちづくり

《目 標》地域のつながりを高め活力ある明るいまちをつくろう

《基本方針》まちづくりの主人公である駅家東学区住民によるまちづくりの将来像を示し，今後のまちづくり活動の指針とする。

《目標年次》2015年度（平成27年度）から2019年度（平成31年度）の5年間

《まちづくり活動の展開》

(1) 活力・にぎわい・健康で
つながりを高める

(2) 福祉を高める

(3) 安心・安全の推進

■地域安全マップの作成

(4) 歴史・文化の継承

■文化財保存活動

掛迫古墳，掛迫城址

の整備活動6月，3月)

(5) 青少年の健全育成

(6) 環境の改善

■ばら育成活動

(通年 服部大池ばら

花壇の整備)

(7) 人権推進



学区民運動会練習
(運動会に向けて「ダンシング
ヒーロー」を地域のみなさんと
いっしょに練習しました)



「ふれあい文化祭」でメ
キシカンローラちゃんの
顔だしパネルを作り
ました。



地域安全マップ作成
(駅家東小学校4年生と地域のみなさんで
地域安全マップを作りました)



防災・減災研修
(防災マップの点検
・修正作業)



人権啓発活動
(住民学習に向けて実行委員
会で事前研修をしました)



服部大池ばら花壇整備
(服部大池ばら会のみなさんを
中心にみんなが憩える公園整備)



「ダンシングヒーロー」を
盆踊り大会で踊ろう!

団体名	加茂学区まちづくり推進委員会	代表者	小林 弘志
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-972-5541 (加茂公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 第22回加茂ふれあい文化祭(11月11日 加茂中学校 2,000人)
- (2) 加茂学区まちづくり功労者表彰(11月11日 加茂中学校 3組)
- (3) 加茂谷の史跡めぐり(1月19日 加茂町内 21人)
- (4) 第10回加茂知っとる検定(2月8日・9日 加茂中学校ほか 209人)
- (5) 「協働のまちづくり」のPR(講演会 2月6日 加茂福社会館 64人)
- (6) コミュニティ育成事業(通年)
- (7) 広報紙発行(通年)
- (8) まちづくり推進委員会運営事業(通年)
- (9) 芸術鑑賞会(7月19日 加茂中学校 317人)
- (10) 子ども会書道大会(11月3日 加茂公民館 60人)
- (11) 親子が楽しめるイベント開催(7月28日 加茂小学校 900人)
- (12) 第10回加茂学区駅伝・マラソン大会(11月17日 加茂学区内 363人)
- (13) しめ縄づくり(12月22日 加茂公民館 26人)
- (14) お年寄りをお招きする会(3月13日 加茂中学校 143人)
- (15) 花いっぱい運動(6月2日・12月1日 学区内 延べ210人)
- (16) 学区見守り活動(3月 協力者の募集及び協力者への帽子・ベストの配布)
- (17) 家庭ごみの分別の周知徹底(啓発ちらしを自治会加入世帯全戸に配布 年3回)
- (18) ごみの野焼き防止対策(啓発ちらしを自治会加入世帯全戸に配布 年3回)
- (19) 交通安全対策(啓発用電柱幕等の設置・講演会 3月23日 加茂学区内 延べ37人)
- (20) グラウンドゴルフ大会(6月13日・10月3日 加茂公園野球場 延べ239人)
- (21) ゲートボール大会(7月6日・11月2日 中組ゲートボール場 延べ22人)
- (22) 救命救急法講習会(9月2日 加茂福社会館 23人)
- (23) 「ペタンクゲーム」を楽しもう(10月20日 加茂公園野球場 40人)
- (24) ノルディックウォークで健康づくり(10月13日 学区内 16人)
- (25) 認知症講座(2月16日 加茂福社会館 40人)
- (26) 高齢者が多くの人とふれあえる場の提供
 [囲碁将棋大会等 9月18日・11月14日・1月21日・2月28日]
 [加茂福社会館ほか 延べ203人]
- (27) 成年後見制度の理解と推進(講演会 7月21日 加茂福社会館 23人)
- (28) 健康づくり講座(9月28日 加茂福社会館 20人)
- (29) 公共施設のあり方を考える(広報紙発行等 通年)
- (30) 記念行事基金積立事業



第10回加茂知っとる検定



花いっぱい運動
(12月 花の植替え作業)



第22回加茂ふれあい文化祭

成果

さまざまな行事を実施する中で、協働のまちづくりが学区内に浸透し、それぞれの団体において、まちづくり事業の主管団体としての自主的・主体的な活動が実施でき始めている。

課題

「加茂学区まちづくり計画」の趣旨をふまえ、計画期間内に全事業の目標が達成できるよう取り組む必要がある。

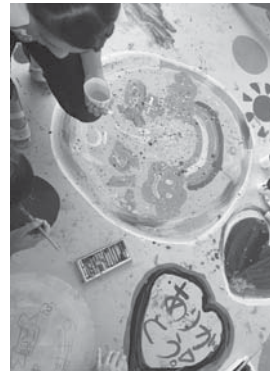
スームアッ!輝くまちづくり

親子が楽しめるイベント開催!! (校舎の思い出プロジェクト ~加茂小学校大感謝祭~)

2018年(平成30年)7月28日(土)、加茂小学校の南校舎に思い出を描く『校舎の思い出プロジェクト~加茂小学校大感謝祭~』が開催されました。

この度、新校舎建設のため取り壊しが決まった校舎は、1962年(昭和37年)学区内にあった各小学校を統廃合し、現在の場所に移転してから50年以上にわたって、多くの卒業生を送り出してきました。

加茂小学校PTAが主体となって進められたプロジェクトには、今までの感謝をこめて思い出を描こうと在校生を始め卒業生や保護者を含め900人の参加があり、参加者は、絵具やクレヨンを使って校舎の壁や窓に思いの絵を描き、記憶にも、記録にも残る大切なイベントとなりました。



加茂小学校 校舎の思い出プロジェクト
思い出を描こう!
加茂小学校大感謝祭 ~Love & Peace~
写真に残そう!
建替えになる校舎に「壁面を描き」「写真に残す」
「思い出づくり」プロジェクトです。

参加 無料
日程 2018年7月28日(土)
時間 8:30 開始 8:40 終了 12:00
場所 加茂小学校 南校舎

忘れてはいけない思い出!
思い出に残すために
保護者やPTAの活動などの
思い出や写真・イラストなどを
壁面に描き残すことで
思い出を永久に残す!

加茂学区まちづくり推進事業(主催) 加茂学区まちづくり推進委員会(主催) 加茂小学校 PTA
【協賛】 Debut 4476株式会社 Camellia キャンパステックシステム株式会社
まちバスポイント50p (「まちバス」ある子は持って来てね!)



団体名	広瀬学区まちづくり推進委員会	代表者	瀬良 好史
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-972-2171 (広瀬公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- | | | | |
|--------------------|-----------|-------------|----------|
| (1) 広瀬学区民運動会 | (5月27日) | 広瀬中学校グラウンド | 約300人) |
| (2) ひろま | (6月2日・3日) | 広瀬公民館周辺 | 約2,000人) |
| (3) 奉仕作業(除草) | (6月10日) | 学区周辺 | 30人) |
| (4) 広瀬学区民夏祭り | (8月14日) | 広瀬中学校グラウンド | 約700人) |
| (5) かぼちゃ大鍋を囲むつどい | (12月5日) | 広瀬小学校体育館 | 約200人) |
| (6) とんど | (1月11日) | 広瀬グラウンドゴルフ場 | 約160人) |
| (7) まちづくり推進委員会運営事業 | (通年) | 公民館) | |



おじいちゃんも、おばあちゃんも ★
 おまわりさんも、消防団員も ☆
 おとうさんも、おかあさんも、学校の先生も ★
 広瀬の運動会は、みんなが主役！ 熱い一日で盛り上がります！！

成果

学区民運動会などの行事を通して、『広瀬』ならではの特色ある事業が展開され、地域・保育所・小学校・中学校が一体となり、地域の絆がより一層深まった。

年間行事もほぼ定着化してきており、行事計画についても、関係機関との連携が密に図られ、内容も毎年創意工夫されている。

課題

まちづくり推進委員会を中心に、小規模学区の地域事情を加味した、魅力ある事業を継続していくため、今後も協働事業に対する、より多くの理解と協力を啓発していく必要がある。

スームアップ!輝くまちづくり

【地域まちづくり計画推進事業】

広瀬学区

第4回「ひろま」開催しました!



太鼓のステージ
演奏者：原田嘉子さん



広瀬小学校和太鼓
クラブを指導して
くださっています

6月2日・3日（土・日），広瀬公民館周辺にて第4回「ひろま」が開催されました。約2,000人の来場者が訪れ、「ライブ」「ワークショップ」「クラフトマイスター」「うまいもんひろば」などのブースが勢ぞろい。賑やかな2日間となりました。

ひろま実行委員会や地域の皆さまのご理解・ご協力により、今年も「ひろま」が盛会裡のうちに幕を閉じました。



たくさんのブースが揃って、
見ごたえバッチリ!



折り紙・新聞紙で遊ぼう!
のコーナー



たくさん設けたはずの
食堂は満員御礼~!



おいしそう~!

団体名	山野まちづくり推進委員会	代表者	井上 吉弘
-----	--------------	-----	-------

(問合せ先) 084-974-2851 (山野公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 山野ほたる祭り(6月9日 山野農村公園 600人)
- (2) ばらづくり講習会(3月4日 山野公民館 8人)
- (3) 資源再利用研修会(9月14日 エフピコふくやまりサイクル工場, JFE 環境株式会社 箕沖リサイクル工場 16人)
- (4) 子どもの遊び道具づくり講習会(7月26日 山野小学校 17人)
- (5) 人権啓発研修会(1月25日 福山市人権平和資料館 福山城近隣 12人)
- (6) 山野ふれあい夏祭り(8月13日 山野中学校グラウンド 200人)
- (7) 地域清掃作業(9月~10月 山野町内各所 50人)
- (8) グラウンドゴルフ大会(10月27日 山野農村公園 19人)
- (9) 水車と語りん祭(10月22日 水車の里こっとな村 600人)
- (10) 注連縄づくり講習会(12月2日 山野公民館 15人)
- (11) 防災訓練(3月17日 各地域, 山野農村公園 300人)
- (12) ふれあい教室(11月19日 切り絵講習会 10人,
2月12日 春待ちコンサート30人)
- (13) まちづくり推進広報事業
- (14) まちづくり推進運営事業



防災訓練



人権啓発研修会～福山市人権平和資料館と福山城近辺の戦争遺構見学～

成果

子どもの遊び道具づくり講習会, 注連縄づくり講習会, 資源再利用研修会などの行事を地域団体や小中学校と連携し, 開催することにより子どもから高齢者まで幅広い年齢層の参加が得られ, 交流を深めることができた。

課題

イベント, 行事の運営スタッフの高齢化, 少数化。新たな人材の育成が急務。

みんなの笑顔が集まる場所、おやまのかふえが開店!!



週1回、水曜日のJA山野出張所隣のスペースで、9時30分～11時30分まで開店しています。

毎回、50人ほどの参加があり、思い思いに楽しいひとときを過ごしています。

魚屋さん、たこ焼き屋さん、パン屋さん、移動販売のお店も出店して、ちょっとしたお買い物もできます。



蕎麦を食べて楽しむ会 開催



福祉を高める会主催の「蕎麦を食べて楽しむ会」は、高齢者の皆様をお招きして毎年2月に開催しています。

保健師さんからの話を聞いたり体操をした後は、おいしい手打ち蕎麦をいただきます。ソバ粉はやまの里山クラブが栽培したものを使い、地域の蕎麦打ち名人たちが腕を振ります。

食事のあとは楽しいアトラクション!

動いて、食べて、笑って……。毎年大好評です!

団体名	しんいち学区まちづくり推進委員会	代表者	河上 正次
-----	------------------	-----	-------

(問合せ先) 0847-52-5546 (新市公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 「地域防災計画」の作成・地域防災訓練～福山市一斉防災避難訓練 (参加率20.9%)
(11月25日 学区内20単位各町内会 1,091人
新市小学校で研修会 200人)
- (2) 三世代、世代間交流事業(友愛訪問)※学校元気大賞受賞
(1月27日～新市小学校1・2・3年生がメッセージを書き、4・5・6年生と保護者が学区の福祉を高める会の手作りの配食弁当で友愛訪問～配食数89食)
- (3) 支えあいサミット2018(地域福祉研修大会)
(7月11日 支えあいサミット in 福山 沼隈サンパルホール 23人)
- (4) 地域づくり作品発表会 (2月3日 新市公民館まつりと作品発表会 500人)
- (5) 卒業記念植樹～“ヤマボウシ”を卒業生と地域、教師で記念植樹
(2月22日 新市小学校グラウンド 卒業生49人/地域16人 ほか教師)
- (6) まち興し(リーダー研修会)
(6月14日 井原市平櫛田中美術館, アマノフーズ 20人)
地域福祉(リーダー研修会)～先進地の事例研修 (7月6日 熊野町社協 20人)
- (7) 地域環境美化～新市小学校5・6年生と地域のみんなでごみ拾い
(11月26日 新市学区内 5・6年生85人, 教師6人, 地域25人)
- (8) キャンドルナイトコンサート (10月6日 新市公民館 150人)
- (9) 大佐山公園づくりと花壇整備 (3月15日 大佐山公園および中央緑地公園～ボンボリ設置 300人/2月22日 染井吉野桜苗植樹 10人/8月1日 花壇芝桜手入れ通年 6人)
- (10) 新春登山～餅と飴湯接待, 新年御礼と初日の出を仰ぐ (元日 相方城山 450人)
- (11) しんいち春まつり (3月24日 しんいち中央緑地公園 800人)
～テント村やイベント等開催, とん汁無料接待 300食
- (12) 学区民運動会 (5月27日 新市小学校 児童・地域450人)
- (13) 献血活動 (4月14日 新市学区内 20人～30人)
- (14) 公衆衛生推進活動 (7月5日 環境夏期研修 1人)
- (15) 2020”東京オリンピック記念事業積立金(初年度)
- (16) まちづくり推進委員会運営事業(通年, 新市学区他)
- (17) 福山明るいまちづくり会費

●○地域まちづくり計画推進事業○●

- (1) ヤングボランティアスクール (9月7日 新市老人福祉センター及び, ジョイトピアおおさ他 新市小学校4年生26人)～疑似体験(車イス・アイマスク・白杖など)や老人施設慰問により入所者や通所者との交流を図る。
- (2) 一人暮らし介護者の集い
KIRAKIRA 夏まつり (8月4日 新市小学校グラウンド 一人暮らし招待者31人)
手作り食事会 (10月21日 一人暮らし37人, 福祉委員19人)
手書き年賀状～一人暮らしと介護者へ (11月15日 110枚)
- (3) 広報誌 しんいち藍まちづくり発行(4回/年と特報 全戸配布)
- (4) 健康づくり
健康講座「生活習慣病と予防」について (10月16日 瀬尾 純先生)
史跡巡り (2月17日 60人)

成果

すべての行事を通して、まちづくりの内容が緩やかに理解できる方向で進んでいる。事業の推進母体の要は「町内会長会」「福祉を高める会」「小学校PTAOB会」での組織が確立できていることが頼りになる。

課題

行事内容等について一層の広報活動を充実する取組をする必要もあるが、多くの住民は切迫感が無く、イベント（行事）への参加は高齢者が多くなっている。若年層はあまり関心が無いようである。

スームアップ!輝くまちづくり



新春 元旦祭（城山山頂）



地域のごみ拾い



先進地視察研修（熊野町社協）



春まつり（中学校OBのブラスバンド）



夏まつり（一人暮らし招待）



ヤングボランティアスクール



一人暮らし食事会



配食弁当

団体名	網引学区まちづくり推進委員会	代表者	小原 一三
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 0847-52-5540 (網引公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) スポーツ交流会 (5月～3月 新市中央運動場他 約1,100人)
- (2) 公衆衛生活動事業 衛生だより発行(毎月)
- (3) さわやか運動教室と食生活改善推進
- (4) 三世代交流と在宅高齢者及び一人暮らし高齢者訪問(通年 学区内1,200人)
- (5) 防火訓練 (1月27日 吉備津神社 約260人)
- (6) 地域文化の発掘(講演・探訪)(10月28日 歴史ウォーキング 約200人)
- (7) 広報誌「自治会だより」「ふれあいあびき」「女性会だより」発行
- (8) パブリックギャラリーあびき 展示管理(通年 網引公民館)
- (9) あびき夏祭り (8月5日 網引小学校 約3,500人)
- (10) 網引ふれあい祭り (10月14日 網引小学校・網引公民館周辺 約3,500人)
- (11) 音楽鑑賞 (2月22日 吉備津神社参集殿 約200人)
- (12) あびきみまわり号によるパトロール活動 (通年 網引学区内 600人)
- (13) ばら花壇づくり及び管理 (通年 各ばら園 800人)
- (14) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 網引公民館)
- (15) 「小字名 立看板」の制作と設置(最終制作 321基)



小字名 立て看板



あびき夏まつり

成果

様々な諸行事を行うことにより、地域の課題も見え自主的に解決して行く力が出てきた。また、多くの人々が諸行事に参加することにより人とのコミュニケーションが深まり網引学区の発展の大きなエネルギーになっている。

課題

参加者や協力者が固定化されており、より多くの住民・若者の参加が望める取組が必要である。

スームアップ! 輝くまちづくり

●安心・安全

だれもが安心して住んで良かったと思われるまちづくりをすすめる。

- ・あびきみまわり号によるパトロール
- ・防火・防災訓練
- ・通学路の見守り・声かけ活動



みまわり号パトロール

●環境

学区の特色・強みである文化財環境の整備に努める。

- ・御池の清掃
- ・ごみ減量活動の実施
- ・ばら花壇の管理
- ・情報環境整備
- ・公衆衛生活動



御池の清掃活動

●活力

連帯感があり、住みやすい実感の持てるまちの実現をめざす。

- ・各関連部署の広報だよりの発行
- ・あびき夏祭りの実施
- ・学区ポイント制度の実施



一の宮防火訓練

●福祉

子どもからお年寄りまでが孤立することなく、安心して生活できるまちづくりをすすめる。

- ・スポーツ交流会の実施
- ・さわやか運動教室と食生活の改善
- ・三世代交流の実施・一人暮らしの訪問
- ・いきいきサロン活動の推進



生活改善料理教室

●教育・文化

子どもからお年寄りまで学区の歴史を学び、後世に伝えながら人材教育に努める。

- ・講演会の実施
- ・歴史探訪と健康ウォーキング
- ・あびきふれあい祭りの実施
- ・音楽鑑賞の実施
- ・パブリックギャラリーの活用



歴史探訪

団体名	戸手学区まちづくり推進委員会	代表者	馬屋原 一成
-----	----------------	-----	--------

(問合せ先) 0847-52-5539 (戸手公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- | | |
|------------------------------|---------------------------------------|
| (1) グラウンドゴルフ大会 親睦大会 | (6月 2日 芦田川河川敷緑地公園 111人) |
| 納涼大会 | (8月 1日 戸手小学校 79人) |
| (2) 女性研修 | (6月 10日 戸手公民館 31人) |
| | (9月 24日 しまね海洋館アクアス他 40人) |
| (3) 福祉教育事業 高齢者疑似体験 | (6月 18日 戸手小学校 95人) |
| (4) 環境教育事業 | (30年度通年 戸手学区全域 延べ200人) |
| (5) ユニカール大会 | (7月 22日 戸手小学校 61人) |
| (6) ヤングボランティアスクール | (10月 5日 戸手小学校・
ジョイトピアおおさ・しんいち 89人) |
| (7) 戸手学区ふれあい祭り | (10月 15日 戸手小学校 延べ2,500人) |
| (8) シャフルボード大会 | (11月 24日 戸手公民館 64人) |
| (9) 文芸作品展示会 | (12月 1日～3月 22日
戸手公民館 延べ300人) |
| (10) 健康ウォーキング | (12月 8日 戸手公民館⇔富谷運動公園 29人) |
| (11) ふれあい事業 | (12月 1日 戸手学区全域) |
| (12) 三世代交流会・交歓会 | (2月 3日 戸手公民館 45人) |
| (13) 女性スポーツ大会 | (2月 11日 戸手小学校 45人) |
| (14) 環境整備事業(不法投棄回収活動) | (2月 10日 戸手学区内 60人) |
| (15) まちづくり講演会 | (2月 9日 戸手公民館 107人) |
| (16) 子育て支援事業 | (毎月第2金曜日 戸手公民館他 延べ110人) |
| (17) 広報活動『ふれあいとで』発行 | (年6回発行 全戸配布) |
| (18) 生活安全活動事業 | (30年度通年 戸手学区全域 延べ2,000人) |
| (19) お困りごと相談電話事業 | (30年度通年 戸手学区全域 延べ200人) |
| (20) 地域環境対策事業 | (30年度通年 戸手学区全域 延べ70人) |
| (21) 環境整備事業(グリーンカーテン・ばら整備事業) | (30年度通年 戸手学区 延べ200人) |
| (22) コミュニティ推進事業 | (上戸手 三世代交流もちつき 12月 9日) |
| (ゴミ分別・納税推進含む) | (中戸手 中戸手メダカまつり 8月 19日) |
| | (下戸手 下戸手夏まつり 8月 25日) |
| (23) 団体負担金(明るいまちづくり) | (11月 22日) |
| (24) まちづくり推進運営事業 | (30年度通年 戸手学区全域) |



《文芸作品展示会》



《環境教育事業》



《ユニカール大会》

成 果

第1回シャフルボード大会を開催しました。ニュースポーツは新鮮さと気軽に参加できるという利点があり、体力不要で個人参加者で構成したチームでも上位入賞できるなど、地域交流の絶好の機会となりました。

課 題

役員の固定化などで、負担が多くなってきている。次世代につなげられるような体制づくりに取り組む必要がある。

スーパァッフ!輝くまちづくり

戸手学区

まちづくり講演会を開催しました!!

戸手学区では、日頃なかなかホンモノに触れる機会が少ないので、学区に演劇・演奏・落語など芸能活動をされている方をお招きし、まちづくり講演会を行っています。

2018年度は津軽三味線の奏者にお越しいただき、津軽三味線演奏会を開催しました。会場となった公民館集会室は予想をはるかに超える107人の参加者で超満員!南は奄美の島唄や沖縄民謡から、北海道民謡まで戸手の地にいながら日本一周することができ、張りのある三味線の音色や響きのある民謡・民謡太鼓で老若男女の感動の渦となりました。

生の演奏がとても良かった!ぜひまた聴きたい!という感想が多数あり、これからは繋げていこうと思います。



《家族5人息のあった力強い演奏!!》
～やこちゃんの踊りにもおもわず
ニッコリ (*^_^*)～

《迫力のある演奏に参加者も感動!》



団体名	常金丸学区まちづくり推進委員会	代表者	大谷 修
-----	-----------------	-----	------

(問合せ先) 0847-57-8135 (常金丸公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) にっこり笑おう会 (8月20日 各自治会集会所 200人)
- (2) 子育て支援事業 (通年10ヶ所 常金丸公民館 80人)
- (3) 小地域三世代交流 (通年12ヶ所 各自治会集会所 480人)
- (4) 小学校低学年地域の人々との交流 (通年9回 常金丸小学校 600人)
- (5) 世代間交流 グラウンドゴルフ (3月3日 常金丸小学校 110人)
- (6) ヤングボランティア研修体験学習(6月22日・10月15日 交流館ほか 80人)
- (7) 福祉関係研修会 (11月20日 交流館つねかねまる 40人)
- (8) 常金丸学区防災訓練 (10月28日 常金中学校グラウンド 500人)
- (9) 学区夏まつり (8月5日 常金中学校グラウンド 1,000人)
- (10) 学区ふれあいまつり (11月10日・11日 常金中学校 1,000人)
- (11) ゴミ0プロジェクト(5月26日・7月14日・11月10日・3月23日 300人)
- (12) 公衆衛生事業 (11月25日 川井谷クリーン作戦 50人)
- (13) 情報誌発行 (年6回発行 学区内)
- (14) 地域住民対象講演会 (11月10日 常金中学校 200人)
- (15) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 常金丸公民館)



わがまちゴミ0ウォーキング



常金丸学区災害時避難支援並びに防災訓練



ゴミ0ウォーキング



夏まつり



ふれあいまつり

成果

各団体の行事を、まちづくり所属団体の役員もお手伝いすることで、つながりが深まり、地域の活性化につながった。

課題

恒例行事がマンネリ化しないよう内容工夫する。

常金丸学区

地域住民対象講演会で生の落語を聞きました!!

住民対象講演会に、立川志の輔一門の落語家、立川志の太郎さんをお迎えし、落語の高座を開催しました。

志の太郎さんのお父様が常金丸出身というご縁で、講演会が実現し、ふれあいまつりのイベント内で講演会を行いました。

幅広い世代の方、200人余りが来場し、普段触れることのない生の落語を楽しみました。



講演後の記念撮影

キクちゃんを育む会が発足!!

菊の里として、現在も小中学生が授業の中で菊を育て、菊作りの心と技術を受けついでいる常金丸学区。

そんな菊作りをしている中学生が地域をもっと盛り上げ、多くの人に菊をアピールしたいとマスコットキャラクター『キクちゃん』を考案しました。

「キクちゃんをローラちゃんの妹分にして欲しい」と枝廣市長に提言したり、常金丸学区まちづくり推進委員会に着ぐるみやホームページのアイディアを紹介したりする中で、学区として「キクちゃんを育む会」を発足しました。

今後、公民館だよりや学校だより、まちづくりの各行事でキクちゃんをアピールし、“菊の里 常金丸”を町内外に広めていきます。



キクちゃんのプラ板ストラップを作る中学生↑



キクちゃん

団体名	引野学区まちづくり推進委員会	代表者	山本 隆
-----	----------------	-----	------

(問合せ先) 084-941-6665 (引野公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 福祉活動事業
 - ① 研修旅行 (9月20日 43人) ②おもちゃサロン (月1回 引野集会所)
 - ③ 高齢者救急医療キットの製作 (敬老会にて配布 700人)
- (2) 安心安全事業 消火訓練 (8月5日・19日 JFE20周年グラウンド 27人)
- (3) 公衆衛生事業 環境講演会 (6月24日 引野公民館 40人)
- (4) 環境整備事業 川掃除 (11月10日 学区内河川 200人)
- (5) 交通安全事業 子ども見守り隊 (通年 引野小学校通学路 延べ1,200人)
- (6) ふれあい事業
 - ① 盆踊り大会 (8月4日 引野小学校 600人) 練習日 (7月26日・31日)
 - ② 学区大運動会 (10月14日 引野小学校グラウンド 1,200人)
 - ③ 芸能祭 (11月4日 引野小学校体育館 500人)
 - ④ しめ縄作り (12月22日 引野集会所 57人)
 - ⑤ とんど祭り (1月12日 引野小学校グラウンド 400人)
 - ⑥ 東部文化フェスタ (3月2日・3日 東部市民センター)
- (7) 文化教養事業
 - ① スポーツフェスティバル (6月24日 引野小学校体育館 71人)
 - ② サマーキャンプ (8月16日・17日・18日 神石高原ティアガルテン 48人)
 - ③ ジュニアクッキング (年5回 引野公民館調理室 100人)
- (8) 自主防災啓発事業
 - ① 防災講演会 (9月21日 引野公民館 48人)
 - ② 自主防災訓練 (11月25日 引野小学校グラウンド 300人)
- (9) 高齢者の居場所づくり (5自治 (町内) 会にてサロンを実施)



ジュニアクッキング



盆踊り大会



とんど祭り

成果

各種団体や地域住民による自主的・主体的な活動を実施することで、課題解決につながり、また、地域の活性化を図ることができた。

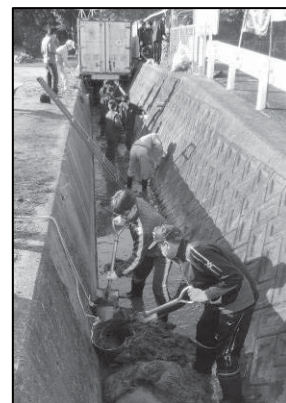
課題

行事の参加者が固定化しており、若い世代を含めたより多くの住民が参加できるような企画をたてる必要がある。

スーパァッフ!輝くまちづくり

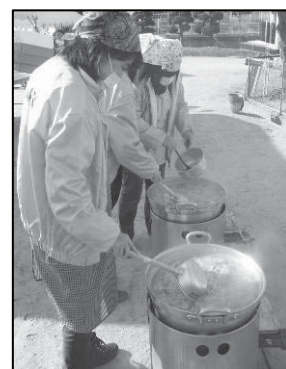
引野学区内の美化活動を実施しました!!

公園の清掃や川掃除などを実施。地域住民と中学生が力を合わせて大量のごみを処分しました。



【地域まちづくり計画推進事業】自主防災訓練を行いました。

消火訓練や炊き出し訓練などみんな真剣に取り組みました。



秋には芸能祭が開催されました。(文化祭と隔年で実施)

老若男女を問わず多くの方が日頃きたえた技を披露し、楽しい時を過ごしました♪



公民館のばら花壇整備とローズパーティーの実施!!

「ひきのバラ遊会」のメンバーはばらの手入れをしています。また5月開催のローズパーティーをはじめ放課後教室のボランティアとしても参加。一年を通じて子どもたちと触れ合い、温かく見守っていただいています。



ローズパーティーの風景



宿題頑張ってます!



クリスマス飾りを作ろう!

団体名	旭丘学区まちづくり推進委員会	代表者	三島 秀樹
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-943-9787 (旭丘公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 「現実に触れる人権学習」 (7月1日 広島平和公園 40人)
- (2) 「人権週間IN旭丘」 (12月4日～11日 旭丘公民館 155人)
- (3) 子ども育成事業「サタデー遊び塾」畑づくりなど10講座
(5～3月 旭丘公民館ほか 272人) 「乳児ランド村」
赤ちゃん体操ほか5講座 (7～3月 旭丘公民館94人)
- (4) 生涯学習事業「完熟とまと」ユニカールほか5講座 (9～
12月 旭丘公民館 70人)
- (5) 夏休み講座「サマーweek!」2講座 (8月22日・23日
旭丘公民館 42人)
- (6) 世代間交流「二上りおどり」(8月 旭丘公民館・福山演舞会場 184人)
「グラウンドゴルフ」(3月 旭丘小学校 28人)
- (7) 「子ども安全見守り活動」ほのぼの会・青育協の学区内通学路見守り199回(4～3
月 600人)
- (8) 「イベントごみ低減活動」 (7・8・10月 イベント会場 12人)
- (9) 「散乱ごみゼロ活動」 (6・8・10・12・2月 学区内 606人)
- (10) 「あいさつ運動(オアシス隊)・あったか鍋」(2月 学区内 132人)
- (11) 子どもの主体性を高める育成事業 (9月15日・16日 旭丘公民館 60人)
- (12) 旭丘まちづくり支援隊活動 (3月 学区内 14人)
- (13) 「学区ふれあい文化祭」(10月14日 旭丘小学校 750人)
- (14) 「学区ふれあい運動会」(台風接近のため中止)
- (15) 「学区敬老会」(9月17日 みやび 77人)
- (16) 広報活動「愛LOVE旭丘」(5～3月 広報誌発行 63～66号)
- (17) 「地域防災活動」 (11月 学区内 32人)
- (18) ほのぼの会活動支援 (4～3月 学区内 67人)
- (19) 「地域花いっぱい活動」 (3月 学区内 60人)
- (20) 「チャリティー募金活動」 (8月26日 ローソン引野南店駐車場 募金協力者
452人スタッフ101人 募金総額 265,147円)
- (21) 「まちづくりコンサート」大門中吹奏楽部 (10月14日 旭丘小学校 750人)
- (22) 「地域まちづくり拠点活動」(通年 旭丘倶楽部)
- (23) 公衆衛生推進活動運営事業 (2月8日 学区内)
- (24) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 旭丘公民館)



文化祭



地域花いっぱい活動



地域防災活動

成 果

文化祭などの行事を通じて、各世代、団体のつながり、ふれあいを深めることができ、学区住民の自主的な活動となった。

課 題

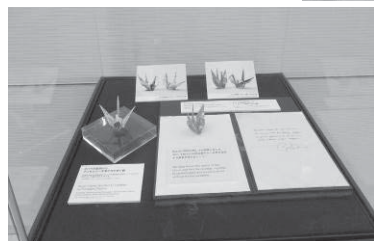
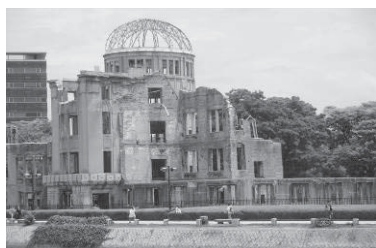
行事の実行委員が固定化されている感が強く、今後、より多くの住民が参加できるように広報活動の強化と共に、今後の役員体制の検討が必要。

スーパァッフ!輝くまちづくり

旭丘学区

現実に触れる人権学習（現地研修）を開催しました！！

7月1日「広島平和記念資料館・広島平和公園」で研修。平和記念資料館の本館は、改装工事中で、東館のみの見学でしたが、展示物の一つ一つは、胸が苦しくなるくらい、原爆そして戦争の悲惨さを訴えてくるものばかりでした。平和公園では、原爆ドーム、慰霊碑に刻まれた多くの方々の名前をまじかに見て、さらに原爆のすさまじさ・非人間性を感じました。決して忘れてはいけない、後世に伝えていかなければならないとの思いでいっぱいになりました。そして平和のありがたさを本当に感じました。平和の鐘をならして、改めて平和を願わずにはいられませんでした。



旭丘学区

散乱ごみゼロ活動！！

2006年から学区内全域清掃活動として、世代を超えた地域住民の参加により住民のまちづくり参画や世代間交流を図り、地域力の高揚をめざしてきました。今年度第5回の2月10日は、オアシス隊による「あったか鍋」もふるまわれました。



団体名	緑丘学区まちづくり推進委員会	代表者	藤井 謙三
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-943-5495 (緑丘公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 納涼映画会 (7月20日 緑丘小学校体育館 約350人)
- (2) 納税推進啓発事業 (通年 緑丘公民館ほか)
- (3) 人権学習講演会 (10月6日 緑丘小学校体育館 約100人)
- (4) みどりがおかふれあいフェスティバル2018
(11月4日 緑丘小学校校庭・体育館 約1,300人)
- (5) とんど祭り (1月13日 緑丘小学校校庭 約1,200人)
- (6) 防災意識啓発事業 (8月21日, 11月25日 緑丘小学校ほか 614人)
- (7) コミュニティ育成事業 (通年 19町内会)
- (8) 青少年健全育成事業 (7月27日～8月1日 緑丘公民館 97人)
- (9) 生涯学習推進事業 (通年 緑丘公民館ほか 117人)
- (10) 安心・安全まちづくり事業 (通年 学区内)
- (11) 福祉まちづくり事業 (通年 緑丘小学校体育館・公民館ほか 707人)
- (12) 環境まちづくり事業 (通年 クリーンアップ緑丘ほか 272人)
- (13) 健康まちづくり事業 (通年 緑丘公民館・緑丘小学校ほか 251人)
- (14) 地域まちづくり推進委員会運営事業 (通年 緑丘公民館ほか)
- (15) 地域まちづくり計画に基づく事業 (通年 緑丘公民館ほか)
 - ① 健康の維持・増進(講演会等) ② とびだし人形設置 ③ ばら花壇の整備
 - ④ 広報紙の発行

[活動参考事例]

福祉まちづくり事業



ハートフルコンサート

青少年健全育成事業



夏休みこども広場

生涯学習推進事業



大人の社会見学

成果

各事業とも定着し、参加者も増えており、地域の活性化につながっている。特にふれあいフェスティバルやとんど祭りは子どもたちから中高年まで幅広い層の参加があり、世代間交流のよき場となっている。学区の自主防災訓練も年々参加者が増加しており、防災に対する意識の向上、共助面においても住民間の新たな地域コミュニティを形成しつつある。

課題

とんど祭りは、雨天のため翌日に順延したが、各世帯まで連絡が行きわたらず、多くの方が会場に足を運ばれた。災害などの緊急時に備え、連絡方法の見直しを検討する必要がある。

スームアップ!輝くまちづくり

【地域まちづくり計画推進事業】

学区広報紙 第2号発行

高齢化社会と地域の役割をテーマに健康で長生きするためのノウハウや地域の取組を紹介しました。

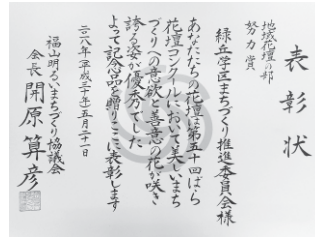


特集 自らの生涯を生き抜く気概と、老いを受け入れる心のバランスが大切

■緑丘学区の今年度推定高齢者数は1452人。年齢を占める割合が増え続ける高齢者。緑丘学区では、前年比で約100人増加。学区全体では1452人を数えるまでになりました。この増加は2025年まで継続してピークを迎え、以後75歳以上の人口はそのまま減少して推移する見込みです。
緑丘学区は約40年前から急速に高齢化が進み、多くの人が高齢化に悩んでいます。その人たちが40歳を超えて、高齢化社会を生き抜くためのヒントを探る。高齢化の準備ができていますか? 緑丘学区の未来を共に考えよう。

【地域まちづくり計画推進事業】

ばら花壇の整備



努力賞をいただきました。



高屋第3公園

みどりがおかふれあいフェスティバル2018

P T A と共催の緑丘学区最大のお祭り



ゲームコーナー



ステージ発表

人権学習講演会

ちょんまげ隊長ツンさんの被災地報告会 & 東日本大震災復興支援映画「MARCH」上映会



ツンさんこと角田寛和さん



映画「MARCH」上映

防災意識啓発事業



自主防災図上訓練



学区民防災訓練

2018.11.25

『減災グッズチェックリスト』の配布

西日本豪雨のような甚大な災害に備え、家庭で話し合いを行っていただけるよう『減災グッズチェックリスト』を各戸へ配布しました。



団体名	長浜学区まちづくり推進委員会	代表者	関本 英治
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-941-7019 (長浜公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●



事業内容

- (1) ふれあい夏祭り (8月4日 長浜小学校グラウンド 約500人)
- (2) ながはまフェスタ(芸能祭) (9月17日 長浜小学校体育館 約300人)
- (3) アウトドア体験 (10月6日 長浜公民館 悪天候のため中止)
- (4) ふれあい体育祭 (10月21日 長浜小学校グラウンド 約500人)
- (5) ふれあい文化祭 (11月11日 長浜公民館 約500人)
- (6) とんど作成・とんどまつり (1月10日 とんど作成・12日 とんどまつり
長浜小学校グラウンド 約200人)
- (7) ウォークラリー (2月17日 長浜学区周辺を散策 約200人)
- (8) 浜っ子太鼓隊活動事業 (通年 各種イベントへ出演参加)
- (9) 料理教室 (5月～3月 月1回開催 長浜公民館 延べ220人)
- (10) 学びの講座 (12月13日 クリスマスミニコンサート
2月28日 カローリング 長浜公民館 延べ50人)
- (11) 子育て世代応援講座 (9月25日・10月11日 長浜公民館 20人)
- (12) 異文化交流事業 (12月10日・1月28日 長浜小学校 60人)
- (13) 地域安全対策事業 防犯看板移転設置
* 防火・防犯啓発活動 学区内パトロール・登下校の見守り (通年 長浜学区区域内)
* 年末夜警パトロール (12月30日 元長浜幼稚園を拠点に学区区域内 100人)
- (14) 環境啓発活動事業 環境啓発ボード作成・学区内へ掲示 (通年)
- (15) ばら花壇・防災遊歩道維持管理事業 ばら花壇・遊歩道の草刈りなど維持管理 (通年)
- (16) そとまちウォーク (5月27日 岩国防災学習館見学・城下町岩国の史跡巡り35人)
- (17) ソフト・フットボール大会 (7月21日 長浜小学校グラウンド 50人)
- (18) バドミントン大会 (7月1日 長浜小学校体育館 約100人)
- (19) コミュニティ育成(ごみ分別啓発・納税推進含む)(通年)
- (20) まちづくり推進委員会運営事業



新しい年の繁栄を祈念して
とんどまつり



そとまちウォーク
城下町岩国の史跡巡り

成果

各行事を各種団体、地域住民が協働で取り組むことによって地域の活性化を図ると共に、地域住民の交流を深めることができている。

課題

各行事により多くの方に参加していただけるよう、内容を検討していくと共に広報活動もより充実していく必要がある。

【地域まちづくり計画推進事業】

紹介します!～わたしたちのまちづくり～

～ 住んで良かった安全・快適なまち“長浜学区”～

2015年度（平成27年度）から始まりました『地域まちづくり計画推進事業』も、2018年度（平成30年度）で3回目を迎え最後の取組となりました。

今年度は、高齢化社会の進展と核家族化による高齢者を取り巻く状況が厳しさを増してきている現状をふまえ“高齢化対策”に取り組みました。

事業の内容として、高齢者等家庭へ「救急医療情報キット」の配布、高齢者の居場所づくり“サロン”での内容の充実化を図るためのゲーム用品を購入。

1. 高齢者等家庭へ「救急医療情報キット」の配布事業

「救急医療情報キット」とは、自宅で体調が悪くなって119番したときや、災害時などに意識がなくても、自分の緊急連絡先や医療情報などを入れた容器を救急隊員に見つけてもらって、救急現場での迅速な処置や搬送に役立ててもらおう、というシステムです。

地域福祉部会を立ち上げ、地域の方々の理解・協力を得て「救急医療情報キット」を336人の方に配布することができました。高齢者の方にとってもキットを家庭に設置することにより、安心感を持つことができたのではないかと思います。

救急医療情報キットが、
冷蔵庫にあります。



2. 高齢者の居場所づくり“サロン”の充実化

気軽に参加できる“友・遊ボーリング”・“風船バレー”ゲームを購入。高齢者の方々にも喜ばれ、より交流を深めることができました。また、世代を超えた交流の場にも利用できると思います。



長浜学区まちづくり計画は

- ◎いつまでも住み続けたいと思う地域
- ◎巣立った子どもたちが、将来帰りたいたいと思ってもらえる地域
- ◎高齢の方が、笑顔で安心して暮らしていける地域をめざしています。

団体名	蔵王学区まちづくり推進委員会	代表者	三浦 保則
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-923-0915 (蔵王公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

総務部会関係

- (1) 研修会(教育講演会) (2月13日 蔵王公民館 52人)
- (2) 人権教育講演会 (9月28日 JA福山市蔵王支店 97人)
- (3) 納税推進啓発 (4月～3月 各町内会)
- (4) まちづくり推進委員会運営事業 (広報誌発行5月～3月 年2回ほか)

地域事業部関係

- (5) 地域安全パトロール (毎月第2・4水曜日 学区内 延べ170人)
- (6) 自主防災避難訓練 (11月25日 防災避難訓練 361人参加)
- (7) 第41回ふれあい文化祭(展示・協賛事業)(11月3日, 4日蔵王小学校1, 119人)
- (8) 蔵王山新年登山 (1月1日 蔵王山 290人)

環境美化部関係

- (9) 花づくり(草花育成・配布)「花いっぱい運動」(4月～3月 学区内花壇)
- (10) ごみの分別収集協力事業 (4月～3月 各町内会)
- (11) 地域の環境づくりの推進, 町内清掃(6月・9月・3月 各町内会 延べ1,500人)

健康福祉部関係

- (12) 歩け・歩け大会 (2月24日 蔵王山周辺 54人)
- (13) 体育振興事業(4月～3月 ソフトボール・フットベースボール・グラウンドゴルフ)
(延べ3,200人)
- (14) いきいきサロン料理教室 (10月11日・12月10日 蔵王公民館 延べ46人)
- (15) 史跡めぐりとウォーキング(10月24日 広島・山口方面 46人)
- (16) 高齢者健康・教養講座 (4月～3月 年5回の実施 蔵王公民館 延べ180人)
- (17) 保育所・保育園 世代間交流 (4月～3月 160人)
- (18) 社会奉仕活動 清掃活動 (4月～3月 仁伍公園・宮の前史跡 延べ315人)
- (19) 健康講座(自力整体) (6月23日 29人)
- (20) ハーバリウム製作活動 (10月27日 蔵王公民館 40人)
- (21) 小学校支援事業・豊かな体験学習 (4月～3月 蔵王小学校 48人)
- (22) あいさつ運動(4月～3月 毎月第3金曜日 学区内街頭で啓発活動 延べ170人)

成果

各事業を通し、それぞれの部会が主体となり、関係団体と連携し企画、運営をスムーズに行う事ができた。

課題

各事業の参加者を増やすための企画立案の必要性、地域活動の新たな担い手の発掘と育成。

スーパァッフ!輝くまちづくり

第41回ふれあい文化祭(作品展示)



テーマ「つなぐ」小学生全員の手形作品



とんど・防災グッズの展示



文化祭展示風景



学区民表彰

第31回人権教育講演会



講演「子ども達の今」
VAPAUS 代表 木村素子さん



2018 防災訓練

【地域まちづくり計画推進事業】 クスノキ活性化事業



小学校放課後子ども教室

団体名	千田学区まちづくり推進委員会	代表者	三好 寛治
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-955-0023 (千田公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- | | |
|---------------------|----------------------|
| (1) 三世代ふれあいまつり | (11月24日 千田小学校 250人) |
| (2) 安全なまちづくり | (7月4日 千田小学校内 200人) |
| (3) 健康・生きがいつくり | (7月5日 千田公民館 100人) |
| (4) 環境美化活動 | (通年 千田学区内) |
| (5) ふるさと盆踊り大会 | (8月4日 千田小学校 1,800人) |
| (6) 学区スポーツ祭 | (9月16日 千田小学校 1,800人) |
| (7) 文化祭 | (11月4日 千田小学校 1,300人) |
| (8) とんどまつり | (1月14日 千田運動場 1,100人) |
| (9) 千塚踊り | (通年 千田小学校 文化祭ほか) |
| (10) 広報紙発行 | (年2回発行 千田公民館) |
| (11) コミュニティ育成 | (通年 千田公民館) |
| (ごみ分別啓発・納税推進含む) | |
| (12) まちづくり推進委員会運営事業 | (通年 千田公民館) |



稲刈りしたよ～



ふれあい楽習
・まあどんな劇団
・みそ作り



子ども将棋大会



成果

三世代ふれあいまつり等の行事を通じて、各種団体や地域住民の協働による自主的・主体的な活動を実施することで、世代間交流・地域の課題解決や地域の活性化を図るための意識を高めることができた。

課題

各部会単位での自主的な活動が出来るようにしたい。

スームアップ!輝くまちづくり

千田学区

貸出用レクリエーション用具整備中!!



ボーリングのピンと
ピンセッター



お茶サロン活動のようす

【地域まちづくり計画推進事業】

できました!～千田村水旱災綴～

この綴りは、明治10年に生まれ、小学校校長から村長を歴任された藤井 時太郎さんが日記風に綴っていた冊子を編集委員にお願いして仕上げました。

古くは「穴の海」と呼ばれ、後に「千田沼」と呼ばれたように“水との闘いの歴史”が綴られています。

大雨が降ると城下町や吉津川流域を守るために樋門が閉められ、行き場を失った水が千田を浸し現在の小学校校庭からJAの辺りまで湖になりました。

昭和51年と60年に受けた水害(住民がボートで避難したのは記憶に残っていることでしょう)の後、水路の改修やポンプの増設により水害対策は万全と思われましたが、平成30年の7月豪雨では過去最大の降雨があり、前2回に匹敵する被害がありました。



団体名	御幸学区まちづくり推進委員会	代表者	門井 善敬
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-955-0392 (御幸公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 御幸町盆踊り大会 (8月 5日(日) 御幸小学校 1,200人)
- (2) 新春絆ウォーキング (1月 1日(火) 正戸山城跡 公園 160人)
- (3) 三世代ふれあいグラウンド・ゴルフ大会 (2月 3日(日) 御幸小学校120人)
- (4) 80周年記念学区民運動会 (9月16日(日) 御幸小学校)
- (5) まちづくり広報紙発行事業(年4回・特別号1回発行)
- (6) あいさつ運動推進事業 (通年)
- (7) ばら花壇整備事業 (通年)
- (8) 環境美化推進事業・コミュニティ育成事業 (通年)
- (9) 「ニコニコ訪問」活動 (通年)
- (10) 福祉研修会(8月10日(金) 御幸公民館 43人) (80周年記念学区民運動会)
- (11) 認知症予防講習会(6月20日(水) 御幸公民館 39人)
- (12) 男の料理教室 (11月24日(土) 14人)
- (13) 三世代交流折り紙ヒコーキ教室 (12月15日(土) 御幸小学校 68人)
- (14) 福祉情報誌発行事業(年2回(8月・2月)発行)
- (15) 健康ウォーキング (12月 2日(日) 下岩成 37人)
- (16) ボランティアセンター活動支援 (通年)
- (17) ハートフルコンサート (6月24日(日) 御幸小学校 250人)
- (18) 『御幸』誕生80周年記念 御幸フェスタ2018・第39回町民文化祭
(11月10日(土)・11日(日) 御幸小学校・御幸公民館 延べ3,000人)
- (19) みゆき子ども文庫(放課後子ども教室)(年間 御幸公民館 延べ1,199人)
- (20) 『みんなが選んだ「みゆき百選」』編集作業 (通年)
- (21) 『ふくやま東部文化フェスタ2019』出演支援事業
(3月2日(土)・3日(日) 東部市民センター)
- (22) 下校ボランティア活動(通年 104人登録)
- (23) 防災マップ作り研修会(6月26日(火) 御幸公民館 73人)
- (24) 安心・安全講演会 (2月 7日(木) 御幸公民館 30人)
- (25) 自主防災訓練 (1月20日(日) 御幸小学校 521人)



(自主防災訓練)

成果

「地域まちづくり計画」の2年目、計画の遂行と併せて『御幸』誕生80周年記念事業を実施することを通じて、ローズマインド(思いやり、やさしさ、助け合いの心)あふれるまちづくりが前進した。

課題

学区まちづくり活動の趣旨・目的をより多くの住民に周知し、更に関心を高めて各種活動を通じて絆を強めていく。

スーパァッ!輝くまちづくり

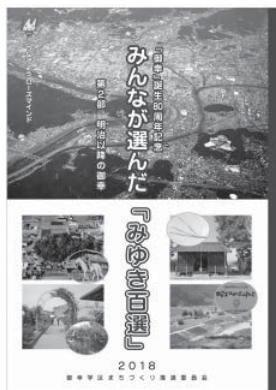
「御幸」誕生80周年事業を実施しました。

「私たちのふるさと御幸をもっとも
っとよく知り、お互いの絆を強める契機
としよう!」との趣旨で11月10日
(土)・11日(日)の記念式典、記念
講演、みゆきフェスタ2018を中心と
して、記念誌・記念クリアファイルの作
製、80周年記念学区民大運動会などの
事業を実施しました。



(『御幸』誕生80周年記念式典)

みんなが選んだ「みゆき百選」を作製しました。



(みゆき百選)

まちづくり推進委員会の地域文化部会が「みんなが選
んだ『みゆき百選』(B5版 100ページ)を1,0
00部作製しました。内容は、学区の皆様の投票で選ん
だ100の場所やイベントに写真とコメントをつけて、
みゆきの散策本(まちあるきガイドブック)となりまし
た。また「第2部として、明治以降の御幸の歴史が、地
域の方たちから提供していただいた写真とともに、収録
されています。さらに巻末には、昨年7月豪雨水害状況
の写真も掲載しており、今後の防災・減災行動の参考資
料としても活用できます。

まちづくり推進事業のシンボルバッジを作りました。

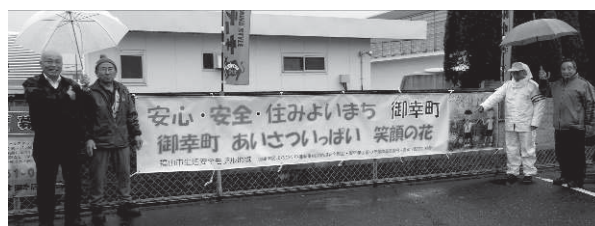
御幸学区まちづくり推進事業のシンボルロゴマークに
学区の皆さんの投票で「みゆきちゃん」と名前をつけま
した。そして、ロゴマークのバッジを作り、日常的にこ
れをつけてまちづくりの活動に取り組んでいます。



「みゆきちゃん」
(ロゴマーク)

生活安全モデル事業に取り組みました

福山市生活安全モデル地域の指定
(2年間)を受け、啓発看板(1ヶ所)
や横断幕(2ヶ所)を設置して、安心
安全なまちづくりの推進に取り組み
ました。



(啓発横断幕の設置)

団体名	大津野学区まちづくり推進委員会	代表者	三吉 孝雄
-----	-----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-943-4252 (大門公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| (1) 防災センター体験学習 | (3月17日 倉敷防災センター 16人) |
| (2) サマーフェスタ in 大津野 | (7月28日 大津野小学校 1,100人) |
| (3) 子ども会育成事業 | (通年 大津野小学校ほか 72人) |
| (4) まちづくり人権学習連続講座 | (7月19日 大門公民館 59人) |
| | (11月18日 JA大津野支店 120人) |
| (5) 体育祭 | (10月14日 大津野小学校 1,000人) |
| (6) 大門町シルバークラブ運動会 | (10月22日 石樋公園 384人) |
| (7) 文化祭 | (11月4日 大津野小学校 1,100人) |
| (8) 世代間交流事業&
一人暮らし友愛訪問事業 | (1月12日 大門未来園 200人) |
| | (2月24日 大津野小学校 60人) |
| | (9月12日・2月6日 学区内高齢者宅 150人) |
| (9) コミュニティ育成事業 | (通年 東谷町内会他 2,302世帯) |
| (10) 自主防災訓練 | (11月25日 学区内 500人) |
| (11) 大津野史跡ウォーキング | (11月23日 学区内 24人) |
| (12) まちづくり推進委員会運営事業 | (通年 大門公民館ほか 430人) |



(大津野小学校 真夏の1/2成人式)



(大門中学校 城興太鼓)

成果

夏まつり・文化祭・世代間交流事業・自主防災訓練などの行事を通じて、各種団体や地域住民の協働による自主的・主体的な活動を実施することで、地域の課題解決や地域の活性化を図るための意識を高めることができた。

課題

地域まちづくり計画をふまえ、各種団体間の連携を図り、さらに地域課題の解決や地域の活性化につながる事業を推進し、より多くの参加者が得られるよう広報活動を積極的に行う。

スーパァッフ!輝くまちづくり

大津野学区

まちづくり人権学習連続講座を開催しました!!

テーマ；「高齢者福祉制度」
講師；高齢者支援課長



(住みよいまちづくり懇談会(住民学習会)のテーマに沿った内容の講演会のようす)

大津野学区・野々浜学区協働事業

テーマ；「人生、笑って暮らしたい」 三味線放談；喜味家たまごさん



(感動の涙あり，笑いありの会場のようす)

【地域まちづくり計画推進事業】

紹介します！～わたしたちのまちづくり～

美化活動



(ローズマイン드의醸成につながるばら花壇を継続して維持管理)

- ▶時計台ばら花壇
- ▶大門駅前ばら花壇

- ▶大津野石樋公園「ふるさと再発見ガイドマップ」設置
- ▶「ふるさと再発見ガイドマップ」パンフレット作成(史跡めぐりモデル7コース)



団体名	伊勢丘学区まちづくり推進委員会	代表者	久保 實
-----	-----------------	-----	------

(問合せ先) 084-947-0511 (伊勢丘公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 世代間交流事業 親子ユニカール大会 (11月25日 伊勢丘小学校 90人)
- (2) 第14回伊勢丘ふるさと祭り
 - ①郷土料理の出店・郷土芸能 (11月11日 参加者 3,000人超)
 - ②特別出演 和太鼓「響組」
- (3) 思いやりのあるまちづくり事業
 - ①学区民研修会 発達障がい講演会とアトラクション (12月9日 138人)
 - ②団体別研修 (3団体 82人) ③住民学習会 (9会場で実施 300人)
- (4) さくら再生事業

雑司池周りのさくら並木の整備 (12月2日 3月26日 参加者30人)
- (5) 芝桜の整備事業

芝桜の植栽・整備 (6月17日 10月21日 2ブロック アグリシート敷設)
- (6) ばら花壇の整備事業 (通年 伊勢丘公民館ほか 50人)
- (7) 軽運動の推進事業
 - ①学区ユニカール大会 (6月24日 参加112人, 1月27日 参加100人)
 - ②健康バスハイキング (10月8日 県北(美術館, 庭園) 参加88人)
 - ③学区内スポーツ大会 (5種目/年 伊勢丘小学校 180人)
- (8) 地域活性化事業
 - ①歌声喫茶 (6回 公民館 247人) ②小町クラブ (9回 公民館 265人)
 - ③第7回さくらフォトコンテスト (出品数 27作品)
- (9) エコ活動事業
 - ①こどもエコくらぶ (自然, 野鳥観察, 清掃活動 9回 295人)
 - ②グリーンカーテン普及 (200鉢配布)
 - ③資源回収 (12回/年実施 12.5t/月)
- (10) 広報活動 (広報紙発行 4回, 特報発行 7回)
- (11) まちづくり推進委員会運営事業



学区民研修会



新春ユニカール大会

成果

伊勢丘まちづくり計画に基づき、各町内会・自治会並びに各会の協力で遂行出来た。

課題

より多くの住民参加・協力を促進できるように、世代間のつながりを深める事業を模索する必要がある。

スームアップ!輝くまちづくり

伊勢丘学区

第14回ふるさと祭り

2018年度より、日程を11月第2日曜日に変更しました。



今回からステージが、会場西側から東側に変更。ステージ周辺のスペースを大きく取りました。出演者の皆さん ダイナミックにイザ出陣!



伊勢丘さくら音頭で総踊り



特別出演 和太鼓「響組」



世代間交流で親子ユニカール

当初7月予定でしたが、警報発令により11月25日に変更。

ユニカール推進委員の指導のもと、子ども会育成会の親子90人が参加し、楽しい交流をしました。



団体名	野々浜学区まちづくり推進委員会	代表者	菅原 幸雄
-----	-----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-943-9412 (野々浜公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 学区環境衛生美化事業
- ・学区一斉清掃 (5月27日 学区全域 910人)
 - ・年末クリーン作戦 (12月2日 学区全域 420人)
- (2) 学区ふれあい公園・ばら花壇整備事業
- ・ふれあい公園整備 (通年 延べ154人)
 - ・ばら花壇整備 (4月～3月 延べ144人)
- (3) 子育て文化教室
- ・地域子どもチャレンジ教室 (4月～2月 10回 野々浜公民館 183人)
 - ・子どもフェスティバル (8月23日 野々浜公民館 73人)
 - ・野々浜子ども太鼓 (4月～9月 10回 野々浜小学校 180人)
- (4) 東部ヒューマンカレッジ 人権学習講演会 (大津野学区との協働事業)
- ・喜味家たまご人権講演会 (11月18日 JA大津野支店 125人)
- (5) 地域福祉活動
- ・高齢者グラウンドゴルフ大会 (5月26日, 11月24日 旭北公園 延べ83人)
 - ・希望の広場ふれあい祭り (10月14日 希望の広場 21人)
 - ・高齢者友愛訪問 (2月14日 学区内 対象者135人)
 - ・いきいきサロン (大門, 野々浜, 福祉会等サロン 延べ876人)
 - ・男の料理教室 (3月2日 10人)
- (6) 地域安全安心事業
- ・総合自主防災訓練 (11月4日 野々浜小学校運動場 241人)
- (7) 学区民納涼盆踊り大会 (8月4日 野々浜小学校 延べ1,100人)
- (8) 学区民体育祭 小学校と共催 (6月3日 野々浜小学校 延べ1,300人)
- (9) ふれあい文化祭 (10月28日 野々浜小学校 延べ1,100人)
- (10) とんど祭り・ウォーキング・マラソン大会 (1月14日 旭北公園 510人)
- (11) 大門町シルバークラブ連合会運動会 (10月22日 石樋公園 400人)
- (12) コミュニティ育成事業
- ・さくらウォーキング大会 (4月7日 ふれあい公園～旭北公園 148人)
 - ・通学路安全対策管理 (6月11日&11月26日 延べ59人)
- (13) まちづくり推進委員会運営事業
- ・ののはま福祉便り発行 (5月/760部, 1月/750部)
 - ・委員会開催 (年間9回 野々浜公民館 延べ109人)

成果

- (1) 少子高齢化が進む中で、各種行事を通し、世代間を超えて住民同士の交流がもて、地域の活性化に繋がった。
- (2) 多くの事業において、各団体同士の連携・協力体制が構築された。

課題

- (1) 地域の取組で創り上げたふれあい公園(どんぐりの小道やばら花壇等)の維持管理の仕組みづくり。
- (2) 次世代リーダーを養成することにより地域課題に対応できる組織力の向上, 強化。

スームアップ!輝くまちづくり

～ふれあい・支え合う・安全なまち野々浜～



力強い桴（パチ）さばき

地域が支える「のはま子ども太鼓」



5月の溝掃除

学区環境衛生事業（5月，12月）



どんぐりの小道を歩きました

コミュニティ育成事業「さくらウォーキング大会」



子ども会育成連絡協議会による
温かい飲み物の提供



「ふれあい文化祭」



ふれあい文化祭

～ふれあい・支え合う・安全なまち野々浜～

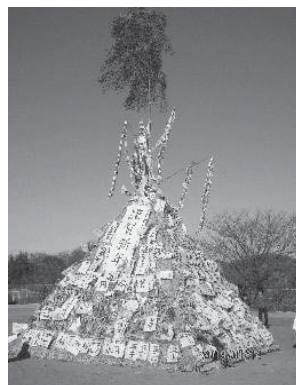


写真・絵画・洋裁

公民館生涯学習サークルの発表
（模擬店も盛りあがりました）



豚汁・おもちいただきました



「とんど祭り」



マラソン大会も頑張ったね

団体名	春日学区まちづくり推進委員会	代表者	藤尾 育造
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-947-4491 (春日公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 学区一斉清掃 (5月・9月15日 町内全域 延べ約3,450人)
- (2) 福祉視察・学習会 (11月24日 春日公民館 33人)
- (3) 春日教室維持 (11月11日, 3月16日 春日教室 約60人)
- (4) 自転車安全教室 (3月5日 春日公民館 約40人)
- (5) 学区人権講演会 (12月15日 春日小学校 約150人)
- (6) 防犯啓発事業 (8月 春日小学校6年生・培遠中学校3年生の防犯標語横断幕作成)
- (7) 学区民運動会 (雨天中止)
- (8) 学区民文化祭 (11月4日 春日小学校 約1,500人)
- (9) 公民館拠点事業 (春日公民館 延べ約310人)
- (10) コミュニティ育成 (ごみ分別等 通年 15自治会)
- (11) 地域活性化 (11月27日, 1月23日 グラウンドゴルフほか, 老人会 約60人)
- (12) 環境美化活動 (7月1日 春日池公園周辺, 三角公園, 隧道内清掃 約200人)
- (13) 高齢者防犯モデル地区活動 (横断幕作成, 啓発キャンペーン4回)
- (14) 公民館サークル祭り (12月2日 春日小学校 約200人)



公民館拠点事業



環境美化活動

成果

「人と人がふれあいのあるまちづくり」「安心して安全なまちづくり」を活動方針とした、まちづくり計画に基づいて実施した防災訓練や文化祭などを通じて、各種団体や地域住民の連携を深めることができた。

課題

行事の参加者が固定化しており、より多くの住民に参加してもらえよう地域の課題解決や活性化に繋がる行事の検討が必要である。その検討の場として部会の活性化に取り組んでいきたい。

スーパァッフ!輝くまちづくり

春日学区「春日公民館ふれあい祭り2018」

開催しました!!

春日公民館で仲間づくり,いきがづくり,生涯学習といきいきと活動されているサークルグループが発表されました。ステージ発表・展示のほかにスペシャルゲスト『和太鼓 響組』の力強い演奏でも大変盛り上がり,地域の方々との楽しい交流の場となりました。



スペシャルゲスト『和太鼓 響組』

展示



ステージ発表

【地域まちづくり計画推進事業】

紹介します!~わたしたちのまちづくり~ 春日学区防災訓練・講演会



春日小学校で福山市東消防署,消防春日分団のご協力のもと防災訓練が行われました。各家庭に配布された「福山市防災ガイドブック」を持参し,防災士による講演や応急手当の方法,煙体験,消火器などのさまざまな訓練を学び体験しました。

助けよう 地域で協力 救える命 (春日学区おらがまちの防災標語)

団体名	坪生学区まちづくり推進委員会	代表者	掛谷 泰彦
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-947-2411 (坪生公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 坪生ふれあい夏まつり (8月11日 坪生小学校グラウンド 約5,500人)
- (2) つぼうふれ愛フェスティバル (11月4日 坪生小学校 約3,000人)
- (3) 広報誌発行業務および企画作成全般 (年6回×3,300枚 各戸配布)
ふくやま東部文化フェスタ2019「ふくやま東部まちづくり博覧会～防災編～」
ポスター作成および企画
- (4) 健康ウォーキング&とんど祭り(1月13日 坪生小学校グラウンド 約330人)
- (5) 福祉関連事業 生活支援事業機材用品の充実
- (6) 環境衛生推進事業 廃油回収(年4回) 環境美化運動(公民館内グリーンカーテン,
路肩, 交差点への植栽活動, 環境施設研修)
関連施設見学:(株)イーアールジャパン福山工場, JFE環境(株) 46人
- (7) 防災訓練 (11月25日 坪生小学校グラウンド 705人)
- (8) 安心安全に関する事業 (10月13日 坪生公民館 地域防災研修 42人)
災害時非常用品の充実
- (9) コミュニティ育成事業(通年24町内会)(春・秋一斉清掃 4,000人)
- (10) まちづくり推進委員会運営事業 運営のための連携会議の実施・町内会の再編・支援・
総会・各部会(広報部会・安心安全部会・環境部会・福祉部会・ふれあい部会まちづ
くり合同会議を計71回開催)



ふれあい夏まつり



ふれ愛フェスティバル

成果

まちづくり推進委員会において新しい団体を発足させたことにより、ひとりひとりの意識や各種団体および地域住民の自主性や主体性が少しずつ変化し、環境意識や防災意識を高めることができた。

課題

推進事業の各部会の役割分担を細分化し、更に安心安全な地域強化のためにもより多くの新たなサポートスタッフが急務となっている。また、避難行動要支援者の方への具体的な対応方法など課題は多い。

スームアップ!輝くまちづくり

【地域まちづくり計画推進事業】 坪生学区防災訓練を実施しました!

(11月25日 坪生小学校)

隔年の開催だった防災訓練を2018年度より毎年行うこととなりました。自主防災組織協議会および安心安全部会主催のもと、地元消防団・東防火協会・坪生学区防災士さんの協力により心肺蘇生・応急手当・徒手搬送・初期消火・筒先体験・土のう作りなどの訓練を行いました。女性会による炊き出しも行われ、非常食の試食体験もしました。



心肺蘇生



応急手当



筒先体験

【坪生学区のアイコン的キャラクター!】

公民館を利用するサークルは女性が多く、男性が集まる場をつくりたいとの思いで、前まちづくり推進委員長が発案し、発起した「つぼう男シングチーム」。今年で結成6年目を迎え現在も学区の夏まつりや秋のフェスタに連続出演しています。

かっこいい?おじさんたちの勇姿をひとめ見ようと沢山の方が見に来てくださるようになり今年度は、ふくやま東部文化フ



つぼう男^{だん}シングチーム

ェスタにも出演し、活躍の場を広げ新聞やテレビ番組でも紹介される人気ぶりとなりました。

来年度は、他学区からの出演依頼を受け、ますます坪生学区から他学区へと知名度をあげ、人を呼び込むアイコンとして広く皆さんに愛されています。



まぐら姫

つぼ作

また、坪生学区のご当地キャラクターとして「つぼ作」と「まぐら姫」を作成し、地域のマスコットとして学区のまちづくり新聞やのぼり旗、市制施行100周年記念行事ではTシャツにプリントをしてローズバトンリレーにて全員で着用し徐々に学区のみなさんにも親しまれつつあり、坪生を代表するキャラクターに成長しようとしています。ぜひみなさんも覚えてやってくださいね!



団体名	幕山学区まちづくり推進委員会	代表者	小谷 俊夫
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-947-0095 (幕山公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- | | |
|---------------------------------------|---------|
| (1) まくやま朝市 (毎月第2日曜日の朝8時(9時)～ 幕山幼稚園 | 572人) |
| (2) 生涯学習事業「ロハスクラブ」(5月～3月 幕山公民館ほか | 259人) |
| (3) 一斉清掃(5月 9月 10月 幕山口 幕山大門線 | 251人) |
| (4) スポーツ大会「ペタンク」(6月10日 幕山台中央公園 | 106人) |
| 「グラウンドゴルフ大会」(10月20日 幕山台中央公園 | 123人) |
| (5) 健康維持増進活動「健康ウォーク」(6月3日 大山祇神社ほか | 97人) |
| (6) 自主防災訓練「普通救命講習」(6月16日 幕山公民館 | 34人) |
| (7) 世代間交流事業「ラジオ体操」(7月21日 幕山台中央公園 | 141人) |
| 「健康体操」(10月14日 幕山台中央公園 | 40人) |
| 「子ども講座」(料理7月27日 工作8月23日 幕山公民館 | 25人) |
| (8) 夏まつり(8月4日 幕山台中央公園 | 4,800人) |
| (9) 交通安全対策「交通安全教室」(8月22日 幕山公民館 | 30人) |
| 「ガードレール清掃」(12月1日 幕山小学校前 | 10人) |
| (10) 文化交流事業「映画祭り」(10月6日 幕山小学校体育館 | 237人) |
| (11) 3世代交流広場「あんずの家コンサート」(10月28日 幕山幼稚園 | 55人) |
| (12) ふれあい文化祭(11月3日 4日 幕山公民館 幕山幼稚園ほか | 3,600人) |
| (13) とんど祭り(1月13日 幕山台中央公園 | 3,200人) |
| (14) 環境美化「花壇整備」(通年 幕山学区内公園 幕山幼稚園 | 98人) |
| (15) コミュニティの育成(5月～3月 幕山学区7自治会 | 526人) |
| (16) まちづくり推進委員会運営事業(通年 幕山公民館 | 257人) |

～ガードレール清掃～

幕山小学校前のガードレールを清掃，ペンキを塗り直しました！
ピカピカですね。



成果

まちづくり推進委員会の各部会が地域の課題やニーズを基に事業を企画し，自治会，各種団体と協働して実施することによって，自主的な課題解決や地域の活性化に向けた意識を醸成させることができた。

課題

まくやま朝市など，地域の課題解決の一助とするため実施してきた事業は，さらに住民への浸透を図るため，事業の見直し，広報の検討が必要な段階になっている。

スーパァッフ!輝くまちづくり

～夏まつり～

8月4日 幕山台中央公園で夏まつりを開催しました。

てまりこども園，幕山小学校の子ども達の特別出演。たくさんの屋台も立ち並び，4，800人の住民で賑わいました！！

夜空に打ち上がった花火は，祭りのフィナーレを飾りました。

幕山3大祭



フィナーレは花火大会！

～ふれあい文化祭～

11月3日，4日 幕山公民館，幕山幼稚園，幕山台中央公園の3会場でふれあい文化祭を開催しました。

当日は，秋の味覚さんまの炭火焼き，花の寄せ植えやバザーなどのお店が立ち並び，3，600人の住民で賑わいました！



幕山公民館での作品展示のようす



幕山幼稚園での舞台のようす

鳳中学校
鳳飛翔太鼓の演奏

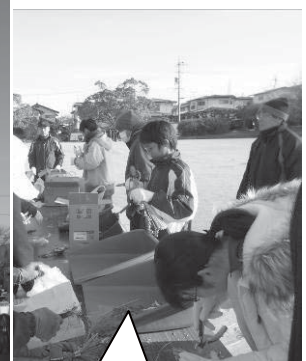
～とんど祭り～

1月13日冷え込みが厳しい中，幕山台中央公園でとんど祭りを開催しました。

前日から，地域の方々が総出で，高さ8メートルの立派なとんどができあがりました。当日は，鳳中，東朋中学校の生徒がボランティアで参加。神事の後には，お楽しみの，おしるこ，豚汁，甘酒，お餅がふるまわれ，3，200人の住民で賑わいました！



8メートルのやぐら。
圧巻です！



中学生のボランティア
真剣です♪

団体名	日吉台学区まちづくり推進委員会	代表者	岡峰 信子
-----	-----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-943-4054 (日吉台公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 夕暮れ納涼シアター (8月25日 日吉台小学校体育館 約260人)
- (2) 文化祭 (11月4日 日吉台小学校 約2,000人)
- (3) 土曜チャレンジ (通年 日吉台小学校ほか 約230人)
- (4) ばら花壇整備事業 (通年 日吉台くらぶほか)
- (5) 高齢者支援事業 (通年 日吉台くらぶサロンほか)
- (6) 安心・安全のまちづくり事業
 - * 地域パトロール (通年 学区内一円)
 - * 新1年生親子通学路体験 (2月24日 日吉台小学校体育館ほか)
 - * 「ぼうはんだより」発行 (年2回 学区一円)
- (7) コミュニティ育成事業 (通年 各町内会 夏祭り・地域清掃ほか)
- (8) コミュニティ育成事業(日吉台くらぶ運営) (通年 日吉台くらぶ)
- (9) 公衆衛生推進事業 (6月・12月学区一斉清掃 約150人)
- (10) ボランティア推進事業
 - * 広報活動ほか (通年 学区一円)
 - * 児童ボランティア体験学習 (6月6日・13日 日吉台小学校4年生 60人)
- (11) 健康増進事業 (11月18日 健康ウォーキング大会 約400人)
- (12) 文化の継承事業
 - * しめ飾りづくり (12月25日 日吉台くらぶ 57人)
 - * 歴史講座 (1月19日・2月16日・3月16日 日吉台公民館 133人)
 - * はね踊り体験学習 (3月5日 日吉台小学校3年生 51人)
- (13) 広報活動 (文化祭作品展会場にてまちづくり活動の紹介)
- (14) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 日吉台公民館ほか)



春日池公園

健康ウォーキング大会(11月)



半田池池畔



日吉台小学校

日吉台くらぶ
(休園中の日吉台幼稚園)



学区一斉清掃(6月)

成果

地域活性化につながるボランティア活動が日吉台くらぶ運営や高齢者支援事業を通じて、地域住民に広がりつつあり、各種団体と連携し協働による活動が少しずつ確実に定着している。地域課題解決に向けて着実に「地域まちづくり推進事業」は、より一層地域全体に大きく貢献している。

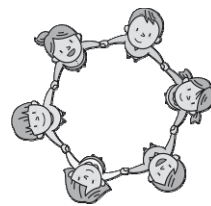
課題

学区全体から地域住民が参加できるよう各事業の企画運営に努めているが、より一層「住んでよかった」と感じるまちづくりを推進するためには、行政・各種団体・関連機関の連携と協力・支援は、これまで以上に重要視され必要とされるところである。

スーパァッフ!輝くまちづくり

地域再発見!!

しめ飾りやはね踊りなど文化・歴史の継承をしました!!



日吉台学区の文化・歴史の語り部が高齢となり、地域文化・歴史の継承と語り部の後継者育成を兼ね、地域再発見に取り組みました。世代間交流にも一役。

過去から未来へ続く絆の道を一步前に進みました。



しめ飾り作り
(12月)

はね踊りの継承
(3月)



連続歴史講座
(1月・2月・3月)

【地域まちづくり計画推進事業】

「日吉台学区ガイドブック」作成!



「住んでよかった日吉台 住み続けたい…日吉台」をめざし、一人でも多くの方が地域活動へ参加・協力できる参考資料になればと願いを込めて、学区内を紹介するガイドブックにしました。

日吉台小学校の5年生が、史跡めぐりやまちづくり活動の学習を通じ作った、ふる里を思う歌「手と手をつなごう」も紹介しています。



団体名	大谷台学区まちづくり推進委員会	代表者	池田 正則
-----	-----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-948-0136 (大谷台公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) まちづくり講座 (5月～3月 6講座 大谷台公民館 86人)
- (2) 次世代育成事業 (4月～2月 大谷台公民館ほか 150人)
- (3) 夏祭り (7月28日 大谷台中央公園 1,500人)
- (4) ふれあい祭り・30周年記念 (10月28日 大谷台小学校 2,000人)
- (5) 防災・防火事業 (2月16日 大谷台公民館 24人)
- (6) 広報紙発行 (6月～3月 年3回発行 学区内全戸配布)
- (7) 公衆環境美化事業 (5月～3月 学区全域公園等の整備)
- (8) まちづくり推進委員会運営事業 (4月～3月 5回開催 大谷台公民館 210人)
- (9) 健康づくりに取り組む事業 (11月23日 岩国錦帯橋 117人)
- (10) とんど祭り (1月14日 大谷台中央公園 1,000人)
- (11) 世代間交流事業 (ピカピカウォーキング) (11月10日 学区全域 67人)



～大谷台三大祭り～
夏祭り



～まちづくり講座～
子ども料理教室



～次世代育成事業～
ひよこクラブ



～大谷台三大祭り～
とんど祭り



～防災・防火事業～
防災講座



～まちづくり講座～
しめ縄作り

成果

次世代育成事業・世代間交流事業などを通して、高齢者から幼児まで幅広く交流ができる事業展開ができた。

3大祭りでは、各事業多くの人で賑わい、町内会活性化の役割を担っている。

課題

地域課題である世代交代をスムーズに進めるために、各講座・行事などを通して、参加率の低い中間世代の呼び込みに取り組む必要がある。

大谷台学区30周年*ふれあい祭り



大谷台学区は、大谷台小学校と共に、2018年に創立30周年を迎えました。小学校と合同で記念式典を行い、いろいろな催しが営まれ、思い出深い一日となりました。



{世代間交流事業} ピカピカウォーキング!



子どもから高齢者まで学区住民が力を合わせて、きれいな大谷台をめざして、ごみを拾いながら町内を歩いて回りました。お天気にも恵まれ、とても清々しい一日となりました。

団体名	神辺学区まちづくり推進委員会	代表者	井上 通弘
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-963-4050 (神辺公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 文化財維持管理と公共施設美化事業 (通年 廉塾・公民館 311人)
 ≪廉塾維持管理・公民館美化活動≫
- (2) 公衆衛生・環境美化事業 (通年 神辺小学校・学区内 2,000人)
 ≪花一杯運動・学区民体育大会, 盆踊り大会のごみ分別指導≫
- (3) 安全教育・防災事業 (通年 神辺小学校・学区内 4,400人)
 ≪交通安全教育・子ども見守り活動・防火運動・自主防災活動≫
- (4) 人権啓発推進事業 (通年 神辺公民館 700人)
 ≪AMD A通信展示「困った時はお互いさま」≫
- (5) 青少年育成事業 (通年 神辺小学校・学区内 684人)
 ≪青少年健全育成, 指導・子育て会デイキャンプ, スポーツレクリエーション≫
- (6) ふれあいまつり事業 (8月・11月・1月 神辺小学校・神辺公民館 2,500人)
 ≪盆踊り大会・ふれあいまつり・とんどまつり≫
- (7) 学区民体育大会 (5月 神辺小学校 2,500人)
- (8) 学区小学生駅伝大会 (12月 学区内駅伝コース 400人)
- (9) スポーツ親善事業 (通年 神辺小学校 多目的・子ども広場 635人)
- (10) コミュニティ育成 (通年 学区内全域 各自治会)
- (11) 多目的・子ども広場運営管理事業 (通年 多目的子ども広場 5,612人)
- (12) まちづくり推進運営事業(総務・広報) (通年 学区内)
- (13) 地域まちづくり計画に基づく事業 (11月 968人)



盆踊り大会



ふれあいまつり



とんどまつり

成果

各行事を通じて、各種団体や地域住民の協働による自主的・主体的な活動を実施することで、地域の課題解決や地域の活性化に向けた意識の高揚を図ることができた。

課題

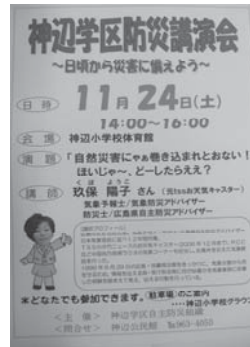
行事がマンネリ化の傾向にあり参加者も固定化している。若年層世代が魅力を感じる取組や活躍の場を増やすことで、新たな人材発掘、リーダー育成につなげる必要がある。

スーパァッフ!輝くまちづくり

神辺学区

防災講演会を開催しました!!

神辺学区内でも多くの世帯が
床上・床下浸水の被害に遭われた西日本豪雨。
「災害が起こる前の防災」、「命を守るには
自分の決断が大事である」ことなどを聴き、
災害時の対応能力の向上と、防災意識の高揚を図りました。



【地域まちづくり計画推進事業】

紹介します!~歴史文化を活かしたまちづくり~

神辺の歴史を伝えるイベントを11月17日(土)

~18日(日)に開催し、講演やフィールドワークで歴史のロマンに触れました。

(1) 神辺本陣会場

- ・本陣講演会 17日(土) テーマ「絵図と記録に見る神辺本陣の今・昔」
講 師：柳川真由美さん(福山大学講師)

- ・茶華展
- ・各地の本陣, 本陣家業パネル展
- ・神辺知つとる検定

(2) 廉塾会場

- ・各地の藩校, 私塾パネル展
- ・華展

(3) 神辺公民館会場

- ・水野勝成入封400年プレ事業「歴史講演会」
18日(日) テーマ「風雲の神辺城」

講 師：田口義之さん(備陽史探訪の会会長)

地域の宝(神辺本陣と廉塾)
を守り活用した、史跡・文化
遺産伝承の取組



「神辺歴史文化ガイドブック」を発行
神辺学区全世帯へ配布



★ふくやま♡まちづくり大学「フィールドワーク」
への同時取組 現地で施設案内ガイド

団体名	竹尋学区まちづくり推進委員会	代表者	猪原 和幸
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-965-0131 (竹尋公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

(1) 青少年健全育成(見守り活動)	(通年)	竹尋学区内	延べ1,400人)
(2) 世代間交流 ・夏休み子ども教室	(7月・8月	竹尋公民館	延べ120人)
・男の料理教室	(年3回	竹尋公民館	延べ47人)
(3) 竹尋学区民体育大会	(5月)		雨天の為中止)
(4) 竹尋学区ふれ愛夏まつり	(8月)	竹尋小学校	約1,500人)
(5) たけひろふれ愛フェスティバル	(11月)	竹尋小学校	900人)
(6) 竹尋学区ふれ愛講演会	(2月)	竹尋公民館	140人)
(7) コミュニティづくり	(通年)	竹尋学区内	20自治会)
(8) 環境保全・環境美化			
・環境啓発ポスター及び標語	(8月)	竹尋小学校	190人)
・祭りのごみダイエット作戦	(11月)	竹尋小学校	16人)
・ホタルの育成(生育地整備)	(通年)	竹尋学区内	90人)
・通学路環境整備	(8月)	竹尋学区内通学路	130人)
(9) 健康増進			
・健康ウォーキング	(10月)	下竹田	39人)
・グラウンドゴルフ	(毎月1回	竹尋学区ふれ愛広場	延べ216人)
・健康サイクリング	(11月)	吉備路サイクリングロード	13人)
・健康講座	(年2回	竹尋公民館	36人)
・健康サークル	(通年)	竹尋公民館	延べ921人)
(10) 郷土史研究教室	(通年)	竹尋公民館	延べ25人)
(11) 自主防災事業	(11月)	各自治会	約767人)
(12) 広報誌発行(まちづくり広報)	(年4回	竹尋学区内	1,400枚×4回)



夏休み子ども教室



健康講座(アロマとチェアヨガ)

成果

事業部会ごとの行事を各種団体で取り組むことにより、子どもから高齢者まで様々な世代で世代間交流をすることができ、地域の活性化につながった。

課題

まちづくり活動が活発に行われている中で、持続可能なまちづくりに向けて各事業を支える人材の世代交代と新たな人材発掘・育成が課題となっている。

スーパァッフ!輝くまちづくり

竹尋学区ふれ愛夏まつりを開催しました!!

竹尋学区まちづくり推進委員会では、毎年竹尋小学校を会場に「竹尋学区ふれ愛夏まつり」を開催しています。

保育園児の踊りや小学校児童による太鼓演奏、中学校男子生徒によるよさこいソーラン、中学校女子生徒のダンス、学区民全体で踊る盆踊りに加え、今年度は特別出演としてJFE火炎太鼓の演奏があり、地域住民の老若男女が集う熱い地域のお祭りとなっています。



「竹尋小学校太鼓クラブ」による太鼓演奏



竹尋誠和保育園児のかわいい踊り



中学生男子のよさこいソーラン



迫力満点!! JFE 火炎太鼓

ふる里再発見 健康ウォーキングを開催しました!!

学区内の史跡を巡る「健康ウォーキング」を開催しました。昨年に引き続き2年目となり、今年度は下竹田地区約9kmを歩きました。普段歩かない場所を歩き、健康づくりとともに郷土について学ぶ良い機会となっています。



初めて歩く道。楽しいですね!



団体名	御野学区まちづくり推進委員会	代表者	高野 孝行
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-966-2424 (御野公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 人権啓発推進事業 (6月17日 御野小学校 206人, 11月19日~12月2日 12町内会各集会所等 合計217人)
- (2) ごみ追放キャンペーン (6月4日 103人, 10月21日 108人 御野学区)
- (3) 公衆衛生活動 (通年 単位町内会)
- (4) 盆踊り大会 (8月4日 御野小学校 約2,500人)
- (5) ウォーキング (12月9日 御野学区 61人)
- (6) 文化祭 (11月3日, 4日 御野公民館 1,634人)
- (7) コミュニティ育成 (ごみ分別, 納税推進, いきいきサロン含む) (通年 単位町内会)
- (8) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 御野公民館)



人権啓発推進事業 (各町内会)



ごみ追放キャンペーン



盆踊り大会



ウォーキング



文化祭



成果

各行事を通じて、各種団体や地域住民の協働による自主的・主体的な活動を実施することで、地域の問題解決や活性化を図るための意識を高めることができた。ウォーキングでは毎年コースを変え、続けることで参加者の増加につながった。

課題

人権啓発事業では、より多くの参加者が得られるよう、引き続き開催形態、場所などを考えていきたい。

スーパァッフ!輝くまちづくり

御野学区

全体住民学習会を開催しました!!

あんずの家「ハートフルコンサート」
～やさしさいっぱい・こころでふれあうコンサート～
演奏者：生活介護事業所 あんずの家

実施月日：6月17日（日）10：00～11：30
実施場所：福山市立御野小学校 体育館



演奏曲：若い広場・それいけカープ・ハナミズキ・
YMCA他 全10曲



演奏者ひとりひとりの思いや、気持ちが一とつになった演奏に、感動しました。



「YMCA」の曲に合わせ、演奏者21人、観客206人みんなで体を動かし、会場が一つになり盛り上がりました。

団体名	湯田学区まちづくり推進委員会	代表者	船田 皎
-----	----------------	-----	------

(問合せ先) 084-963-1368 (湯田公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 世代間交流 (夏休み 学区内各町内会 1,602人)
- (2) 子ども体験教室 (夏休み8回 公民館 200人)
- (3) 夏まつり (8月4日 小学校運動場 3,500人)
- (4) 文化祭 (11月10日・11日公民館・小学校体育館 約2,500人)
- (5) 幼児の育成支援 (10月23日・11月1日・3月12日
保育所・幼稚園・こどもえん 352人)
- (6) ふれあいグラウンドゴルフ大会 (1月27日 小学校運動場 121人)
- (7) 自主防災訓練 (2月17日 各町内会避難場所・小学校運動場 延べ843人)
- (8) 登下校の見守り (通年 学区内 延べ276人)
- (9) 夜間巡回パトロール (通年(45回) 神辺町内 延べ186人)
- (10) お年寄りへの弁当作り (5月～3月 公民館 延べ1,127食)
- (11) 公演・講習会 (12月3日・1月22日・2月18日 公民館 61人)
- (12) 環境衛生事業 (通年 小学校・運動場・公民館・神辺町内 延べ818人)
- (13) 広報紙発行 (ちらし・年1回まちづくりだより報告 公民館)
- (14) コミュニティ育成 (環境整備, とんど, グラウンドゴルフなど) (通年 13町内会)
- (15) まちづくり推進委員会運営事業 (通年 公民館)



夏まつり (地元の踊り湯田讃歌)



文化祭 (芸能発表)

成果

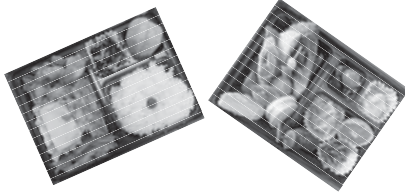
7つの事業部を設置し、各部の趣旨に添った活動を実施し、地域の活性化を図るための意識を高めることができた。

課題

行事の参加者が固定化しており、より多くの住民の参加を促すための企画、広報活動等に取り組んでいきたい。

スーパァッフ!輝くまちづくり

お年寄りへの弁当作り



年間を通して、すこやか給食の方が手作り弁当を作り、民生委員の方がお年寄りに配布しています。年15回のお弁当配布は、お年寄りに大変喜ばれています。

自主防災訓練



地震発生を想定し、一次避難を各町内会、二次避難を小学校運動場とする防災訓練を実施しました。

さわやかウォーキング



『龍馬の生まれた町を歩こう!』として、49人の参加者が高知でウォーキングを楽しみました。

夏休み子ども体験教室



2018年度も、地域の方々のご指導・ご協力により、8つの体験教室を開催しました。延べ200人の児童が参加し、普段なかなかできない様々な体験に目を輝かせていました。



団体名	中条学区まちづくり推進委員会	代表者	安倍 義弘
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-967-0740 (中条公民館)

●○地域まちづくり推進事業○●

事業内容

- (1) 青少年育成推進事業 (子ども安全確保研修会 7月19日 中条小学校 250人)
- (2) 人権教育推進事業 (学区人権講演会 9月27日 中条小学校 76人)
(町内会別住民学習会 10月~11月 各町内会集会所 13町内会 272人)
- (3) 福祉活動推進事業 (世代間交流事業 そば種まき・刈り取り・はぜ作り 92人)
年越しそばの訪問配布 対象者 95人
(ふれあい料理教室 年4回 中条公民館 計70人)
(福祉研修会 2月20日 中条公民館 29人)
- (4) 公衆衛生推進事業 (学区一斉清掃 6月3日・1月27日 延べ58人)
- (5) 安心安全対策事業 (防犯防災パレード 12月4日 中条小学校 408人)
(炊き出し訓練 2月17日 中条小学校三谷分校 75人)
- (6) 学区民体育大会 (5月13日 中条小学校 約400人)
- (7) 夏まつり (8月4日 中条小学校 900人)
- (8) 文化祭 (11月4日, 5日 中条小学校 1,000人)
- (9) 地域文化保存・学習 (史跡の草刈・史跡保存整備 木之上城址 24人)
(学習会 通年 中条公民館 103人)
- (10) 広報紙発行事業 (広報紙「中条のまちづくり」年3回発行 1,250部/1回)
- (11) コミュニティ育成 (ごみの分別啓発・納税推進含む 通年 13町内会)
- (12) まちづくり推進運営事業 (通年 学区内)



学区人権講演会



夏まつり

成果

人権教育推進事業においては、今年度から学区人権講演会を、まちづくり推進委員会人権部会、中条小学校PTA、中条公民館、神辺西コミュニティセンターの四者共催で開催することとした。学区内で人権啓発に取り組む各団体が横の連携を図ることにより、情報の共有、広報や動員の分担など、人権学習の協力体制を充実させることができた。

課題

平成30年7月豪雨での災害・避難・復旧活動は、今まさに自主防災組織機能の意義について考えるべき時と実感した。災害時、より機動的に機能する自主防災組織となるよう、現組織の早期見直しに取り組み、地域住民が安心して暮らせるまちづくりを推進する。

スーパァッフ!輝くまちづくり



青少年育成推進事業
子ども安全確保研修会



人権教育推進事業
人権文集「あゆみ」第15集の編集



福祉活動推進事業
中条小学校の児童による年越そばの訪問配布



公衆衛生推進事業
学区内一斉清掃



安心安全対策事業
防犯・防災パレード



地域文化保存・学習
木之上城跡の保存整備とウォーキング



炊き出し訓練

神
辺

団体名	道上学区まちづくり推進委員会	代表者	和田 秀俊
-----	----------------	-----	-------

(問合せ先) 084-963-2391 (道上公民館)

●○地域まちづくり推進活動○●

事業内容

- (1) 学区民体育大会 (5月13日 道上小学校 約2,300人)
- (2) 学区一斉ラジオ体操 (7月~8月 各町内会 約8,400人)
- (3) 健康教室 (10月21日 蔵王山 25人)
- (4) 学区盆踊り大会 (8月4日 JA道上支店 約1,400人)
- (5) ふれあい祭り (10月27日 道上公民館 約700人)
- (6) 学区食生活改善指導教室 (6月・10月・11月・1月 4回
道上公民館 延べ107人)
- (7) 公衆衛生事業 (通年 道上公民館他 延べ1,200人)
- (8) 道上駅整美活動 (通年 道上駅 延べ430人)
- (9) 一斉ゴミ拾い (12月29日 各町内会 延べ450人)
- (10) 人権講演会 (12月7日 道上公民館 80人)
- (11) 自主防災組織活動 (通年 道上公民館 1,308人)
- (12) まちづくり推進委員会運営活動 (通年 道上公民館 延べ30人)
- (13) コミュニティの育成 (世代間交流活動・学区一斉清掃等)
(各町内会 延べ5,574人)

5月 学区民体育大会



健康教室

12月 人権講演会



学区食生活改善指導教室



8月 学区盆踊り大会

自主防災組織活動



成果

年々、事業への参加者・参画者が増加傾向にあり、まちづくりに対する意識が高まり、地域の活性化が進んでいる。

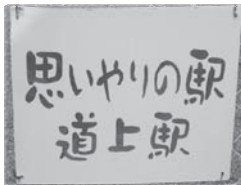
課題

事務的処理の簡素化と後継者が不足している。

定着! 進化! 発展!

道上学区の玄関口 道上駅整美活動

2013年度から始まったこの事業は、道上を訪れる人が気持ちよく利用できる玄関口にしたい、毎日の通勤・通学で利用する人が、安心・安全に利用できるようにしたい、との思いから、2018年度で6年目を迎えます。



こうした取組は、駅トイレの水洗改修や防犯カメラの設置にもつながりました。また、道上駅がきれいになるだけでなく、学区民の心もきれいになっていく気がします。

**暑い夏を吹き飛ばせ!
学区一斉ラジオ体操**

おとなも子どもも
一緒にイキイキ♪

暑い夏、朝6時30分に地域の老若男女が「おはよう」の合図で集まり、夏の日が始まります。



夏休み期間中に行われるラジオ体操は、子どもたちが、夏休みも規則正しい生活を送るために行われていますが、おとなも準備運動から一日のスタートをし、暑い夏を吹き飛ばして元気に充実した一日にしようと、学区全体で取り組んでいます。

8月末の日曜日には、学区民全員が道上小学校運動場に集合し、『ラジオ体操納め会』で終了します。



神
辺

名 称	福山市市民活動スタートアップ事業
補助制度の目的	市民と市の協働によるまちづくりを推進するため、福山市協働のまちづくり基金を活用し、市民活動団体が始業期における活動を円滑に実施できるよう支援することで、市民活動団体が企画・実施する公益的な社会貢献活動を促進することを目的とします。 2017年（平成29年）4月1日施行
対象となる団体	申請できる団体は、次の項目のすべてに該当する団体です。 (1) 福山市内に活動拠点を有し、団体の設立が2015年（平成27年）4月1日以降の団体。 (2) 福山市まちづくりサポートセンターに登録している団体。（※1） (3) 次のいずれかに該当する者が5人以上参加しており、かつ該当する人の合計が団体の構成員の総数の過半数である団体。 ア 福山市内に住所を有する者 イ 福山市内に通勤、通学する者 (4) 当該事業について、福山市と協働により取り組むことができる団体。 ※1 福山市まちづくりサポートセンターへの登録（無料） 登録には、申込書等の提出が必要となります。（登録まで一週間程度かかります。）
補助金の額	補助金の額は、予算の範囲内において各年度1団体1事業とし、事業の総額からこの事業に係る補助金以外の収入を除いた額で、上限を10万円とします。
対象となる事業	対象となる事業は、次の項目のいずれかに該当する事業です。 (1) 地域課題の解決に取り組む事業 (2) 地域活性化に取り組む事業 (3) 地域の魅力創出、魅力発信に取り組む事業 (4) 教育、福祉、環境、安心・安全の向上に取り組む事業 (5) その他市長が必要と認める事業
対象とならない事業	(1) 施設等の整備を主な目的とする事業 (2) 営利を目的とする事業 (3) 宗教活動、政治宣伝活動及び選挙活動に関する事業 (4) 他の規定による補助対象事業。ただし、市長が特に理由があると認める場合は、この限りではありません。
補助金の交付基準	補助金の交付決定を行う基準は、次のとおりです。（審査基準の詳細については、福山市協働のまちづくり事業審査会において決定します。） (1) 協働のまちづくりの推進に資する事業であること。 (2) 公益性の高い事業であること。 (3) 事業計画及び予算計画に客観性及び現実性があること。 (4) 事業の実施方法に社会的相当性があり、効果が期待できること。 (5) 市民活動としての特性が活かされていること。 (6) 次年度以降、継続して活動できる可能性が期待できること。

補助金の申請	申請団体は次の書類に必要な事項を記入し、協働のまちづくり課に提出してください。 (1) 補助金交付申請書 (2) 事業計画書兼補助金交付申請理由書 (3) 収支予算書 (4) 「福山市まちづくりサポートセンター登録情報」の写し (5) 資金計画書 ※前金払いを必要とする場合のみ (6) 団体の活動内容や事業イメージがわかる資料（任意様式）
申請期間	2018年（平成30年）5月7日（月）～5月18日（金） 8：30～17：15（土・日・祝日を除く）
申請内容の審査	福山市協働のまちづくり事業審査会（市民、有識者等で構成）で申請者により事業内容等を説明していただき、審査します。
事業実施期間	補助金の交付決定を受けた日から2019年（平成31年）3月31日まで
補助金交付決定の取消と返還	次の内容に該当する場合、補助金の交付決定の全部または一部を取り消し、既に補助金が交付されている場合には、その全部または一部の返還を求めます。 (1) 補助金をその交付の目的以外に使用したとき。 (2) 必要な届出や報告をせず、又は虚偽の報告をしたとき。 (3) 補助事業を中止し、又は市長において補助事業の遂行の見込みがないと認めたとき。 (4) 交付した補助金に、著しく過大な余剰金が生じたとき。 (5) 補助事業の実施について不正の行為が認められるとき。 (6) 対象となる団体の要件がなくなったとき。
事業の報告	事業完了後、1か月以内に次の書類を提出していただきます。 ア 事業報告書 イ 収支決算書 ※領収書貼付（事業の対象となるもの） ウ 事業内容報告書 エ 活動の状況が分かる資料（任意様式） ※写真等

2018年度（平成30年度）補助金交付団体

団体名	事業名	事業報告
川口イベントサークルシェイクハンズ	地域でつながる子育て推進事業	P168, 169
草戸千軒ビレッジ	草戸千軒ビレッジ探訪事業	P170, 171
ドリームファーム	川口学区におけるこども食堂運営	P172, 173
ねこみみ福山	紙芝居プロジェクト	P174, 175

事業名	地域でつながる子育て推進事業		
団体名	川口イベントサークル	シェイクハンズ	代表者 川角 寛之

事業概要

福山市を中心に、主にロボットプログラミング体験や地域交流（まちカフェ）を通じて、子育て家庭の交流を促進し、身近な地域での仲間づくりを図るとともに、活動への参加者が地域への関心を高め、若い世代が主体的にまちづくりに関わるきっかけを作る。

事業の背景・ねらい

福山市川口町（川口学区）の子ども会役員活動を通じて、近年加入率が軒並み減少傾向にある要因に「マンネリ化した活動」「役員負担」があることに気づき、地域（特に子育て世代）に魅力的な活動を行い、そして役員との伴走型サポートをしていくことで、本来あるべき地域にとって必要な「繋がり」を再構築する活動を行っている。

特に2輪ロボットとタブレットを使ったプログラミング体験会は、2020年度から変わる教育課程において保護者や子どもの関心が非常に高く、近い未来に必要なプログラミング教育を提供しながら、行事を通して人と人の繋がりを促進し、地域の活性化を図る。

事業内容

・プログラミング体験会の実施

不定期に要望があった地域（子ども会・PTAなど）や行政・民間企業からの依頼で、授業形式や体験形式など、それぞれにあった内容・参加人数で実施。なお、体験に必要なロボット・タブレットは全てシェイクハンズが準備している。

・子育て家庭を対象にしたまちカフェ等の企画運営

川口学区を中心に、保護者同士が気兼ねなく子育てにまつわることや、地域の情報交換などの交流の場を年3回ほど提供している。

・地域行事等のサポート（主に子ども会）

川口学区子ども会本部役員の実験を活かして、行事の運営サポートを行っており、役員負担の軽減につながる活動となっている。

・川口学区の魅力を発信（ホームページ・フェイスブック）

ホームページではイベントの情報や活動報告、メディア（広報）のお知らせなどを随時更新しているほか、活動理念やメンバー紹介、問合せの窓口機能にもなっている。

フェイスブックではリアルタイムでイベントなどの活動状況を発信している。

・ミーティング（毎月第3金曜日に実施）

主に川口公民館で上記日程にて直近の活動に関する打合せや、年度始めに総会を行い、会計報告や活動報告、活動計画などを話し合っている。



プログラミング体験教室



川口まちカフェ



定期総会

成果

主な活動であるプログラミング体験会では、福山市の子ども会・PTAで3回、行政の行事（こどもフェスティバル）、民間NPO法人と6回、民間企業と4回、様々な規模で体験会を開催。参加人数は多いときで子ども60人、大人40人ほどの規模になり、HPやSNSなどを通じて活動の認知が広まるとともに、「プログラミング教育+イベント」の目新しさで高い関心を集めることができた。

活動拠点の川口学区では、子ども会本部役員の運営サポートを継続し、主に人気を集めるスポーツ雪合戦は、子どもたちだけでなく、多くの保護者とスポーツを通して交流をふかめることができた。

HPやSNSでの情報発信によって活動を広く認知してもらうことができ、イベントの大半はこれらのツールを通じての依頼であった。

スタートアップ事業補助金で購入したスタッフジャンパーやTシャツは、「まちサポ プロボノ1DAYチャレンジ」活動でプロボノワーカーと協働で制作したロゴマークをプリントしており、これらの活動で着用することで、広く団体の活動をPRすることができた。

課題

活動回数が多くなることにより、会員同士での日程調整が多少難しくなる 때가あった。福山市全体での認知は非常に高くなったが、地元川口学区では認知度はさほど比例せず、保護者同士の交流会である「川口まちカフェ」では参加者が10人を超えることはなく伸び悩んだ。

今後の活動内容

引き続き要望の多いプログラミング体験イベントが中心となる活動になるが、HPやSNSを継続的に活用していくほか、5Gの時代にあわせた動画制作やライブ発信などを積極的に取り入れて、新しい地域のつながり方に挑戦していく予定。

また、地元川口でのイベントや支援を通じて活動での利益を還元していく。

事業名	草戸千軒ビレッジ探訪事業		
団体名	草戸千軒ビレッジ	代表者	三谷 干城

事業概要

中世鎌倉室町時代の幻の町と言われた草戸千軒は、最近の小中学校の教科書にも掲載され、全国的に注目されている。福山市に住む人はもちろん県外の人たちに、新しい学術資料に基づいた、草戸千軒に関する正しい知識を身に付け、また福山のルーツである草戸千軒に親しみ、「福山の顔」として草戸千軒を再認識してもらう活動を行う事業である。

事業の背景・ねらい

草戸千軒は昭和時代に大掛かりな発掘が行われ、出土品は広島県立歴史博物館に保管展示されている。発掘が終わり平成時代に入ると次第に草戸千軒の名前は福山市民の記憶から消えていき、草戸千軒を彷彿させる活動もなくなった。そんな折、市民団体の「草戸千軒ビレッジ」を立ち上げ、地元福山の人も含め全国の人に草戸千軒に注目してもらい、同時に福山の人には、「福山の自慢」として草戸千軒を認識してもらうため、各種活動を開始した。

事業内容

- 草戸千軒ビレッジ案内パンフレット作成 1,000部 11月8日完了【写真1】
- 草戸千軒学習&散策
 - ① 草戸千軒研究発表会（7月21日 草戸の郷 15人）【写真2】
「草戸千軒の実像を探る」 備陽史探訪の会 幹事 瀬良泰三さん
 - ② 草戸千軒ビレッジ散策と講演会（11月24日 草戸の郷 20人）【写真3】
ガイド 三谷干城さん
講演 「草戸の歴史と草戸千軒町発掘の意義」 備陽史探訪の会 会長 田口義之さん
- フィールドワークなど
 - ①スタンプラリー実施に係る事前学習（光小学校六年生 約60人）【写真4】
 - ②草戸稲荷節分祭でスタンプラリー実施（2月3日 約160人）【写真5】
- 平成30年7月豪雨関連
 - ①草戸・川西地区被災を記憶にとどめるため、草戸稲荷の被災状況及び被災品を保管展示する「平成30年7月豪雨被害資料室」を「草戸の郷」の一室に開設。【写真6】
- 広報活動
 - ①草戸千軒ビレッジの活動を読売新聞（ひろしま県民情報）が特集掲載（3月20日）
 - ②広報「ふくやま」に掲載（1月号）



写真1 草戸千軒ビレッジ案内パンフレット



写真2 研究発表会の様子



写真3 散策の様子



写真4 事前学習の様子



写真5 スタンプラリーの様子



写真6 平成30年7月豪雨被害資料室

成果

- ・「草戸千軒ビレッジ案内パンフレット」を1,000部作成し、ガイドの際にこれをテキストとして案内している。そのため、参加者に分かり易いと好評である。
- ・平成30年7月豪雨被害の資料室を開設し、被災状況や被災品を展示し紹介。本年8月には資料室の貴重な被災写真を地元の光小学校に貸し出し、資料室に来なくても、学校で被災の生々しい実態を勉強してもらっている。
- ・草戸千軒ビレッジのホームページ（HP）を開設し、草戸千軒ビレッジの広報活動をさらに展開することができた。

HPのURL ; <https://kusadosengen-vil.jimdofree.com/>

- ・姉妹会である明王院を愛する会と共同で活動을続け、明王院を愛する会のメールマガジンに当団体のHPをリンクさせることで、草戸千軒ビレッジの情報を幅広く発信することができた。

課題

助成がなければ活動資金がない現状のなか、助成頼みで運営していること。

2019年度は草戸千軒の土を使った陶芸教室を定期的に関開くため、他の助成を申請したが採択されなかったため、学区の行事として1回のみ実施した。

今後の活動内容

「明王院を愛する会」と連携し、活動を継続する予定。今後は紙芝居「草戸千軒ものがたり」の制作やCD「草戸千軒ストーリー」のDVD化を計画している。

事業名	川口学区におけるこども食堂運営		
団体名	ドリームファーム	代表者	畑田 夢

事業概要

毎月実施の家庭菜園セミナーで、種まきから収穫までの一連の作業を子どもたちと実施し、自然本来の姿に近い自然農法（無農薬無肥料）による食育を活動の主体とする。収穫物は、川口学区に開設するこども食堂の食材として活用する。

目的

日本は、古来より農業を主体とした地域の繋がりが主であったが、近代化とともに薄れ、地域コミュニティの希薄さがますます進行しているため、三世代が食・農業を通してコミュニケーションを図る場にするとともに、特に次世代を担う子どもたちが、生命の尊さや食への感謝、そして高齢者に対する尊敬の気持ちを持つことをめざす。

事業内容

- ・固定種・在来種と呼ばれる種から発芽させ、収穫・種取りまでを行う菜園活動を月1回～2回、また、収穫した農作物を食材として活用する料理教室を2ヵ月に1回開催。
- ・子どもたちの田植えや稲刈りなどの体験イベントを実施。
- ・家庭菜園セミナーの開催（月1～2回）
- ・川口学区こども食堂の実施（3月24日）



家庭菜園セミナーの様子



稲刈りの様子

成 果

- ・子ども達を交えての自然農法活動が地域の方に認知されつつあると同時に、体験イベント等を通して高齢者の方々とも交流ができるようになった。
- ・家庭菜園セミナーに参加した3組の参加者が、自宅で家庭菜園を始めるようになった。
- ・川口学区こども食堂に関しては、平成30年7月豪雨災害により秋冬野菜の生産が大幅に遅れたため、収穫野菜を使った実施が予定していた時期にできなかったが、2019年3月に収穫したもち米を使用し、開催することができた。

課 題

- ・現在は団体としての収入がなく、ボランティアによる団体運営となっているため、収入事業を実施し、継続的な事業活動をめざす必要がある。
- ・農業体験からこども食堂運営までの取組を構築していくため、地域の各種団体等との繋がりづくりが課題である。

今後の活動内容

- ・月1回の家庭菜園セミナーの開催
- ・2カ月に1回の料理教室（収穫した米・野菜）
（10月：スイートポテト作り，12月：そば打ち体験，2月：味噌作り）
- ・農医連携をめざした食育セミナーの実施（9月・来年3月 半年に1回実施予定）
- ・川口学区こども食堂の継続開催に向けての組織づくり
- ・新たな場所（福山市神辺町）で農業体験イベント（田植え 稲刈り）を実施予定。



稲刈りの様子



収穫した米でおむすび作り

事業名	紙芝居プロジェクト		
団体名	ねこみみ福山	代表者	池内 雅恵

事業概要

中学生ボランティアと障がいのある子どもたちと一緒に紙芝居を作成し、市内の公立図書館・公立保育所・幼稚園を訪問し読み聞かせを行うとともに、寄贈し活用してもらうことで、動物愛護の精神を普及・啓発していく。

事業の背景・ねらい

捨てられたペットは餌の取り方を知らず、交通事故、病気等で寿命が短い。
 ペットを飼い始めたら、責任をもって最後まで飼わなくてはいけないことを伝えるため、子どもたちと一緒に、動物愛護の内容の紙芝居を作成し、読み聞かせを行っていく。

事業内容



紙芝居作成途中の打ち合わせの様子



紙芝居原画



完成した紙芝居表紙

成 果

紙芝居は、中学生がストーリーと絵を作成したことで、子ども目線での受け入れられやすい物語の完成となった。

また、表紙の作成に関わった障がいのある子どもたちが、完成した紙芝居を見たり、新聞記者の取材を受けたことによって、達成感と自信を得られたと聞いた。

完成した紙芝居を市内の公立図書館・公立保育所・幼稚園等に寄贈すると、とても好評で、新聞・フリーペーパー・ラジオ等でも取り上げられ、広く関心を持ってもらえたと感じた。

課 題

「ばら祭」に参加して紙芝居の読み聞かせを行ったが、屋外のイベントでは、紙芝居を読み聞かせても、周囲の音楽で声が聞こえなくなってしまうため、屋内での実施に変更する必要がある。

図書館の読み聞かせボランティアグループに、紙芝居を活用してもらうことを検討したい。

今後の活動内容

継続して行う活動として、「紙芝居の読み聞かせ」「猫ボランティア養成講座」のほかに今年度からは、市内の介護事業所・障がい者の福祉施設で「高齢者・障がい者の猫の多頭飼育崩壊数調査」を行っていく。

これは、飼い主が飼える頭数以上の猫を飼育することで世話しきれない状態に陥り、猫が繁殖し続ける状態となっている家庭数を調査するもの。悪臭やえさの放置など衛生面からの相談に対応するために、引き続き関係機関と連携し、調査を行っていきたい。



猫の暮らす地域での清掃活動



紙芝居作成の様子



協働のまちづくり推進事業報告書

発行日：2019年（令和元年）10月

発行者：福山市市民局まちづくり推進部協働のまちづくり課

〒720-0056 福山市本町1番35号

福山市市民参画センター内

電話：(084) 928-1051